

ダン活
令和7（2025）年度
ダン活
支援

ダン活

公共ホール現代ダンス活性化事業

登録

アーティスト
プロフィール



一般財団法人 地域創造
Japan Foundation for
Regional Art-Activities

令和7年度
（2025 年度）

ダン活支援

公共ホール現代ダンス活性化支援事業

INDEX

04 公共ホール現代ダンス活性化事業について
公共ホール現代ダンス活性化支援事業について

06 ダン活の流れ

A | ダン活 登録アーティスト (※については、ダン活支援登録アーティストも兼ねる。ソロ・デュオの順。50音順)

浅井信好 ※
Nobuyoshi ASAI

08

橋本真那
Mana HASHIMOTO

16

井田亜彩実 ※
Asami IDA

10

康本雅子 ※
Masako YASUMOTO

18

岩渕貞太
Teita IWABUCHI

12

Von・no ズ (上村有紀 + 久保佳絵)
VONNOS (Yuuki KAMIMURA + Kae KUBO)

20

黒須育海
Ikumi KUROSU

14

B | ダン活^{支援} 登録アーティスト (ソロ・デュオの順。50音順)

青木尚哉
Naoya AOKI

24

中村 蓉
Yo NAKAMURA

35

伊藤キム
Kim ITOH

25

長与江里奈
Erina NAGAYO

36

岩淵多喜子
Takiko IWABUCHI

26

東野祥子
Yoko HIGASHINO

37

遠田 誠
Makoto ENDA

27

藤田善宏
Yoshihiro FUJITA

38

大島匡史朗
Kyoshiro OSHIMA

28

マニシア
MANIZIA

39

北尾 亘
Wataru KITAO

29

森下真樹
Maki MORISHITA

40

北村成美
Shigemi KITAMURA

30

赤丸急上昇 (赤松美智代 + 丸山陽子)
Akamaru kyu-ryo-syo (Michiyo AKAMATSU + Yoko MARUYAMA)

41

楠原竜也
Tatsuya KUSUHARA

31

笠井瑞丈 × 上村なおか
Mitsutake KASAI × Naoka UEMURA

42

鈴木ユキオ
Yukio SUZUKI

32

勝部ちこ + 鹿島聖子 (コンタクト・インプロビゼーション
グループ C1co)

43

田畑真希
Maki TABATA

33

坂本公成 + 森裕子 (Monochrome Circus)
Kosei SAKAMOTO + Yuko MORI

44

田村一行
Ikko TAMURA

34

セレノグラフィカ (隅地茉歩 + 阿比留修一)
Selenographica (Maho SUMIJI + Shuichi ABIRU)

45

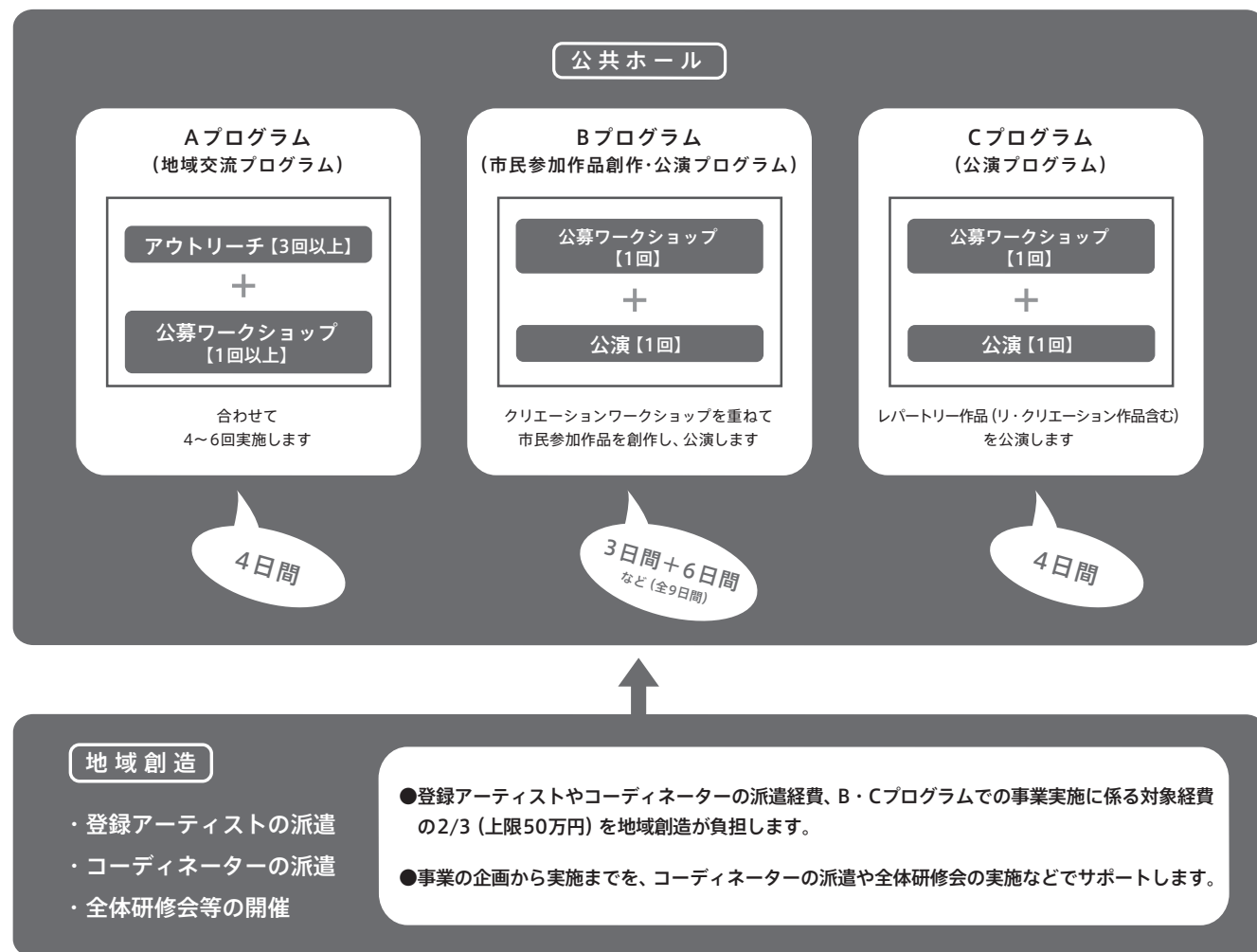
46 ダン活支援の流れ

ダン活 公共ホール現代ダンス活性化事業 について

「公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)」は、コンテンポラリーダンスのアーティストを地域に派遣し、専門家であるコーディネーターのサポートのもと、ホールとアーティストが共同で企画した地域交流プログラムや公演を実施する事業です。

各ホールのダンス事業のビジョンに基づき、3つのプログラムを各年度で段階的に選択し、継続的に事業を実施することができます。

- プログラム**
- Aプログラム(地域交流プログラム)・・・学校や福祉施設等でのアウトリーチと公募ワークショップを実施するプログラム
 - Bプログラム(市民参加作品創作・公演プログラム)・・・市民参加作品を創作し、有料で公演するプログラム
 - Cプログラム(公演プログラム)・・・登録アーティストのレパートリー作品を有料で公演するプログラム



コンテンポラリーダンスとは

コンテンポラリーダンスとは「同時代のダンス」を意味します。「バレエ」「ジャズダンス」のように特定のジャンルを表すものではなく、今、生み出されるオリジナルなダンスの総称です。コンテンポラリーダンスを代表するテクニックや動きがあるわけではなく、日常生活にヒントを得た動きから、プロならではの高度な技まで様々なものが含まれます。各々のアーティストが多種多様な身体技法に自身の現代感覚・問題意識を融合させた独自の表現を追及することから、アーティストの数だけダンスがあるともいえます。また、コンテンポラリーダンスのワークショップは、言葉を使わない身体によるコミュニケーション、新しい身体感覚・動きの発見、心と体の健康維持、他者との水平な関係を構築する場、といった特性から、教育・医療・福祉等の分野でもその応用の可能性が注目され、アーティストの活動の幅が広がっています。

アウトリーチ

アーティストが学校・福祉施設・病院などを訪れ、コンテンポラリーダンスを知らない人や、普段ダンスに触れる機会の少ない層を対象としたプログラムを実施します。アイデア次第で、届けたい人・場所・地域特性などを汲み取った独自の内容を設定できます。



Photo:Shoko Kashima

公募ワークショップ

コンテンポラリーダンスに関心のある層や、関心を持ちそうな層に対し、いつもの生活では出会わない身体の動きや感覚を発見し、自分の表現で創造する楽しさや、個性や他者の存在を大事にした人とのつながりを感じるワークショップを実施します。



公演

コンテンポラリーダンスを地域に紹介し、これまでホールとつながりなかった新しい鑑賞者の掘り起こしを行います。自由な表現が可能なコンテンポラリーダンスの公演では、大ホールのような規模の大きいホールでも舞台上に客席を作ったり、普段とは違った劇場・ホールの使い方をしたりすることもできます。また、地元の人々と一緒に作品を創り上げたり、ロビー等のオープンスペースや野外でパフォーマンスを行ったり、地元の人々を巻き込んだプログラムにも挑戦できます。コーディネーターのサポートを得ながら、アーティストとともに自由で柔軟な発想の公演を作り上げ実施する経験は、自主企画公演にかかわる制作等のノウハウを得る機会となります。



登録アーティスト

全国公募の選考会で選ばれたコンテンポラリーダンスのアーティストです。B・Cプログラムでは、登録アーティストの中から公共ホールの希望するアーティストを派遣します。

コーディネーター

登録アーティストとともに公共ホールに派遣します。コーディネーターは、ダン活の企画から実施までのアドバイスをを行い事業の円滑な運営をサポートします。公共ホールの担当者は、随時コーディネーターと相談することができます。

ダン活支援 公共ホール現代ダンス活性化支援事業 について

「公共ホール現代ダンス活性化支援事業(ダン活支援)」は、ダン活を実施した対象となる公共ホールが引き続き同様の事業を継続して実施する場合に、財政的な支援を行う事業です。令和7(2025)年度は、本冊子記載のアーティストのうち、下記のアーティストが対象になります。

※事業の流れは46ページをご参照ください。

- A|「ダン活 登録アーティスト」のうち※印のアーティスト (INDEX ページ参照)
- B|「ダン活 登録アーティスト」

ダン活 の流れ

実施前年度 4月下旬～5月 申込受付/7月上旬 実施団体内定

実施団体を募集。申請に基づき7月に実施団体が内定されます。

7月下旬 全体研修会

ダン活についての理解を深めるために、全体研修会に参加します。ダンス事業の企画・制作のノウハウを学び、登録アーティストによるパフォーマンスやワークショップのプレゼンテーションを観て、企画内容を整理し組み立てます。B・Cプログラムを実施する場合は、アーティストを選びます。

10月上旬 実施日程・アーティストの決定

実施団体の希望に基づき(B・Cプログラムのみ)地域創造にて、実施日程、派遣アーティスト、担当コーディネーターを決定します。

実施に向けての準備開始

実施団体の企画をもとに、アーティスト、コーディネーターと企画内容を検討し、現地下見のスケジュール調整等を行います。

4月～ 現地下見(個別研修)

地域創造がアーティスト、コーディネーターを現地に派遣します。ワークショップや公演会場、アウトリーチ先の下見をし、事業関係者とプログラム内容や今後のスケジュール等について打合せを行います。

事業実施2カ月前 事業内容決定

企画内容を練り上げ、事業の詳細を決定します。

事業の実施

コーディネーターのサポートを受けながら、アーティストとともにプログラムを実施します。

事業終了後30日以内 実績報告

ダン活の実績報告書を提出します。

※時期については変更される場合がありますので、必ず実施要綱等をご確認ください。

Artist Files

A

ダン活 登録アーティスト

及び

ダン活^{支援} 登録アーティスト (INDEX ページ※印のアーティスト)

浅井 信好 Nobuyoshi Asai

「モノとカラダ」が繋がる！そこに現れる摩訶不思議な空間や形、そして体験が待っている。誰しもが持っている童心の空想力を使い切って創造しましょう。



「炎える母」Photo: 高永亜紀子



「Peeping Garden/re-creation」Photo: 大同博端



月灯りの移動劇場「中高生と作るアイウォーラおばさまの家」Photo: 月灯りの移動劇場

プロフィール

ストリートダンサーとしてSMAP、サカナクション、浜崎あゆみ、ファーギーなどのツアーダンサーや振付を担当。2005年～2011年まで山海塾に所属。2011年に文化庁新進芸術家研修制度で《バットシェバ舞踊団》に派遣。2012年よりバリを拠点に《PIERRE MIROIR》を主宰。2016年に日本へ帰国後、《月灯りの移動劇場》を主宰するとともに、コンテンポラリーダンスのプラットフォーム《ダンスハウス黄金4422》の代表を務める。ダミアン・ジャレ+名和晃平『VESSEL』、ダレン・ジョンストン『Zero Point』、ナセラ・ペラザ『La Travers』、Phantom Limb Company『Falling out』、スー・ヒーリー『ON VIEW PANORAMA』らの世界ツアーに参加。名古屋芸術大学舞台芸術領域専任講師。これまでに30カ国150都市以上で公演を行う。

所属カンパニー
ホームページ
アーティスト在驻地
アーティスト出身地

月灯りの移動劇場
https://tsukiakari-theater.jp
愛知県名古屋市
愛知県名古屋市



Photo: 佐藤良祐

Ⅰ活動歴Ⅰ

〈2012年〉『ABSTINENT』@Theatre Cliba / テル・アビブ ＊10カ国15都市で再演
〈2012年〉『Coup de folie』@鬼頭運輸倉庫 / 名古屋 ＊2カ国3都市で再演
〈2014年〉『Betweenness-Encounter』@パリ日本文化会館 / パリ ＊フランス4都市で再演
〈2014年〉『Nomads』@Jerusalem's International Dance Week / エルサレム ＊3カ国3都市で再演
〈2015年〉『REL』@六行会ホール / 東京 ＊3カ国4都市で再演
〈2016年〉『はてしない物語』@六行会ホール / 東京 ＊国内5都市で再演
〈2017年〉『Flying birds』@セッションハウス / 東京 ＊4カ国9都市で再演
〈2020年〉『KOKO TO SOKO』@リンナイ旧部品センター / 名古屋
〈2020年〉東アジア文化都市「詩踊る」『炎える母』@北九州芸術劇場中劇場 / 北九州市
〈2021年〉「踊る秋田」『Peeping Garden/re:creation』@秋田拠点センターアルヴェ / 秋田 ＊2カ国13都市で再演

Ⅱ受賞歴Ⅱ

〈2002年〉WORLD HIP-HOP CHAMPIONSHIP 1st (アメリカ)
〈2013年〉ARTE ART PRIZE LAGUNA12.13 特別賞 (イタリア)
〈2013年〉Festival international de dance contemporaine D'ABIDJAN 最優秀作品賞 (コートジボワール)
〈2014年〉愛知県芸術文化選奨新人賞 (日本)
〈2014年〉エルサレム国際振付家コンペティションファイナリスト (イスラエル)
〈2015年〉NEXTREAM21 最優秀賞 (日本)
〈2017年〉グッドデザイン賞 (日本)
〈2017年〉Asian Solo&Duo Challenge for MASDANZA NDA 賞 (韓国)
〈2017年〉VIII Premios PAD ベスト照明デザイン賞 / ミネート (スペイン)

Ⅲワークショップ歴Ⅲ

〈2017年10月〉「からだで絵本をえがく」小学生4年生対象 会場：豊橋市立下条小学校、豊橋市立羽根井小学校 主催：公益財団法人豊橋文化振興財団
〈2018年8月〉「舞踏ワークショップ」ダンサー対象 会場：KAIST 主催：ARTIST NEST (韓国)
〈2019年8月〉「舞踏ワークショップ」大学生対象 会場：東京藝術大学 主催：東京藝術大学
〈2019年12月〉「舞踏ワークショップ」一般対象 会場：TROI C-L 主催：TROI C-L (ルクセンブルク)
〈2020年1月～10月〉「KOKO TO SOKO」中高生対象 会場：ダンスハウス黄金4422 主催：月灯りの移動劇場
〈2021年9月〉「舞踏ワークショップ」一般対象 会場：オンライン 主催：M1 CONTACT (シンガポール)
〈2021年12月～2022年3月〉「パフォーマンススキップ・トーキョー」小学5年生対象 会場：千代田区昌平小学校 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利法人 芸術家と子どもたち

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

『モノとカラダで楽しむダンス』

小学校・中学校向けに、1000個の木製の積み木を使い、テーマに合わせて並べたり、積み上げることによって一つの空間設定を作り出す。その空間を使って、様々な動作やダンスを見つけ、各グループ小作品の発表を行う。

②福祉施設でのアウトリーチ

『動かされるダンス』

老人福祉施設や障害者向けに、舞踏の基本エクササイズである「空っぽの器」を体感することで普段、無意識に緊張している身体を向き合うことから始まる。緊張が解れてきたら風や波のイメージによって「動かされる身体」を体験していく身体を解放するエクササイズを実施。

③ダンスや演劇などのサークルや部活

高校・大学向けに、普段の表現活動の中で疑問に思うことや悩み、上達したいことを事前のアンケートによってヒアリングをし、ダンスを通して新たなヒントを得ることができるプログラムをその都度、考えて実施する。テクニックだけを教えるのではなく、ディスカッションやグループワークを通して人や空間とのコミュニケーションからヒントを見つけていくプログラム。

◎実施条件 (共通)

- ▶アシスタントの有無：1名必要
- ▶参加適正人数：10～25名程度 ※内容とスペースの大きさによって応相談
- ▶1日の実施可能回数・時間：1日最大3コマ ※1コマ45分～90分 (内容により応相談)
- ▶必要機材：iPhoneやPC等を接続できる音響プレーヤー

公募ワークショップ

①はじめての「舞踏」ワークショップ

舞踏の基本エクササイズである「空っぽの器」を体感することで普段、無意識に緊張している身体を向き合うことから始める。そのほか、意識の糸・歩行・波の発生など参加者のレベルを考慮し、プログラム実施。ワークショップを通して重力を捉えることの楽しさを体験する。

◎実施条件 (共通)

- ▶アシスタントの有無：1名必要
- ▶参加適正人数：20名程度
- ▶1日の実施可能回数・時間：1日最大3コマ ※1コマ45分～90分 (内容により応相談)
- ▶必要機材：iPhoneやPC等を接続できる音響プレーヤー
- ▶対象：ダンス未経験者、老若男女参加可能

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

①『KOKO TO SOKO』

ニューヨーク近代美術館をはじめ、世界各国の美術館やギャラリーで取り扱われているスペインの木製ゲームブランド・PICO PAO (ピコパオ) が手がけた「LAS ESCALERAS / 階段」をコラボレーションによって実寸サイズの舞台美術へと転換。8本の特殊な形状をした梯子を使用し、さまざまな組み合わせによって空間をデザインしたり、具象的なモチーフを造形したりすることで、モノによる抽象性と具象

性の変化を体験。モノとの関わりによって発生する「形態変化」「形状変化」という身体性に着目して振付を展開。

- ▶上演時間：40～60分
- ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名)
- ▶市民参加の形態：市民参加公演 (クリエイションワークショップ参加者との協働作品)
- ▶クリエイションワークショップの参加 (出演) 人

- 数・回数：5～10名程度・6～10回程度
- ▶同行スタッフ：照明1名
- ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名
- ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：10m × 10m 程度 (2) 床…リノリウム黒色またはグレー
- ▶その他：マイク、梯子8本 (登録アーティストが持参)

この事業で可能な公演作品

①『炎える母』

2020年に東アジア文化都市「詩踊る」@北九州芸術劇場で初演。北九州出身の詩人 宗左近著『炎える母』を題材に作家の死生観を掘り下げることで、螺旋構造に着目した舞台美術と振付によって構成された作品
▶上演時間：45分 ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名) ▶同行スタッフ：照明1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名
▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：8m × 8m (2) 床…リノリウム黒色 (3) 必要機材、舞台セット：なし
▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：12m × 12m (2) 床…リノリウム黒色 (3) 必要機材、舞台セット：吊りものの用のスリング ▶その他：5mの鉄製螺旋状美術：重さ50kg程度 (登録アーティストが持参)

②『Flying birds』

世界4カ国9都市で上演してきた本作は【空気風景】という独自の表現形態によって、「視覚的に認識

することのできない流動する空気の流れを空間に表出する」ことをコンセプトに新たな風景を舞台上に作り出す作品

- ▶上演時間：40分 ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名) ▶同行スタッフ：照明1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名
- ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：8m × 8m (2) 床…リノリウム黒色 (3) 必要機材、舞台セット：なし

③『Peeping Garden / re-creation』

2カ国13都市で上演された本作は、世界30カ国以上の新聞やTV、雑誌等でコロナ禍における新たな鑑賞形式として注目された。独自に開発されて移動型ソーシャルディスタンス円形劇場を使い、壁によって仕切られた半個室空間の穴から内部のパフォーマンスを鑑賞する形式を用いて、観客はカメラのファインダーを覗くように能動的に鑑賞し、作

品に没入できるように設計されている。白砂の敷き詰められた空間の中で3名のダンサーが織りなす無重力空間のような踊りから、次第に石庭の庭が形成されていく作品

- ▶上演時間：50分 ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名) ▶同行スタッフ：照明1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名
- ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：13m × 15m (2) 床…リノリウム黒色 (3) 必要機材、舞台セット：なし
- ▶その他：(1) 円形劇場、客席、音響機材、照明器材、リノリウムなど上演に必要な備品は全て登録アーティストが持参。(2) 約900kgの珪砂を円形劇場内部に敷き詰める。(登録アーティストが持参) (3) 運搬に係るトラックレンタル費は劇場側が負担。

この事業で挑戦してみたいこと

●アウトリーチやワークショップを通じて、オリジナルで製作された木製の美術やおもちゃを使い、「モノとカラダ」の関係性を思考し、新たな形や空間を作り出すことの面白さを一緒に探求するだけでなく、モノとの関わりをヒントに新しい動きを探し出していきたいです。

●市民参加作品では、地域の風景や民話などをモチーフに8本の梯子を組み合わせたシンプルな演出で、その地域ごとに新しい作品と一緒に作りたいです。

●公演では、抽象性に特化した作品だがどこかで見た、感じたり、想像した現象が舞台上に現れます。

私自身も幾度となく、言葉で言い表すことのできない現象や風景を目の当たりにしてきた経験が振付作品に生かされているので、作品の鑑賞を通して、観客の人達にも私たちの周りで発生する美しい景色や現象を再認識する機会を提供したいです。

井田亜彩実 Asami IDA

うれしくてスキップしたり、綺麗なモノを見て触れてみたくて手を差し伸べたり。身体表現のカケラ達は日常のあちこちに散りばめられています。そのカケラを紡いで、まだ知らない自分に出会う旅を一緒にしましょう！



Photo: hitoha nasu

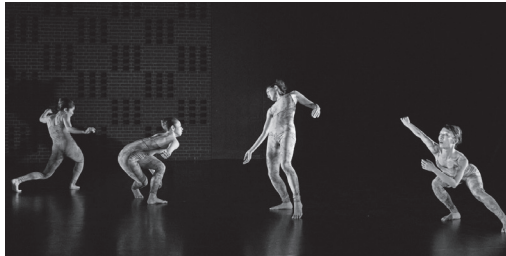


Photo: 菅原康太



東広島芸術文化ホールくららワークショップ

プロフィール

ダンスカンパニー“Arche”（アルケー）主宰。筑波大、筑波大学院舞踊コースにて舞踊学を学ぶ。文化庁新進芸術家海外留学制度によりイスラエルへ留学。2014年～2018年、“MARIAKONG”（イスラエル）所属。現在は長野、東京に拠点を置き、「人との繋がり」をテーマに、全国各地でW.S講師やレジデンスを行い、作品創作・発表を行う。また、信州大学非常勤講師や劇団への振付、日本発のプロダンスリーグ第一生命D.LEAGUE22-23SEASONに「LIFULL ALT-RHYTHM」として参戦、絵を描くなど多角的に活動。横浜ダンスコレクション・コンペティションⅠ奨励賞（2021）、ペラルーシ国際コンペティション第1位（2012）など受賞。

所属カンパニー Arche
ホームページ <https://genjouijihataika.wixsite.com/asamiida>
連絡先(担当) Arche・井田亜彩実
E-mail asamiida0629@gmail.com
アーティスト在り地 長野県長野市、東京都
アーティスト出身地 富山県富山市



Ⅰ活動歴Ⅰ

〈2013年〉ダンスがみたい！受賞者公演「arche」(振付・演出・出演) @d-倉庫
〈2014年～2018年〉“MARI KONG”所属(イスラエル)
〈2014年～2018年〉「BACKSTAGE」(共同振付・出演) @barby
〈2015年～2018年〉「Micasa Sucasa」(プロデュース・出演) (イスラエル国内5都市)
〈2015年〉「Moth-蛾-」(振付・演出・出演) @Suzanne Delall Dance Center (イスラエル)
〈2017年〉Jerusalem International Dance Week「Moth-蛾-」(振付・演出・出演) @Machol Shalem Dance House
〈2018年〉QUINAWNA DE DANCA DE ALMADA「microscopic」(振付・演出・出演) @Teatro Municipal Joaquim Benite (ポルトガル)
〈2019年〉長久手市文化の家主催事業「ARTopia」(企画・演出・出演) @長久手市文化の家風のホール
〈2020年～2022年〉Arche主催公演 @長野市芸術館リサイタルホール、アクトスペース
〈2022年11月〉Arche主催公演「パンタレイ」@BUoY
〈2023年6月〉中野市主催 市民参加型パフォーマンス「誰でもダンス！」@中野市一本木公演野外ステージ
〈2023年7月〉Arche主催公演「52ヘルツのうた」@神奈川青少年センタースタジオHIKARI

Ⅱ受賞歴Ⅱ

〈2011年〉NEXTREAM21優秀賞(第1位)、Dance Creation Award 創作の部第2位受賞
〈2012年〉International Competition of Modern Choreography in Vitebsk 2012. 第1位受賞
〈2013年〉芸創CONNECT vol.6審査員特別賞受賞、ダンスがみたい!新人シリーズ11オーディエンス賞受賞
〈2017年〉Jerusalem international dance week competition 第5位受賞
〈2021年〉横浜ダンスコレクション2021ComprtitionⅠ奨励賞受賞

Ⅲワークショップ歴Ⅲ

〈2019年〉「茨城県小学校ダンスワークショップ」(対象：小学生) 主催：Dance Association Seeds
〈2020年〉「Ergao Dance Production Group Studio Dance Campプログラム」(対象：ダンサー、指導者) 主催：Ergao Dance Production Group Studio (対象：中国)
〈2020年〉「踊ることは生きること！活力を生み出すワークショップ！」J-DANCE online Workshop

(対象：一般・〈ベトナム〉) 主催：国際交流基金ベトナム日本文化交流センター
〈2020年〉「イスラエル発！身体開発ダンスワークショップ」(対象：一般) 主催：とよはし芸術劇場PLAT
〈2021年〉「神奈川県高校体育連盟ダンスワークショップ」(対象：高校生) 主催：神奈川県高校体育連盟
〈2021年～〉「劇空間夢幻工房MAプログラム」(対象：小学生～一般) 主催：劇空間夢幻工房
〈2022年〉「特別支援学級ダンスワークショップ」(対象：小学生) 主催：芸術家と子どもたち
〈2023年〉ソソラホール・プレオープン企画「どこでもダンス」(対象：一般) 主催：信州なかの文化芸術祭実行委員会、公益社団法人全国公立文化施設協会、中野市
〈2023年1月～2024年1月〉東京・神奈川県 アウトリーチ(対象：小学生) 主催：芸術家と子どもたち
〈2024年1月〉レバートリーワークショップ「Species-種-」(対象：一般) 主催：神楽坂セッションハウス

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①『なりきりダンス王国』

リズムや擬音語、オノマトペ、模倣から様々な動きをみつけ、「動物園から動物たちが逃げ出したら？」などキャッチーな「ストーリー」をみんなで考え作品をつくり、体いっばいに動き回り、想像力を養い、楽しい表現を伝えます。(幼稚園児～小学生対象)

②『他者との違いに触れるコミュニケーションダンス』

「体ほぐし」から始まり、互いの動きの模倣や、相手がいるからできる動きをペアワーク中心にゲーム要素を取り入れ恥ずかしさを取り払い、互いの違いを感じながら一緒に動く楽しさを提案します。見せ合いを積極的に行うことで相手の良いところ、それぞれの個性に触れる機会を提案します。(中・高校生対象)

③『即実践！ダンスの可能性に触れる』

現代的なリズムのダンス・伝統的なダンス・表現ダ

ンスの3本柱に触れ、ダンスの魅力と共に現場で実践できる内容を提案していきます。体を使って他者と動くことで、コミュニケーション能力や自己実現の芽を育て、思考力・想像力を育む事を狙いとしています。(小・中・高校教員対象)

公募ワークショップ

④創造の種をみつけよう！

「もし言葉を使わずに違う国の人と挨拶するとしたら?」「オノマトペだけでお友達を遊びに誘うとしたら?」「ジャングル探検隊になったら?」など様々なテーマを投げかけ、身体表現を使って動きます。想像力を使って心と体を解放し、どんな事でもダンスになる！事を感じてもらい、チャレンジする心を育てます。(小学生対象)

⑤想像が育むダンス！

「リズムダンスと表現ダンス」の2本軸で行います。

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

①日常のカケラを踊ってみせて？

日常の物たちを使ってダンスにしていきます。傘は集まると車に変身、調理道具だって楽器に早変わり、お部屋のカーテンも舞台の幕を開ける舞台幕に変身するかもしれません。日常とダンスをつなげ、ダンスが身近なものなのだという親しみを持って作品を創っていきます。市民の皆様からのアイデアもふんだんに盛り込み、これなんだ？というように観る人も一緒に想像しながらわくわく楽しめる市民参加型公演です。

②『ARTopia!』

「誰にでも開かれたアートを。」をコンセプトに市民と

共に、ジャンルが異なるアーティストも公募で募ります。これは、観客層も広がり新たな出会いが生まれることを期待しました。可能であれば劇場全体を使用して、観客が回遊できるように行いたいです。劇場内をパフォーマーに導かれて旅をし、最終的には踊る・観るという線引きをなくすことを試みるアートのお祭りです。

▶上演時間：60分

▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者2名)

▶市民参加公演の形態：(1)市民参加公演(クリエーションワークショップ参加者との協働作品)

リズムをとったり、相手のつくるリズムに合わせて動いてみるなどシンプルな導入で心と体をほぐします。身近なテーマを用いて作品創作します。お互いの作品のテーマの当て合いを行い、他のグループを鑑賞する目も養います。(中高生対象)

⑥細胞レベルでつながるダンス！

自分の身体をパーツで捉えず細胞レベルで認識することにより表現の可能性に気づくと共に、即興を軸に相手の動きに対して反射的かつ連動的に反応したり、相手の動きの質感を共有することにより、自分や他者を愛しいと思える時間にしたいです。(一般対象)

▶アシスタント：応相談(できれば1名)

▶参加適正人数：20～30名程度(要望に合わせます)

▶1日の実施可能回数・時間：2コマ ※1コマ90分～120分

▶必要機材：iPhone、Mac用の音響プレーヤー

この事業で可能な公演作品

①『Species-種-』

私たち人間は遠い昔、自然の一部から離れ、歩き始めた。確固たる地位を確立した裏で、私たちは孤独を背負い生きる本能を負うこととなる。さらにテクノロジー、メディアが発展していき個々のつながりが希薄になる世の中。私たちが孤独から解放される術は、、、未知なる未来に思いを馳せ、人間の“種”としての一つの可能性を提案したいと思う。この作品は4人のダンサーのつながりに焦点を当て、一体感が現象として生み出される様にチャレンジした作品。

▶上演時間：20分～40分(伸縮可能) ▶出演者数：3名(登録アーティスト1名+共演者2名) ▶同行スタッフ：照明1名 ▶現地スタッフ：照明仕込み1名、音響1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：6m×6m以上(舞台以外のスペースでも上演可能)

(2)床…リノリウムある場合黒希望(3)必要機材、舞台セット：SSライト6台(可能であれば)

②『Re:Birth(共同制作者：黒須育海)』

細胞の分解や生成、変容荒廃などをテーマに人間の枠を超えた身体表現を追求した作品。

▶上演時間：30分 ▶出演者数：2名(登録アーティスト1名+共演者1名) ▶同行スタッフ：照明1名 ▶現地スタッフ：照明仕込み1名、音響1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：8m×8m程度(対応可) (2)リノリウム：黒(他の色でも対応可。) (3)必要機材、舞台セット：SS高さ下あるもの ▶その他：作品①と同時上演可

③『Granatus』

2020年、感染症が拡大していき、人とのコミュニケー

ションが取りづらくなっていく世の中で、何が自分のできるだろうと自問自答しながら六畳一間で創ったソロ作品。“Granatus”は宝石のガーネットの由来と言われ、ラテン語で「種子」を意味し、困難に直面しても、前向きに乗り越えていけるよう導いてくれるといわれています。届いて欲しい想いがある、一緒にまた笑って会える日が来るように、そんな願いを込めて創りました。

音楽：笠松泰洋

▶上演時間：20分 ▶出演者数：1人 可能であればピアニスト1人 ▶同行スタッフ：照明1名 ▶現地スタッフ：音響1名 ▶会場の広さ：リノリウム：共にこだわりなく、ピアニストが入る場合は、ピアノがおける環境。 ▶必要機材：ピアノ ▶その他：①、②どちらとも同時上演可

この事業で挑戦してみたいこと

●「人との繋がり」についてリサーチするワークショップや、作品内容の可能性を思考したいです。

●老若男女、ハンディキャップに関わらず、一緒にひとつの作品を創りたいです。それぞれ持つエネルギーが創造の可能性を感じます！

●地域で活動するアーティストとのコラボレーションを行いたいです。さらにアーティストだけでなく、特産物や伝統品など、その土地を盛り上げている方々と繋がり、市民参加型公演や、ワークショップに盛り込みたいです。派遣アーティストや市民アーティスト、劇場、全員が連携し、横の

繋がりを作る事でアートの入り口が広がり、当事者が増え、さらなる地域に寄り添ったアートの可能性が提案していけるのではと考えます。アーティストが滞在した後には種が芽を出し、それぞれの場で育つ環境づくりを共に行いたいです。

岩 渕 貞 太 Teita IWABUCHI

「からだはみな踊る」という確信の下、舞踏や武術などのアプローチで身体が本来持っている不思議な力を探ります。身体を動かしているといつの間にか踊り出している。踊りたがっている自分の身体に出会いましょう。



Photo:Hidetoe Maezawa



Photo:Hidetoe Maezawa



プロフィール

振付家・ダンサー。玉川大学で演劇を専攻、並行して日本舞踊と舞踏も学ぶ。2007年より2015年まで故・室伏鴻の舞踏公演に出演、今日に及ぶ深い影響を受ける。2005年より「身体の構造」「空間や音楽と身体の相互作用」に着目した作品を創りはじめる。横浜ダンスコレクションEX2012にて、『Hetero』（共同振付：関かおり）が在日フランス大使館賞受賞。舞踏や武術をベースに日本人の身体と感性を生かし、生物学・脳科学等から触発された「恍惚身体論」開発。桜美林大学非常勤講師。DaBYレジデンスアーティスト。

ホームページ <http://teita-iwabuchi.com/>
連絡先(担当) 岩渕貞太
住所 〒355-0316 埼玉県比企郡小川町角山114-2
電話番号 080-5440-7387
E-mail teita.iwabuchi@gmail.com
アーティスト在り地 埼玉県比企郡小川町
アーティスト出身地 神奈川県横浜市



Photo:Sakiko Nomura

Ⅰ活動歴Ⅰ

〈2009年〉坂あがリスカラシップ探採公演『タタタ』（振付・出演）@のげシャール
〈2010年〉『UNTITLED vol.1』（振付・出演 音楽：大谷能生）@STスポット
〈2014年〉『Conditions』（振付・出演 音楽：蓮沼執太）@森下スタジオC
〈2017年〉『DISCO』（振付・出演）Dance Bridges Festival参加（インド・コルカタ）
〈2023年〉『ALIEN MIRROR BALLISM』（振付・出演 音楽：額田大志）@吉祥寺シアター
〈2014年・2024年〉玉川大学芸術学部 非常勤講師
〈2021年〉桜美林大学芸術文化学群 非常勤講師

Ⅰ受賞歴Ⅰ

〈2012年〉横浜ダンスコレクションEX2012若手振付家のための在日フランス大使館賞（共同振付：関かおり）

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

〈2020年〉パフォーマンス・キッズ・トーキョー（対象：小学3～中学3年生）主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち
〈2020年〉ゆるじわ体操（対象：60歳以上）主催：豊島区
〈2019年～2022年〉からだでおしゃべり（対象：3歳から就学前くらいまでの子どもとその家族）主催：特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち

自主企画

〈2023年〉振付ワークショップ（対象：身体表現に興味のある方）身体研究稽古会 2017年から不定期（対象：身体表現に興味のある方）身体感覚で中国古典を読む勉強会 2022年から不定期（対象：一般）

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

●未就学児と親を対象とした親子ワークショップ、または幼稚園、保育園などでの子供ワークショップ

講師の動きを真似たり、親子で動きの真似っこをしたり、ヒモで気持ちを伝えて動いたり、体を粘土として互いに形を造形する「からだでねんど遊び」など、「からだでおしゃべり」というテーマで親も子も同じ土台で体を使って遊ぶ。

▶アシスタント：1名

▶参加適正人数：30名まで

▶実施時間：45～60分

●小学生向けワークショップ

鏡合わせで動くワークや指や頭、お尻、背中など身体のあらゆる部分を使って文字を書く「からだでお習字」など。自分の名前やテーマに沿った言葉などからそれぞれの振りを作って発表する。

▶アシスタント：1～2名

▶参加適正人数：30名程度

▶実施時間：90分程度

●65歳以上のシニア向けワークショップ

自身のメソッドから体操的な入り口で身体を動かし、気づかないうちに踊りを踊っているというプロセスを体験する。伸びをする気持ちよさ（網状身体）に身を任せると全身がまとまり身体が強く柔らかくなることや、呼吸と共に動くことで自分や他人が気持ちよく動き出すことを体験する。最後には音楽をかけてみんなで一緒に踊る。

▶アシスタント：0～1名

▶参加適正人数：20名まで

▶実施時間：60～90分

▶必要機材：PCから音を出せる環境

公募ワークショップ

●身体表現に興味のある一般の方向けへの自身のメソッドのワークショップ

振付を覚えて練習するのではなく、自然と身体が動き出していつの間にか踊りを踊っているというプロセスを体験する。身体ワークを応用して参加者と短いシーンを作ってみる。高校生以上ダンス経験不問。

▶アシスタント：1名

▶参加適正人数：20名まで

▶実施時間：120～180分

▶必要機材：PCから音を出せる環境

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

●『エイリアン・ダンス・レボリューション』

「からだはみな踊る」がコンセプト。自分の中にいる「踊りたがっている身体（エイリアン）」を引き出すメソッドと振付でシーンを作り、ミラーボールが回るダンスフロアさながらの作品世界で踊る。

▶上演時間：45～60分

▶出演者数：2人（登録アーティスト+アシスタント）（出演する市民は除く）

▶市民参加の形態：市民参加公演（クリエーションワークショップ参加者との協働作品）

▶クリエーションワークショップの参加（出演）人数・回数：10名程度・6～10回程度

▶同行スタッフ：舞台監督か照明スタッフいずれか1名

▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名

▶上演環境：

(1)会場の広さ・形状：9m×9m以上が望ましい（出演人数による）。形状は相談の上、対応可能。

(2)リノリウム：リノリウムが望ましいが絶対条件ではない。

(3)必要機材、舞台セット：ミラーボールが必要かもしれません。

この事業で可能な公演作品

●『リバース・エッジ』

ダンサーとミュージシャンの即興パフォーマンス。

▶上演時間：45～60分

▶出演者数：登録アーティスト1人+ミュージシャン1名

▶同行スタッフ：舞台監督か照明スタッフいずれか1名

▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名

▶上演環境：

(1)会場の広さ・形状：特に指定なし。劇場でなくても可能。場所によってはミュージシャンなしバージョン上演可能。

(2)リノリウム：特に指定なし。

(3)必要機材、舞台セット：劇場にあるものを舞台美術として使用する可能性あり（相談）。

●『ALIEN MIRROR BALLISM -other side-』

「人間も動物も、生命はみな踊る」。舞踏や武術、古今東西の舞踏の身体観のリサーチから作られた作品。現代に生きる私たちのこの身体が時代や場所を超えて変容していくエイリアンとして見立て、エイリアンたちのダンスフロアを作り出す。音楽は額田大志のオリジナル曲も使用予定。2023年の新作ALIEN MIRROR BALLISMのリクリエーション版。

▶上演時間：45～60分

▶出演者数：登録アーティスト1人+アシスタント2名

▶同行スタッフ：舞台監督か照明スタッフいずれか1名

▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名

この事業で挑戦してみたいこと

●踊りは、運動が得意な特別な人がやるものではなく、誰にでも必ずある「身体」と、生きている限り何かしら動かしているこの「動き」の面白さを味わうことからダンスが生まれると考えています。これまで私のことを知っている表現者向けにワークショップを行うことが多かったので、作品や恍惚身

体論のメソッドが、私のことを知らない他の地域の方たちにどのように伝わるのか、伝えることができるのか挑戦したいです。そのことで作品や自身のメソッドを深めていく機会にしたいです。

●これまでアジア圏の武術などのリサーチをしてきました。その土地から生まれる武術や踊りから色々な身体観に出会いました。その土地の風土やそこで過ごす人たちの身体と出会い、ダンスを通して交流をしたいです。

黒須育海 Ikumi KUROSU

みんなの想像力からピーンと一本ツルを引っ張れば、後は太くなったり、数が増えたり、違うものに変化したり・・・ダンスのヒントが次々と見えてきます。気づいたら踊っていた！！そんな経験してみませんか！？一緒に新世界へ踏み出しましょう。



Photo:HARU



Photo:HARU



「香りを使ったダンスワークショップの様子」

プロフィール

ダンスカンパニーブッシュマン主宰。2018年からコンドルズメンバー。19歳からコンテンポラリーダンスを学ぶ。異形な身体を探求する独自の世界観で話題に。東京芸術劇場での公演他、国内各地で公演を行う他、韓国、香港、マレーシア、ハンガリー、ルーマニア、に招聘される。舞台活動の他にタレント、ダンサー、アーティストMVの振付を行う。子ども、シニア、障がい者、それぞれを対象にワークショップを行ってきた。埼玉県立特別支援学校で10年間勤務した後、現在は大学非常勤講師として勤務する。

所属カンパニー
連絡先(制作担当者住所)
〒351-0115
埼玉県和光市新倉2-18-66
電話
080-3307-9706
E-mail
ikumilala9@gmail.com
アーティスト在籍地
アーティスト出身地
埼玉県さいたま市



Photo:トロロスタジオ

Ⅰ活動歴Ⅰ

〈2022年2月〉ブッシュマン新作公演『触覚時代』(池袋あうるすぽっと/東京)
〈2022年11月〉ブッシュマン新作『夜のバタフライ』(神楽坂セッションハウス/東京)
〈2022年12月〉黒須育海新作ソロ『STAND-BY』(神楽坂セッションハウス/東京)
〈2023年3月〉ブッシュマン新作公演『羊羊羊羊羊羊羊』(北千住BUoY/東京)
〈2023年3月〉子どもと大人のためのダンス『日本昔ばなしのダンス』(「ごんぞうむし」(影の国さいたま芸術劇場/埼玉)
〈2024年3月〉ブッシュマン新作公演『2024÷1984』(座・高円寺2/東京)

Ⅰ受賞歴Ⅰ

〈2013年〉『PORTRAIT〜い き う つ し〜』がDance Summit in JAPAN グランプリ

〈2014年〉『PORTRAIT〜い き う つ し〜』がDance Creation Award 1位
〈2015年〉『二つの皿』がダンスが見たい!新人シリーズ13 新人賞
〈2015年〉『RE:DIVISION』が横浜ダンスコレクション2015EXシビウ国際演劇祭賞、Touchpoint Art Foundation賞
〈2017年〉『FLESH CUB』が横浜ダンスコレクション2017EX審査員賞
〈2020年〉第14回日本ダンスフォーラム賞
〈2023年〉エルスール財団新人賞
〈2024年〉舞踏批評家協会新人賞

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

〈2023年10月〉
「パフォーマンスキッズ・トーキョー」
内容：新島村立新島小学校運動会振付(新島村立新島小学校校庭/東京) 対象：1〜2年生

主催：アーツカウンシル東京、芸術家と子どもたち
〈2023年11月〉
ソソラ市民劇場プレ公演『はじまりの収穫祭』『だれでも演劇。どこでもダンス。はじめの一步』
内容：ワークショップから作品発表(中野市豊田文化センター/長野)
対象：小学4年生以上〜無制限
主催：信州なかの文化芸術祭実行委員会、中野市、公益社団法人全国公立文化施設協会
〈2023年12月〉
座・高円寺『みんなの作業場』
内容：五感を使ったダンス(座・高円寺/東京)
対象：3歳〜15歳
主催：NPO法人劇場創造ネットワーク、座・高円寺

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

小学校、中学校、高校生まで実施(特別支援学級、特別支援学校を含む)。
ちょっと面白い動きで準備体操。みんなが知っている「ダルマさんが転んだ」「じゃんけん列車」に振付を入れて音楽に合わせて遊びの延長でダンスにしていきます。「気づいたら踊っていた!」をコンセプトと一緒に身体を動かしていきます。学校ごとに雰囲気が違うため、事前打ち合わせで先生方の狙いに合わせて内容を組み立てます。

②教員へのアウトリーチ

「創作ダンス」をどう指導したらいいかわからない。そんな先生方が自信を持って指導できるよう教材や言葉掛けのアドバイスを提供します。全体を通してダンスの楽しさと安心感を得られるようサポートいたします。上手い、下手ではなく、どうしたら面白いと感じてもらえるか?なぜダンスが楽しいと感じるか「気づき」を共有します。

③シニア向けワークショップの開催

自分のペースで身体を動かしていきます。ダンスを通じて心身の健康を促進し、新たな仲間づくりの場や社会的な交流の場にしていきます。単発ではなく、定期的に開催し「ずっと続けていきたい!」と思える企画を目指します。内容は、身体を動かすと共に「香り」や「触感」など五感をヒントに創作にも取り組むことができます。

▶アシスタントの有無：参加人数や状況により相談
▶参加適正人数：20〜30人程度
▶1日の実施可能回数・時間：60分/3コマ、90分/2コマ(応相談)
▶必要機材：PCもしくはスマートフォンから再生できる音源プレイヤー、マイク1本
▶注意事項：気になる点は遠慮なくご相談ください。

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

①『さぁ!トランクを一つ持ってダンスの旅に出よう!』(仮)

世代を超えたダンスの旅がテーマです。新たな出会いや、意外と知らない自分の発見を踏まえて、初めてダンスに挑戦する人は新たな一歩を!経験している人はまだ見ぬ世界を探しに!ここから冒険が始まります!

▶上演時間：30〜60分
▶出演者数：2人(登録アーティスト、共演者1人)
▶市民参加の形態：市民参加公演(クリエーションワークショップ参加者との協働作品)
▶クリエーションワークショップの参加(出演)人数・回数：20名程度・8回程度
▶同行スタッフ：(応相談)
▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名・

公募ワークショップ

公募ワークショップの内容や募集対象は劇場の担当者さんと話し合って決めていきます。地域のアーティストや地元団体と協力した地域ごとの特色を活かしたパフォーマンスや公演を目指すことができます。地域の魅力や個性を引き出しつつ、参加者が新たなチャレンジや喜びを体験できるワークショップにします。年齢を制限することなく、世代を超えたコミュニティをダンスで繋ぎ広げてゆきます。

▶アシスタントの有無：参加人数や状況により相談
▶参加適正人数〜30人程度
▶1日の実施可能回数・時間：60分〜120分(応相談)
▶必要機材：PCもしくはスマートフォンから再生できる音源プレイヤー、マイク1本
▶注意事項：気になる点は遠慮なくご相談ください。

その他(楽曲制作orアシスタント)1名
▶上演環境：
(1)会場の広さ・形状：人数に応じて
(2)床リノリウムの有無・どちらでも可
(3)必要機材、舞台セット：音響設備

この事業で可能な公演作品

①『夜のバタフライ』

暗闇の中は
輝くことも
埋もれてしまうことも
できる。

美しさと自由を表現した作品です。
深夜のコンビニ、街灯に集まる虫や人々、夢の中のような浮遊感、深夜の学校のプールをキーワードに創作しました。暗闇の中で舞うダンサーたちは内なる自由と葛藤を抱いて羽ばたきます。

▶上演時間：45分
▶出演者数：3名
▶同行スタッフ：(応相談)
▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1
▶上演環境：
(1)会場の広さ・形状：5m×5m以上であれば対応可能です。
(2)床：理想は黒以外のリノリウム。
(3)必要機材、舞台セット：音響機材、照明機材
▶その他：
衣装が顔まで覆われた全身黒タイツに服を着た一見怪しげな雰囲気の人3人です。
リノが黒以外だと映える作品です。

この事業で挑戦してみたいこと

●舞台や劇場がもっと地域の身近な存在にな리ますように。歌、書道、会話など、気持ちを表す為には様々な表現方法があります。その中に「踊る」という選択肢があったらより豊かな人生になるかもしれません。子どもだけでなく、シニア層にも当てはまることです。新たな挑戦は何歳になっても楽しいものですから。

●一緒に身体を動かすこと、何かを創り上げることは、世代を超えたコミュニケーションの場となります。普段はなかなか話す機会がない年齢が離れた方や他業種の方とも、ダンスを通すと自然な対話や繋がりが生まれることがあります。また、地域における他ジャンルとのコラボレーションにもダンスは可能性を秘めていて、本当に!?!と思

うユニークな案も可能にできることがあります。地域が生み出す様々なアイデアを実現できるように、一緒に創作していきましょう!

橋本真那

Mana HASHIMOTO

ダンスは国や世代を超える！新たな世界に出逢うきっかけは日常のすぐそばにあります。身体を自由に開放し、想像力を豊かにふくらませ、まだ誰も知らない自分自身の可能性を一緒に探してみませんか。



Photo: Franco Wang



Photo: 苗田拓海



Photo: Tomoyuki Kobayashi

プロフィール

神奈川県出身。国立台湾芸術大学舞踊学科卒業。東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻在籍。主な作品として「パトリオティズム」(YDC2021-DEC/2021)、「Invisible」(TDF/2022)、「Dear neighbor」(DaBY/2023)などを発表するほか、2022年より日台ダンス交流プロジェクト「踊る、隣人と」を主催。2019年日台文化交流青少年スカラシップ大賞、2021年ヨコハマダンスコレクション新人振付家部門奨励賞などを受賞。これまでに野村財団、台湾米山学友会、東華教育文化交流財団より奨学助成を受給。

ホームページ
連絡先(担当)
アーティスト出身地

https://linktr.ee/zhen_na
橋本真那
神奈川県横浜市



Photo: Tadayuki Minamoto

Ⅰ活動歴Ⅰ

〈2021年〉日台文化交流プロジェクト「謝謝台湾」(Tamsui District Office/台湾)
〈2021年〉Taiwan Creative Dance Competition 受賞者公演 (Kaoshiung Municipal Social Education Center/台湾)
〈2021年〉ヨコハマダンスコレクション2021-DEC「パトリオティズム」(のげシャレー/横浜)
〈2022年〉Taiyi Dance Festival 2022「Invisible」(National Taiwan University of Arts/台湾)
〈2022年〉DAGUAN International Performing Arts Festival (National Taiwan University of Arts/台湾)
〈2022年〉日台ダンス交流プロジェクト「踊る、隣人と」始動
〈2023年〉国立台湾芸術大学舞踊学科卒業製作「Millennium Dance」(NTUA Performing Arts Center/台湾)
〈2023年〉新作上演「Ki-ik」(GREAT SKYVIEW/台湾)

〈2023年〉Dance Base Yokohama レジデンスアーティスト
〈2023年〉日台共同作品トライアウト「Dear neighbor」(DaBY/横浜)

Ⅱ受賞歴Ⅱ

〈2019年〉第16回日台文化交流青少年スカラシップ大賞
〈2020年〉文教大学パブリシティ・オブ・ザ・イヤー 2019学生部門賞
〈2021年〉ヨコハマダンスコレクション2021-DEC新人振付家部門奨励賞
〈2021年〉Taiwan Creative Dance Competition 優秀賞(出演)
〈2021年〉東京なかの国際ダンスコンペティション2021 Trial 7 部門第3位
〈2020年、2022年〉国立台湾芸術大学成績優秀賞1位

Ⅲワークショップ歴Ⅲ

〈2021年〉「大人のためのコンテンツラリーダンスワークショップ」会場：台北市内 対象：一般
〈2022年〉「はじめてのコンテ・ワークショップ」台湾の小中学生を対象に4校で実施。主催：国立台湾芸術大学
〈2023年〉「創作ダンスってどうやるの？」会場：台北市内中学校 対象：中学2年生
〈2022年〜〉「踊る、隣人と」日本・台湾両国においてこれまでに3回実施。対象：学生、アーティスト

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①「創作ダンスってどうやるの？」

学校体育でダンスを行う小・中・高校生を対象に、創作について基礎から学べるレクチャープログラムです。具体的な創作方法の手段やコツ、また日常からアイデアを見つけるヒントなどを実演や体験ワークを交えながらお伝えしていきます。

②「踊る、隣人と」

非言語コミュニケーションの一つであるダンスを用いて、歴史的にも文化的にも深いつながりのある「台湾」との国際交流を行うプロジェクトです。古典舞踊の道具を用いて自由に自然を表現してみるワークや台湾アーティストとの交流を通じて、気軽に異文化や歴史への理解を深めることができるプログ

ラムとなっています。

▶アシスタントの有無：1名

▶参加適正人数：①20～30名程度 ②10～20名程度

▶1日の実施可能回数・時間：最大3コマ ※1コマ45～60分

▶必要機材：プロジェクターもしくは大型テレビ等の液晶モニター

公募ワークショップ

①「光と身体のワークショップ」

おひさまやキャンドルなど、さまざまな「光」をテーマに身体をゆっくりとほぐしていくワークショップ。ダンス未経験者や身体を動かすのが苦手な方でもご参加いただけます。

②「ラジオ体操第〇〇(実施の日付)」

老若男女誰もが親しめる「ラジオ体操」を用いたダンスワークショップ。参加者の方々の身体の悩みやワークを通して生まれた動きを元に動きを発展させ、最終的には自分たちだけの新しいラジオ体操を創ります。

▶アシスタントの有無：できれば1名

▶参加適正人数：10～20名程度

▶1日の実施可能回数・時間：最大2コマ ※1コマ45～60分

▶必要機材：可能であればスピーカー

▶対象：経験不当

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

オリジナル作品

実施する地域をモチーフとして参加者の方々の個性や土地の特性を生かした作品を創ります。古典舞踊または地域特有の道具などを用いて想像力を自由にふくらませ、その土地、人々ならではの新たな表現を参加者のみなさんと一緒に探していきます。

▶上演時間：60分

▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者2名)

▶市民参加公演の形態：市民参加公演(クリエーションワークショップ参加者との協働作品)

▶クリエーションワークショップの参加(出演)人数・回数：10～15名程度・6～10回程度

▶同行スタッフ：演出助手1名

▶現地スタッフ：照明仕込み1名、音響1名、舞台監督1名

▶上演環境：

(1) 会場：8m×8m程度

(2) 床：リノリウム(ホール環境に対応)

(3) 必要機材：創作過程で相談

▶その他：作品内で使用する道具については事前にご相談させていただきたいです。

この事業で可能な公演作品

①「Dear neighbor」

他者化における慣れの二面性をテーマとし、日本でも多くの議論が交わされてきた「台湾有事と日本有事」について両国の視点から再考を行った作品です。様々な情報が行き交い国際情勢が一層複雑化する現代において、日常と非日常、そして当事者と非当事者の境界を生きる私たちにできることはなにか。良き隣人と呼ばれる台湾を通じて自国を見つめ直し、共に考える時間にしていきたいと思います。

▶上演時間：40～60分

▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者)

▶同行スタッフ：演出助手1名

▶現地スタッフ：照明仕込み1名、音響1名、できれば

舞台監督も1名

▶上演環境：

(1) 会場：6m×6m程度

(2) 床：リノリウム黒(他の色でも対応可。)

(3) 必要機材：椅子5～10脚、可能であればソファと可動式鏡

▶上演時間：40～60分

▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者)

▶同行スタッフ：演出助手1名

▶現地スタッフ：照明仕込み1名、音響1名、できれば舞台監督も1名

▶上演環境：

(1) 会場：6m×6m程度

(2) 床：リノリウム黒(他の色でも対応可。)

②「パトリオティズム」

かつて日本統治を経験した台湾からダンサーを迎え、ラジオ体操をモチーフとして未だに統治時代の跡が多く残る隣国・台湾の視点から現代の日本社会を再考していく作品です。

この事業で挑戦してみたいこと

●誰もが親しみやすい日常の「光」や「ラジオ体操」を用いたワークショップでは、ダンスを楽しく身近に感じてもらえるきっかけづくりを目指します。また市民参加作品では非常にシンプルなタスクやルールを設けることで自由に発展する余地をつくり、参加者の方々の発想力や想像力を存分に生かした作品を創ってみたいです。

●台湾との交流プロジェクトでは非言語コミュニケーションのダンスを通じて異文化を体験することで、言語の得手不得手に限らず楽しく文化や歴史への理解を深められる時間にと考えています。参加者のみなさんとともにダンスの新たな表現と可能性を追求していきたいです。

康 本 雅 子 Masako YASUMOTO

踊って気持ちよくなることは、誰にでも出来る事だけど誰もが忘れている事
だけど、折角、体を持って生まれてきたんだから思いっきり使い切りたい！
と願いつつダンス。



Photo:Hidetoto Maezawa



Photo:沼田学



プロフィール

大人になってから独学でダンスを始め、自身のダンス作品を国内外で発表している。その他に松尾スズキ、白井晃、長塚圭史の演出作品での振付や、様々なミュージシャンのMVやコンサートの振付、広告や映像の振付など、多岐に渡るジャンルで活動。近年は「音で観るダンス」という、視覚に障害のある人となない人が共にダンスを鑑賞するプロジェクトにも参加。また教育機関でのWSはライフワークと化し、ダンスと性教育を混ぜたWSも全国各地で展開中。これまでにNHK番組「トップランナー」や「ようこそ先輩」に出演したりと、コンテンポラリーダンスの普及に努めている。2児の母としては、てんてこ舞い。

ホームページ
連絡先(担当)
電話
E-mail
アーティスト在籍地

http://yasumotomasako.net/
ペーハー 奥野将徳
080-5685-6159
info@yasumotomasako.net
東京都武蔵野市



Ⅰ活動歴Ⅰ

〈2004年〉『メロドラ飯事』を韓国ソウルにて公演(「日韓ダンスコンタクト」)
〈2007年〉『ナ花ハ調』をタイ・マレーシアにて公演(「踊りに行くぜ!」)
〈2008年〉JCDN企画「踊りに行くぜ!」@ジャカルタ 現地のダンサーに振付けた作品を公演
〈2008年〉『チビルダミチルダ』をアサヒ・アートスクエアにて公演
〈2009年〉『法朗庵』東宇×Tuder×康本雅子@横浜美術館 振付・出演
〈2010年〉『ブッタもんだすって』@NYジャパンソサエティ
〈2012年〉『絶交わる子、ボンッ』@シアタートラム
〈2014年〉『絶交わる子、ボンッ〜2人バージョン』@北九州芸術劇場
〈2016年〉TPAMにて視覚障害者のパフォーマンスを監修@神奈川芸術劇場
〈2017年〉『子ら子ら』@UrBANGUILD(京都)、ヨコハマ創造都市センター、愛知県芸術劇場
〈2017年〉大人計画「葉音」振付・出演@東京芸術劇場
〈2017年〉六本木アートナイトにてASA-CHANG&巡礼と共にライブパフォーマンス

〈2018年〉北九州工業地帯 三宜楼公演「うろきんさ」振付・出演 @三宜楼(北九州)
〈2018年〉PKTにて小学生との作品制作「タイコロンダ」@世田谷区民会館
〈2018年〉鳥の演劇祭にて高校生との作品制作「黄ミドリと裏ミドリの乱」@鳥の劇場
〈2019〜20年〉「全自動煩悩ずいずい図」を3都市ツアー公演

その他、「吾妻橋ダンスクロッシング」全公演および「踊りに行くぜ!」に出演

Ⅰ受賞歴Ⅰ

〈2004年〉『脱心講座 昆虫編』が横浜ダンスコレクション旧パニョレ国際振付賞にてナショナル協議員賞を受賞
〈2004年〉『メメごと』が東京コンペ主催ダンスバザール大賞にて優秀賞を受賞
〈2006年〉『メクラムラクメ』がトヨタコレオグラフィアワード最終審査会にてオーディエンス賞を受賞

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

〈2004年〉市民舞踊学校 対象：一般 主催：水戸芸術館
〈2005年〉横浜市内小学校3校 対象：小学生 主催：横浜市文化財団
〈2006年〉東京造形大学デザイン学科3年生 非常勤講師
〈2007年〉ワタリウム美術館1日学校 対象：幼児を持つ親子
〈2008年〉静岡音楽館AOIにて 対象：小学生
〈2012年〉北九州芸術劇場「学園祭やぶり」対象：一般
〈2014年〉北九州芸術劇場にて 対象：親子&夫婦
〈2015年〉「アーティストとつくる」対象：小学生 主催：福岡市文化芸術振興財団
〈2016年〉京都市の小学校にてWS+学習発表会 主催：JCDN
〈2017年〉東京都の小学校特別支援クラスにて 主催：芸術家と子どもたち
〈2017年〉京都市民向け 対象：女性限定 主催：明倫こども広場
〈2017、18年〉「プレイシアター in Summer」対象：小学生 主催：ロームシアター京都
〈2018年〉京都市平安擁護院にて 対象：小中学生 主催：JCDN
〈2018年〉鳥取県八頭高校にて 主催：鳥の劇場

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

遊ぶように動くことから始めて、普段使わない身体感覚を目覚めさせます。ルールの中でいかに自分で考えて動くかという事を重視しながら、ペアワークでは言葉ではなく体で相手と会話することを、ダンスを通して体感してもらいます。
小・中・高校で実施(特別支援クラス含む)
▶参加人数：10〜40名

②教員へのアウトリーチ

事前に先生側の質問や要望を聞いてから、ダンスの授業で実際に使える様々なワークを行います。それぞれのワークの目的や意図も伝えながら、対象に合わせてどのような応用が出来るかも一緒に考えていきます。
▶参加人数：10名位

福祉施設でのアウトリーチ

そのままの体でもって心地よく体を動かす楽しさを体験してもらいます。
▶参加人数：10名位

③企業でのアウトリーチ

まずは凝り固まった体をほぐす事から始めて、徐々に色々なルールの中で自分の発想でもって動いていきます。相手との距離感を図りながら動くペアワークや、大人数の中での全体空間を把握するワークなどを行います。結果プレゼン力やコミュニケーションスキルに役立つかも？です。
▶参加人数：10〜30名

公募ワークショップ

幼児を持つ親子、子ども、大人一般、ダンサーや役者、女性一般、夫婦、視覚障害者、それぞれの対象に絞ったWSをします。対象を限定する事で、参加者に合った内容の濃いWSが行えます。どのWSも根底には、踊ることの楽しさ自由さを体感してもらえるような内容を目指しています。

◎実施条件(共通)

▶アシスタント：1名

▶1日の実施回数：2コマ

▶必要機材：CDプレーヤー(あればスピーカーも)

また、昨今から「マジな性教育マジカ」という、小学生の親子向けのWSも展開中。
ここではいわゆる性教育の知識を教えるのではなく、自分の体についてやジェンダーについて、人とのコミュニケーションについて、家族について等、性を包括的に捉えたWSの内容です。

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

①オリジナル作品

公募で集まった方達一人一人の身体性や創造性をもとに作ります。その地域ならではの特色を生かしたいので、例えばその地域で活動しているミュージシャンに演奏してもらったり、劇場ではなく屋外で公演してみたり、という可能性も視野に入れています。

▶上演時間：30〜40分

▶出演者数：3名(登録アーティスト+アシスタント+音楽家)

▶市民参加公演の形態：クリエーションワークショップ参加者との協働作品

▶クリエーションワークショップの参加(出演)人数・回数：10名程度・6〜10回程度

▶同行スタッフ：演出助手1名

▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名

▶上演環境：

(1) 会場の広さ・形状：ホールに合わせます

(2) リノリウム：ある方が助かります、色は何でも

(3) 必要機材、舞台セット：未定

この事業で可能な公演作品

①子ら子ら

母と子という普遍的なテーマのもと、自身の子育てを赤裸々に告白する作品。ダンサーとシンガーの女性2名が激震ばし合います。

▶上演時間：45分

▶出演者数：2名

▶同行スタッフ：音響1名、照明1名、制作1名のうちいずれか

▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響仕込1名、照明仕込2名

▶上演環境

(1) 会場の広さ・形状：10m×7m程度

(2) リノリウム：なしでも可

(3) 必要機材、舞台セット：ワイヤレスマイク1本、長机、椅子2脚、ピアノまたはオルガン(簡易なもので構いません)

この事業で挑戦してみたいこと

●そこでしか出会えない人、場所、時間、食べ物、しきたり、みたいなもの全てがダンスに還元されると思うので、その地域だからこそ生まれる表現方法を探りたいし作りたい。

●ダンス(もっと広く言うと表現そのもの)の多様性を伝えたい。TVやYouTubeで目にするダンスだけがダンスじゃないし、もっと自由にカオスで意地悪なダンスもあっていい。ダンスの多様性を知ることが、人や社会の多様性を知ることにつながると思います。

●各地域でダンスのWSが行えるファシリテーターを増やしたい。私のWSを受けた人がその人の見地から更に発展させていけば、WSはより深く育ち広まってくれるんじゃないかと期待します。

Von・noズ VONNOS

(上村有紀 + 久保佳絵)

難しいといった先入観を捨てる。恥ずかしいといった抵抗感を無くす。ほんの少し、いつもと意識をずらして、身体を動かしてみよう！



Photo:金子愛帆



Photo:bozzo



プロフィール

Von・noズ(読み方：ほんのーず)は、上村有紀と久保佳絵によるコンテンポラリーダンスカンパニー。ダンスは動作による芸術であるという考えのもと、創作活動を行う。抽象化したもの・具体的なものを混在させ、定義を限定しない作品に仕上げる。それぞれにクラシックバレエの経験があり、動きのベースとなっている。国内外で作品の上演を行うほか、近年はコラボレーションも多く行う。また、世代間交流を目的とした異世代へ向けたダンスワークショップや作品創作を行いながら、身体の可能性を探り続けている。

所属カンパニー
ホームページ
連絡先(制作)
連絡先(担当)
E-mail
アーティスト在驻地
アーティスト出身地

Von・noズ
http://www.vonnos522.com
Von・noズ
上村有紀
von.no.zkh@gmail.com
千葉県松戸市(上村)、東京都世田谷区(久保)
千葉県松戸市(上村)、徳島県徳島市(久保)



Photo:青藤優作

Ⅰ活動歴Ⅰ

〈2014年5月〉Von・noズ結成
〈2018年8月〉単独公演「ベル」『前菜』(space EDGE／東京)
〈2019年5月〉Seoul Dance Play 3rd International Festival 招聘「マグ」(Dance Theatre Nu／韓国)
〈2019年11月〉吉祥寺ダンスリライト vol.1「ベレック-春の祭典四重奏-」(吉祥寺シアター／東京)
〈2019年12月〉ODISSHA BIENNALE 招聘「不在をうめる」(KALABOONI- Odisha Crafts Museum／インド)
〈2021年6月〉DANCE TRUCK TOKYO「ベルTRUCK ver.」(東大島 旧中川・川の駅／東京)
〈2021年8月〉ダンスがみたい！23「新人シリーズ」受賞者の現在地2「Vocal cord」(d-倉庫／東京)
〈2022年9月〉Dzone フェスティバル「ベレック-春の祭典四重奏」(神楽坂セッションハウス／東京)
〈2023年11月〉異世代文化交流プロジェクト「GEKI」(調布市グリーンホール／東京)

〈2024年4月〉単独公演「allegoria」-安部公房 短編小説「龍」の別な話し方-(すみだパークシアター倉／東京)

Ⅱ受賞歴Ⅱ

〈2017年8月〉「マグ」SAI International Dance Festival July Prize
〈2018年4月〉「縁に立つ」NEXTREAM21 in Rikkoukai DANCE CONTEST 2018 優秀賞
〈2019年1月〉「不在をうめる」ダンスがみたい！新人シリーズ17 新人賞
〈2020年2月〉「不在をうめる」横浜ダンスコレクション2020コンペティションⅠ奨励賞
〈2022年3月〉「ROBIN」(MWnoズ) かながわ短編演劇アワード
2022 かながわ短編演劇賞 グランプリ

Ⅲワークショップ歴Ⅲ

〈2019年〉高崎・沼田バレエスタジオにてダンス経験のある中高生向けのWS主催：NPO法人 Ballet Noah
〈2019年〉インドで開催された【Odisha Biennale 2019】にてダンス経験不問・10・30代を対象にしたWS主催：Mudra foundation
〈2021年〉【ダンスリライト vol.2】にてダンス経験・年齢不問のWS主催：吉祥寺シアター
〈2023年〉高崎・沼田バレエスタジオにてダンス経験・年齢不問のWS主催：NPO法人 Ballet Noah

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

～カラダを使ってダンスをする、ダンスを使ってカラダを動かす。～

①シニアクラブなどでのアウトリーチ

「軽やかな体とリズムダンス」
体だけではなく脳や心をストレッチし、体を芯からほぐして全身の運動を目指す。汗を流し、爽快な時間を過ごしつつ、怪我をしにくい体をつくる。
◎一例：コミュニケーションを大切にして進める。体の部位に意識を向ける。音楽のリズムにあわせて動かす。

②企業などでのアウトリーチ

「体を動かして心をリフレッシュ」
動作に対しての認識を追加し、体の表面(外側)から内面(内側)をほぐすことで、考え方に“ゆとり・余白”をもたらすことを目指す。併せて、“コミュニケーション力”の育成も目的のひとつとする。
◎一例：日常の動作に目を向けて動かし方の意識を変え、正しい姿勢に体を調整する。体の可動域を広げることで、精神の可動域も広げる。避けてしま

いがちな動作を、無理のないやり方で取り入れる。

③学校などでのアウトリーチ

「そばにある動き・意識を捕まえる」
いつも見ている景色を新たな側面から見ていた、いつの間にかダンスをしていた、というような、思いがけない入口からダンスを体験していくことを目指す。新しい体感と巡り会うための感覚や思考を刺激する。
◎一例：走る・打つ・泳ぐなど、スポーツのムーブメントを使って、ゲームを行う。懐中電灯の灯りを用いて、暗闇のなかで動く人の動きやポーズを照らす(ムーブメントの探掘)。何もない空間に設定をつけたり、見えない設定を想像で空間に置き、そのなかで動き、過ごしてみる。※年齢や学校の専門性に応じて変えていきます。

◎アウトリーチ実施条件

▶参加適正人数：①②少人数ver.：15名程／大人数ver.：30名程、③：30名程度 ▶1日の実施可能回数・時間：2コマ※①③：1コマ90分、②：1コマ60分

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

①「ベル」Remix

ヒトが日々、色々なことを考え、感じ、行動しているのと同じように、名前の無い動きもさまざまな動機から生まれている、と考え、感覚を“振付”として表現・取り出すことに重視した作品。

②「黄金色になるまで」Remix

それぞれの人生“経験”に焦点を当て、内包するものを動きや言葉などの形にして取り出す。表現方

法は自由。マインドマップを作り、オリジナリティ溢れる表現の発掘を目指す。

▶参加(出演)者の希望で小道具等が必要な場合、対応可能なものは準備をお願いします。

<実施条件>

▶上演時間：60分 ▶出演者数：3人(登録アーティスト+共演者1名) ▶市民参加の形態：市民参加公演(クリエーションワークショップ参加者との

この事業で可能な公演作品

①「Vocal cord」

見る／見られるという関係を模索した作品。人間の“行動”に注目し、具体的なカタチやポーズをトレースしていく。言葉をカットし、身体でくり返す。行動が語り始め、見えないはずの感情もカタチとなって浮き出てくる。

②「不在をうめる」

世の中で起こるあらゆる出来事を目にすることが出来るツールの数々。情報は個人の容量を超えていく。情報だけが一人歩きし、当事者は現在何をしているのか、これが真実かデタラメなのか、曖昧なま

まに過ぎていく。見えていないこと、間にあるものは、一見ただの空気。空気の高さに注目し、漂う残像を動き描いた作品。

③「Character」

踊る側の体感と、作る側の視点を混ぜたソロ作品として発表した「まやかし」、「マグ」、「牙のありか」、「風景画」。それぞれ人間の特性に対する好奇心から創作し、独立した作品。1つがもう一方を引き起こす、あるいは共通点を持つ、という可能性を想像し、短編を連結して別の作品(もうひとつの話)として上演する。

この事業で挑戦してみたいこと

●異なる価値観やバックグラウンドを持つ人と交流を図るのに、ダンスは大切な鍵になると感じています。ダンスは、リズムに合わせて踊るということに限りません。根本にあるものは、年齢や身体スキルを問わず、備わっているものだと思います。普段と違う角度で動きを捉えるきっかけを共有すること

で、知らない動きや発想と出会う瞬間を楽しんでほしいです。

●アートが多くの人に身近なものになるよう、未来に繋がる、豊かなアート体験をしてほしいです。ダンスの入り口を知った先で、芸術鑑賞の機会も増え

公募ワークショップ

～身体のパキャブラリーを増やす・広げる。振付を踊る・つくる。～

①ダンス未経験者を対象(30歳まで／30歳以上)とするワークショップ
②様々な領域(ジャンル)でアート活動を行う方を対象とするワークショップ
③ダンス経験者を対象(30歳まで／30歳以上)とするワークショップ

Von・noズが日頃行っているウォーミングアップから始め、ムーブメントリサーチや作品のクリエーション、振付を踊るなど、ダンサーが行なっていることを実践する。個々に持ち帰った先で、共有した時間をダンスに限らず活かしてもらうことを目指す。
▶参加適正人数：少人数ver.：15名程／大人数ver.：30名程 ▶1日の実施可能回数・時間：2コマ※1コマ90～120分

◎アウトリーチ・ワークショップ実施条件(共通)

▶アシスタントの有無：無 ▶必要機材：PCやスマートフォンを接続できる音響プレーヤー

協働作品) ▶クリエーションワークショップの参加(出演)人数・回数：10名程度・6～10回程度
▶同行スタッフ：舞台監督・音響・照明・制作のうちいずれか ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：間口10m、奥行8m程度 ※広い方が望ましい(要相談) (2)リノリウム：①有。色の希望なし、②どちらでも可

<実施条件>

▶上映時間：①60分、②30分、③25～45分 ▶出演者数：①②2人(登録アーティスト)、③2～3人(登録アーティスト+共演者1名) ▶同行スタッフ：舞台監督・音響・照明・制作のうちいずれか ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：間口8m、奥行8m程度 (2)リノリウム：有。色の希望なし (3)舞台セット：①会場備品等を舞台上に配置、②椅子5脚(背もたれ有、パイプ椅子可)、③小道具(机・椅子・引き出し・スタンドライト)持込みあり

ると良いなと思います。

●我々自身、その土地でしか出会えない技術や文化、人や時間の流れ方から受け取るものがどんな風に自分たちのダンスに影響するのか楽しみです。

Artist Files

B | **ダン活**^{支援} 登録アーティスト

青木尚哉

Naoya AOKI

振付家/ダンサー。zer〇代表。東京都あきる野市生まれ。幼少期には地元で祭囃子を習い、16歳よりダンスを始める。noism (04～08)、JAPON dance project (13～16)の活動を経て、自身主宰のダンスグループzer〇(12～)の立ち上げへと進む中、舞台芸術に定まらず、ダンスそのものの本質を求め活動中。人の身体の形や動きを自然現象と同じように観測する身体感覚メソッド「ポイントワーク」を開発し、劇場以外の社会でも「ダンスの活用」を模索する。音楽、建築、福祉、教育、保育のフィールドで協働を進める。西岡・福谷バレエ団(京都)にてアドバイザー、振付家に就任。

ホームページ https://zero-dance.com/naoya_aoki
E-mail aokiny@icloud.com
在 住 地 京都府京都市
出 身 地 東京都あきる野市

Ⅰ活動歴Ⅰ

〈2004～08年〉新潟市レジデンシャルダンスカンパニー Noismに所属
〈2013～15年〉JAPON dance projectを結成
〈2017年～〉zer〇

Ⅱワークショップ歴Ⅱ

〈2008～14年〉全国各地にて「ポイントワーク」「ダンスワークショップ」 対象：ダンサー
〈2010年〉瀬戸内国際芸術祭連携事業「l'oeufおいしいものはベツバラ」対象：高校生以上約15名 主催：財団法人高松市文化芸術財団、サンポートホール高松
〈2012～13年〉ASIAS 豊島区立要小学校 対象：すずか

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

❶**アウトリーチ!!小学校特別授業(中学校も可能)**
いずれ中学校で出会う必修科目の授業を前に、ダンスの枠を広げるためのワークを行います。イメージは「答え」ではなく「応え」のある授業

❷**先生たちと。ダンスってなんだ?!**
ダンスを用いた授業の進め方や、効果、期待値について考えます。カラダを動かす実践の時間と、意見を交換し合うセッションを同時に行います。地域内の各分野での横の繋がりがや、情報交換の場としても活用していただけたらと思います。

この事業で可能な公演スタイル

青木尚哉、及びzer〇は、小品レパトリーを数多く所有し、状況に応じた形で発表の仕方が可能です。また、舞台上での作品発表に限らず、公共スペースでの長時間インスタレーション作品「集約させないパフォーマンス」も実施が可能です。開催地の観光名所や有名スポット、関連企業などと連携しご当

け学級(特別支援学級) 主催：NPO 法人芸術家と子どもたち
〈2013年〉市民公開講座―青木尚哉WS～身体の可能性をみつけよう～ 対象：ダンス未経験者 主催：金沢市民芸術村アクションプラン 実行委員会
〈2017年〉世田谷区民会館パフォーマンスキッズ・トーキョー「木目調/デジタル」 対象：小学3年生～中学2年生48名を公募 主催：アーツカウンシル東京、NPO法人芸術家と子どもたち、株式会社世田谷サービス公社
〈2018年〉さいたまスーパーアリーナの青少年育成事業身体表現ワークショップ「GLOWING UP」対象：4才～高校生15名を公募 主催：株式会社さいたまアリーナ、劇団ハーベスト

公募ワークショップ

❶**誰でも可!!「ポイントワーク!」(初級)**
カラダのしくみを学びながら、運動をしています。いろんな要素が絡み合って、いつの間にかダンスをしている自分に気がつきます。参加者の運動能力にあわせて、レベルの調整が可能ですので、誰でも参加可能!

❷カラダ専科WS

地域のダンサー、パフォーマーとの交流専門的に舞台芸術を行っている、又は将来行いたい方を対象に、スキルアップのためのダンスワークショップができます。

地とダンスを絡めたダンスビデオの撮影／編集を行うことができます。出来上がったショートクリップについては、相手方のPR素材として使用することができます。

〈2022年〉YCC de からだ講座～過ごしやすい姿勢の見つけ方～ 対象：18歳以上 スポーツ・ダンスの経験は不問30名 主催：株式会社渋谷サービス公社 企画・制作：zer〇、株式会社シアターワークショップ
〈2022年〉公共ホール現代ダンス活性化支援事業「川根縁舞」 対象：町民 主催：川根本町

◎実施条件(共通)

▶アシスタントの有無：1名(30名をこえる場合は1名追加) ▶参加適正人数：各WSにより、応相談(目安として20名程度) ▶1日の実施可能回数・時間：2～3コマ ※1コマ90～120分(応相談) ▶必要機材：パソコンのつなげる音響、ピンマイク

レパトリー作品

❶『集約させないパフォーマンス』
❷『LANDSCAPE』
❸『偏向する傾斜』
❹市民参加作品
❺ご当地ダンス映像作品への出演



Photo:Akira Kihara

伊藤キム

Kim ITOH

ダンサー・演出家・振付家・伊藤キム & GERO主宰。87年舞踏家・古川あんに師事。95年「伊藤キム+輝く未来」結成。96年フランス・パニョレ国際振付賞、02年第一回朝日舞台芸術賞・寺山修司賞、08年横浜文化賞奨励賞。05年にバックパックを背負って半年間の世界一周の旅に出る。おやじが踊って給仕する「おやじカフェ」のプロデュースを国内外で行う一方、小中高校生に振付をして作品上演するプロジェクトにも多数参画している。青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム修了。15年新カンパニー GEROを結成。時にはダンス寄り、時には演劇寄り、また時には音楽や美術寄りと、作品ごとに方向性がどんどん変わるのがGEROの特徴で、劇場に限らずギャラリーや屋外などにも展開し、瀬戸内国際芸術祭、いちばらアートミックスなど各種芸術祭にも参加している。

所属カンパニー GERO
ホームページ <http://www.gero.kim>
E-mail gero.kim.2015@gmail.com
在 住 地 神奈川県横浜市
出 身 地 愛知県知立市

Ⅰ活動歴Ⅰ

1995年以降現在まで国内外で多数の実績あり。

Ⅱワークショップ歴Ⅱ

1995年以降現在まで国内外で多数の実績あり。

4分で観られる伊藤キムのダンス！
街頭やビルの中、公園で踊ります！



可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

❶**「学校ダンスジャック～伊藤キムがやってきた!」**
昼食・給食の時間に伊藤キムが突然現れて校内でゲリラで踊りまくる。廊下を走る、教室に乱入する、運動場を走り回るなど。他のアーティストにはない強烈なインパクトで子どもたちに「非日常体験」をもたらす。午後のWSの前に行くとWSの進行がよりスムーズ。これまで小中学校で10回以上実施。

❷**「学校ワークショップ～遊びを通じて、考えながら動く」**
日常的な動きを題材に頭と身体の両方を使うことで子供たちに新たな気づきを促す。

※上記ダンスジャック及びワークショップは、福祉施設などでも実施可能。
▶参加適正人数：❶全校生徒、❷5～80名
▶アシスタントの有無：1名必要

この事業で可能な公演スタイル

レパトリー作品

❶**「だれかがわたしをよんでいる」(ソロ作品)**
見えない「なにか・だれか」に向かってしきりに何かを呼びかける男。でもそれは言葉ではなく、意味のない音やうめき声、ささやき、さけび、時には旋律に乗せた歌にもなり、演説にもなる。コミカルな一方、ヒリヒリするようなシリアスさも帯びたそのやり取りは、独りぼっちの人間と、周囲の環境との関係のありようを垣間見せる。伊藤キム独特の「身体と声をミックスした身体表現」を駆使した内容で、ユーモラスで切ない作品である。作品の上演前または上演後に、作品の内容を紐解くようなプレトーク・アフタートークを行うことも可能。

▶上演時間：30分
▶演出・振付・出演：伊藤キム
▶使用する会場、床の状態、スタッフは要相談

QRコードからスタジオ版をYouTube限定公開で観ていただけます。



カになれる」

❸**演奏家対象ワークショップ**
クラシック音楽の奏者が対象。呼吸や重心を意識することで演奏をより豊かにする。後半でダンサーとのコラボメニューもあり。参加者アンケートより「普段気づけない身体の『芯』を感じることができた」

❹**親子でワークショップ**
音楽に合わせて思い切り動いてはしゃいだり、普段家庭ではできない身体の触れ合い遊びやコミュニケーションを実践。

▶参加適正人数：5～20名程度
▶アシスタントの有無：1名
▶1日の実施可能回数・時間：3コマ ※1コマ90分
▶必要機材等：iPodを接続できる音響プレーヤー

市民参加作品

上演するホール・場所の特性を生かし、かつ地域の事情も踏まえ、ホール担当者の意見を伺いつつ「どんな人たちをどんな場所まで連れていくのか?」といったことを考慮して作品イメージやタイトルなど考えていく。その地域の音楽家や美術家など、地元アーティストとのコラボも視野に入りたい。

▶出演者数：伊藤キム、GEROメンバーアシスタント兼任1～2名
▶同行スタッフ：舞台監督1名

岩淵多喜子 Takiko IWABUCHI

海外での活動後、1999年<Dance Theatre LUDENS>を設立。代表作にパークタワーネクストダンスフェスティバル委嘱作品“Be”、“Es”、“Distance”、新国立劇場委嘱作品“Against Newton”等。“Be”にて横浜ソロ×デュオコンペティション 横浜市文化振興財団賞及び在日フランス大使館賞受賞、“Distance”にて日本舞踊批評家協会新人賞受賞。「コンテンポラリーダンスの創作手法や方法論に習熟した日本では数少ない振付家の一人」として国内外で高い評価を受けている。

所属カンパニー Dance Theatre LUDENS
ホームページ <http://dtludens.jp/>
連絡先(担当) 岩淵多喜子
住 所 埼玉県川口市
E - m a i l dtludens@gmail.com
在 住 地 東京都調布市
出 身 地 埼玉県川口市

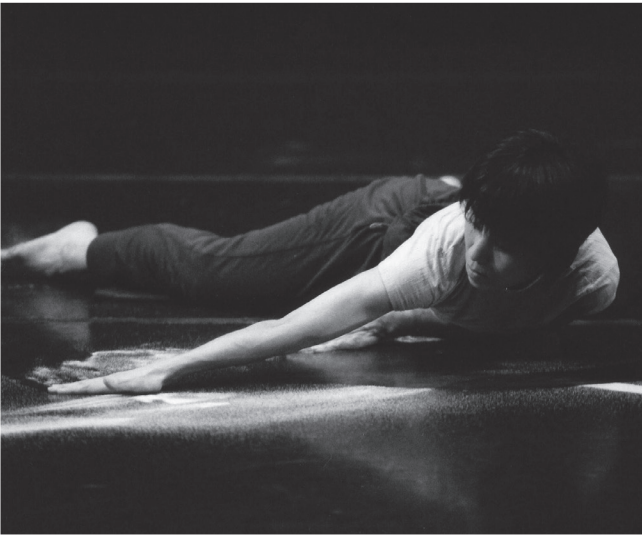


Photo:塚田洋一

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴
〈1999年〉Dance Theatre LUDENS設立
〈2000～02年〉パークタワーネクストダンスフェスティバル参加。
『Be』、『Es』、『Distance』連続発表
〈2001年〉横浜ダンスコレクションSolo×Duoコンペティション参加。『Be』-duo version-
〈2003年〉『Against Newton』(新国立劇場小劇場)
〈2004年〉『Against NewtonII』(新国立劇場小劇場)
〈2006年〉『Moments』(秋吉台国際芸術村、横浜赤レンガ倉庫)
〈2007年〉『Moments07』(横浜赤レンガ倉庫、札幌コンカリーニョ)
〈2009年〉『Creation2009』ダンスが見たい!! Vol.11 (Dー倉庫／東京)／カンボジア(プノンベン)レジデンス 現地ダンサーと作品創作

〈2010年〉『「からだのキモチ」東京文化発信プロジェクト パフォーマンスストーリーキュー』(東京芸術劇場)
〈2011年〉LUDENS新作公演『Anonym-失いうもの-』(吉祥寺シアター)／『1 hour before Sunset』横浜トリエンナーレ関連企画／ダンス活性化事業(サラダホール 大阪府阪南市)『1 hour before Sunset』+WS作品
〈2012年〉『Body Songs』(吉祥寺シアター)
〈2018年〉『Trifles』(吉祥寺シアター)

○受賞歴
〈2001年〉横浜ダンスコレクション2001 Solo×Duoコンペティション 横浜市文化振興財団賞、在日フランス大使館賞受賞 作品：『Be』-duo version-
〈2005年〉日本舞踊家批評家協会新人賞受賞 作品：『Distance』

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

これまでに東京国際ダンスワークショップReActionを10年に渡り主催する他、地域創造ダンス活性化事業(伊賀市、豊橋市、阪南市、東松山市)、JCDN「踊りに行くぜ」関連ワークショップ(岡山市、広島市、珠州市)、埼玉芸術劇場「MEET THE DANCE」、水戸芸術館、秋吉台国際芸術村、北九州芸術劇場、大阪ダンスボックス、京都芸術センター「コーチングプロジェクト」、アメリカSwarthmore Collage、フランスグルノーブル市大学マスタークラス、カンボジアプノンベン作品創作ワークショップ等、国内外で初心者から専門家まで対象者に合わせた様々なワークショップやアウトリーチ活動を実施し、コンテンポラリーダンスの魅力と身体と表現の可能性を発信している。
東京国際ダンスワークショップReActionディレクター、日本女子体育大学ダンス学科准教授。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ
アウトリーチワークショップについては、各種学校(幼稚園、保育園～大学まで)、障がい者施設、高齢者施設等、現場の要望に合わせて柔軟に組み立てることが可能です。
①遊びの要素を取り入れたワークショップ
親しみのある遊びのルールをもとに、動きや空間の可能性を見つけ、ダンスの動きに発展させていく内容です。
②身体と感覚を繋げるワークショップ
ストレッチや簡単な動きから、呼吸、皮膚、視覚、聴覚など普段眠っている感覚を呼び起こす内容です。
③コンタクト、パートナーワークのワークショップ
人との触れ合いを通してからだでのコミュニケーションの楽しさ、可能性を探る内容です。

この事業で可能な公演スタイル

レポートリー作品
①「Moment」
時間と記憶をもとに綴られる岩淵のソロ作品
▶上演時間：約20分 ▶出演者数：1名(登録アーティスト) ▶同行スタッフ：照明1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、仕込要員2名程度 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：8m×8m程度以上 (2)床：リノリウム(黒) ▶その他：小道具として缶20缶程度と砂(1缶分程度)を持ち込み

②『1 hour before Sunset』
▶上演時間：60分 ▶出演者数：5名 ▶同行スタッフ：照明1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、仕込要員2名程度 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：10m×10m程度(それ以下でも対応可能)(2)床：リノリウム(黒) ▶その他：通常のプロセニウム形式の他、舞台上舞台での上演が可能。

市民参加作品
公募ワークショップを発展させた形で市民参加型の

作品の創作が可能です。(内容は公募ワークショップの欄をご参照ください)
▶上演時間：30分～1時間 ▶出演者数：10～20名程度 ▶現地劇場のスタッフで柔軟に対応可

◎基本的なプログラム
▶①+市民参加作品+アフタートーク(全体60～80分程度)
▶②+アフタートーク(80分程度)
▶市民参加作品+アフタートーク(全体60分程度)

遠田 誠 Makoto ENDA

ダンサー／振付家。漆器づくりの家系に生まれ、プロダクトデザインを学ぶ一方、商店街ファンとして街のディティールに注目。デザインする上での俯瞰した視点とダンスの外様としての特異なアプローチから作品づくりを行う。日常のはざ間にダンスその他を混在させる『まことクラブ』、閉鎖空間での表現の可能性を追求する『&ルフィン(エンドルフィン)』を主宰。作曲家・演出家・振付家・アーツマネージャーによるユニット『門限ズ』メンバー。2018年より、ダンスを介して様々な街の魅力を浮き彫りにしていく『“街”ダンス(ガイダンス)』シリーズを展開。

ホームページ <https://www.endamakoto.com>
連絡先(担当) 遠田誠
E - m a i l m45.end@gmail.com
在 住 地 東京都調布市
出 身 地 東京都品川区

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴
〈1995年～〉『伊藤キム＋輝く未来』に旗揚げより参加
〈2001年～〉『まことクラブ』活動開始
〈2008年～〉東京造形大学非常勤講師
〈2010年〉あいとりエンナーレに参加
〈2011年〉ヨコハマトリエンナーレのキャラン隊長に就任
〈2014年〉いわきAliosダンスリレーファイナル「いわきを踊れ!」
振付・出演
〈2016年〉画家・流麻二果とのコラボレーション「六本木借景絵」
振付・出演
〈2017年〉太田市美術館・図書館 開館記念「オオタドン」演出・振付・出演
〈2017年～〉『&ルフィン』開始
〈2018年～〉『“街”ダンス(ガイダンス)』シリーズ開始
〈2019年〉鳥取市民参加作品ゲキジョウ実験!「銀河鉄道の夜→」振付・出演

〈2020年〉品川アーティスト展「トーキョー “街”ダンス～品川フォーカス編～」演出
障害を持つ俳優・里村歩とのエンライン・デュオ(「演劇と社会包摂」制作実践講座)
〈2022年〉「北品川ゴーア라운드!」参加
「舞台芸術セミナー」@北九州芸術劇場出演
&ルフィン新作『月蝕』@BankART Station
〈2023年〉えずこシアター演劇公演「ヤミツキ」を演出 @仙南芸術文化センター えずこホール
門限ズ+ボーイズ「みるときくの、むこうがわ」@穂の国とよはし芸術劇場PLAT

○受賞歴
〈2005年〉東京コンペ#2にてダンスパザール大賞受賞
〈2006年〉トヨタコレオグラフィアワードにてオーディエンス賞受賞
〈2007年〉第1回日本ダンスフォーラム賞受賞



Ⅰワークショップ歴Ⅰ

〈2006年〉こまばアゴラ劇場での一般参加者を対象としたWS
〈2007年〉釜山大学での子どもダンサーを対象としたWS
〈2008年〉京都市で高瀬川の清掃を兼ねた身体WS
〈2008～12年〉東京造形大学メディア・デザイン科の学生を対象とした映像WS
〈2011年〉富山県高岡市の一般参加者を対象としたWS
〈2012年〉大島の小学校で、学芸会の演劇作品中のダンスシーン及びステージングを指導
〈2012～14年〉横浜市の小学生を対象としたWS
〈2014年〉信州大学人文学部芸術コミュニケーション講座ゼミ生を対象としたWS
〈2019～20年〉横浜市の小学校特別支援クラスを対象としたWS
〈2022年〉愛知県豊川市でのイベント参加者の為のダンスWS
〈2022～23年〉宮城県の小中学校でのダンスWS
〈2024年〉宮城県の保育園及び特別老人ホームでのWS

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ・公募ワークショップ共通
①小学校でのワークショップ(特別支援クラス含む)
身近なもの(例：給食の献立、苦手な食べ物、好きな科目、休憩時間のあそび等)のイメージから、即興で短い振付を考えて、みんなで一緒に踊ってみよう!校歌の振付を考えて、みんなで歌いながら踊ってみよう!クラスメイトのカラダを操り人形のように動かしてみよう!動かされてみよう!

②学生・社会人へ向けたワークショップ
薄氷を踏み、体重を増やす・減らす、カラダを伸ばす・縮める、気迫をぶっ放す、しおしおにしおれる等、様々なイメージを駆使して、普段とは異なるカラダの使い方を探っていきます。また、幾つかのキーワードに対する参加者それぞれのイメージを元に短い振付を

作り、創作の過程を体験していただきます。
③老人ホームでのワークショップ
「かごめかごめ」を参加者の皆さんに歌っていただき、その歌に振り付けたダンスを輪の中で踊ります。童謡・唱歌など、誰もが歌える歌に簡単な振付を即興で作り、手先で踊ったり歌ったり手拍子をしたりして、全員が参加できる時間を作ります。

◎実施条件(共通)
▶参加人数：10～30名程度 ▶アシスタント：1名 ▶1日の実施可能回数・時間：2コマ※1コマ120分程度 ▶必要機材：CDプレーヤー ▶場所：会議室から体育館まで対応可能 ▶対象：小学生、大学生、社会人、軽度障がい者、ダンス経験不問

この事業で可能な公演スタイル

レポートリー作品
①「断片集」
▶上演時間：30～60分
▶出演者数：4名(登録アーティスト+共演者3名)
▶スタッフ：未定
▶上演環境：形状、広さなど対応可能。
▶作品について：物語を語る男と周囲の環境音を取り込む音響、少人数で紡ぐダンスとが交錯し、混沌の果てへ向かうクロスジャンル作品。

②「月蝕」
▶上演時間：60分
▶出演者数：4名(登録アーティスト+共演者3名)
▶スタッフ：未定
▶上演環境：広さなど対応可能。椅子数脚使用。
▶作品について：ムーンショット計画等、我々の生活に影響を及ぼす様々な題材を絡め合わせたダンス作品。

市民参加作品
①『福岡市美術館 Remix』
▶上演時間：50分
▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者2名)
▶スタッフ：未定
▶上演環境：形状、広さなど対応可能。ピアノ使用(グランドピアノが望ましい)、椅子2脚(折りたたみ不可)。
▶作品について：作曲家・野村誠の約2分×21のピアノ曲に振り付けたダンス・デュオ。ダンサー・高須賀千江子との作品。

大島 匡史朗

Kyoshiro OSHIMA

SnC代表、振付家、ダンサー。スイス、バーゼルバレエ学校卒業後、同国、Ballet Junior de Genèveに所属。アレクサンダー・エクマン、ホフェッシュ・シェクター等、世界的に有名な振付家の作品を踊り経験を積む。帰国後、企画団体SnCを設立。主催公演、他分野とのコラボレーション、ワークショップの企画等、様々な活動を行う。個人でも振付家をメインに活躍しており、2019年には福岡県・サザンクス筑後・九州芸文館等主催の「筑後ダンスプログラム」に作品提供、好評を得た。学校等へのアウトリーチを行う団体Dancing Peopleとしても活動中。

所属カンパニー SnC
ホームページ <https://snc-contemporary-dance-project.tumblr.com>
連絡先(担当) 大島匡史朗
E-mail snc.contemporarydanceproject@gmail.com
在住地 福岡県福岡市
出身地 大分県日田市

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴
〈2011年〉Ballet Junior de Genèveにて、「Inside yourself」振付
〈2016年〉(公財) 日本バレエ協会主催“全国合同バレエのタベ”にて、「Eat me, Eat Me」振付
〈2019年〉福岡県・サザンクス筑後・九州芸文館等主催“筑後ダンスプログラム2019”にて、「うつろう」、「骨まで食べれる」(市民公募型) 振付
〈2020年〉(公財) 筑後市文化振興公社主催“夏のちよこつとフェスティバル”にて、「月が出た」(市民参加型) 振付
〈2021年〉(公財) 福岡市文化芸術振興財団・福岡市主催“ダンスセレクションinアートカフェ”にて、「静寂は怒る」振付。クリエイティブ・ラボ“anno lab”とコラボレーションし、デジタルアート作品「窓がひらいている」制作。
〈2022年〉“anno lab”とAIを使ったダンスの拡張を目的とした作

品「The Place of Us」共同制作。

〈2023年〉Asia-Europe Cultural Festival2023 (シンガポール)にてTeet Kask振付「The Golden Temple」主演
〈2024年〉エストニアにてTeet Kask 振付「The God and The Devil」主演、同国にて「静寂は怒る」再演

○受賞歴

〈2005年〉Youth America Grand Prixにてワシントンキーロフバレエアカデミーよりスカラシップ受賞
〈2006年〉バレコン福岡 男子ジュニアの部 4位受賞
〈2007年〉NBA/バレエコンクールコンテンポラリー部門 3-2位受賞
〈2011年〉NBA/バレエコンクールコンテンポラリー部門 振付作品が3—1位受賞
〈2016年〉Youth America Grand Prix シニア部門 コンテンポラリー 振付作品がTOP12

Ⅱワークショップ歴Ⅱ

●筑後ダンスプログラム2019 (2019年) 小学生以上の市民が対象。全6回のワークショップで、市民公募型作品「骨まで食べれる」を振付。主催：九州芸文館芸術文化交流文化流拠点性発揮実行委員会
●西日本短期大学メディア・プロモーション学科 (2020年) ダンス経験のある短期大学2年生が対象。5月にオンライン、12月に対面にて実施。
●福岡市立八田小学校 (2020年～ 2023年) 各年の小学4年生が対象。毎年担任の先生へのヒアリングを行った上で内容決定。※2021年からは文化芸術による子供育成総合事業—芸術家の派遣事業として実施
●Ballet and Beyond (2022年) 小学生以上の子供及び親子が対象。身体遊びを通して想像力や発想力を刺激。
●福岡市千代音楽・演劇練習場 (2023年) 夏休み企画として、小学生対象クラスとシニア対象クラスを実施。



Photo:Yuval Myal

北尾 亘

Wataru KITAO

1987年兵庫県生まれ。幼少より舞台芸術に携わる。2009年ダンスカンパニー[Baobab]を旗揚げ。“土着的でリズムカルに躍動する群舞”と“演劇的視点で描く圧倒的世界観”を特徴に、単独公演ほか国内外のフェスティバルに参加。振付家として、柿喰う客、ロコ、木ノ下歌舞伎など舞台作品のほか、TVドラマ、CM、映画へ多数振付。ダンサー・俳優として、近藤良平、熊谷拓明、多田淳之介、杉原邦生、山本卓卓などの作品に出演。WS講師やアウトリーチ活動を日本全国で展開。平成27年～28年度・平成30年～令和3年度までダン活登録・支援アーティストとして、全国で15事業実施に携わる。尚美学園大学、桜美林大学、多摩美術大学非常勤講師。

所属カンパニー Baobab
ホームページ <http://dd-baobab-bb.booo.jp>
アーティスト在驻地 東京都世田谷区
アーティスト出身地 神奈川県川崎市

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴
〈2013年10月〉KYOTO EXPERIMENT2013公式プログラム 参加 Baobab二都市往復ツアー「家庭の1.2.3」
〈2015年1～3月〉木ノ下歌舞伎再演ツアー『黒塚』(出演・振付/演出：杉原邦生) 全国5都市上演
〈2016年3月～〉Baobabディレクション
〈2016年8月〉せたがやこどもプロジェクト2016〈ステージ編〉『兵士の物語』@シアタートラム (主演/振付：近藤良平)
〈2016年9～10月〉Baobab第10回本公演ツアー『靴屑の塔』@ 吉祥寺シアター、他3都市上演
〈2018年6月〉SAN FRANCISCO International Arts Festival 招聘 Baobab『笑う額縁-Laughing Frame』@Firehouse (アメリカサンフランシスコ)
〈2021年1～9月〉Baobab『アンバランス』@シアタートラム他、5都市上演
〈2021年10月〉東京芸術祭2021主催プログラムBaobab『ジャ

ングル・コンクリート・ジャングル』@あうるすぽっと
〈2022年11月〉東京芸術祭2022 芸術オータムセレクション『となり街の知らない踊り子』(出演・振付/演出：山本卓卓)@東京芸術劇場シアターイースト

○受賞歴

〈2010〉コンドルズ振付コンペティション(CCC)準グランプリ
〈2012〉トヨタコレオグラフィアワード2012オーディエンス賞
〈2014〉第3回エルスール財団新人賞コンテンポラリーダンス部門
〈2018〉横浜ダンスコレクション2018コンペティションIベストダンサー賞
〈2020年〉ベッシー賞(ニューヨーク・ダンス&パフォーマンス賞)
『OUTSTANDING PERFORMER部門』ノミネート

Ⅱワークショップ歴Ⅱ

〈2013年8月〉「夏休み限定!吉祥寺シアターダンス部2013」(対象：中学生、高校生 場所：吉祥寺シアター稽古場) 主催：武蔵



Photo:ふじまつたえこ

野文化事業団

〈2017年1～2月〉パフォーマンスキッズ・トーキョー 伊豆七島プログラム「八丈町立大賀郷小学校」主催：アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人芸術家と子どもたち
〈2018年8月～2019年11月〉神奈川県青少年センター演劇活用青少年支援事業「神奈川県立子ども自立支援センターきらり」(対象：障害児、心理治療児童) 主催：神奈川県青少年センター
〈2018年11月～2020年2月〉「キタQアーティストふれあいプログラム」対象：北九州市立小学校4校)主催：北九州芸術文化振興財団
〈2020年8月～〉新国立劇場「中高生のためのどっぶり演劇Daysオンライン」(対象：中学生) 主催：新国立劇場
〈2022年11月～〉岡山芸術創造劇場 ハレノワ プレ事業 ハレルワークショップ「100人ダンス」
主催：(公財)岡山文化芸術創造、共催：岡山市

可能なワークショップ等のスタイル

事前にヒアリングを行い、目的や年齢・条件に合わせた完全オーダーメイドのプログラムを実施します。経験豊富なアーティストにアシスタントとして参加してもらうことで、ワークショップをよりスムーズに進められるだけでなく、多角的にプログラムを構成することができます。

◎実施条件

▶アシスタントの有無：1名 ▶参加適正人数：応相談 ▶1日の実施可能回数・時間：応相談 ▶必要機材：可能なら、PC等を接続できるスピーカー、マイク2つ、ホワイトボード等
以下は過去の実施例です。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

①『うつろう』
2019年初演。日本の四季と人生における四季をコンセプトに演出された、東洋と西洋の様式の入り混じる舞踊作品。空間全体が幕によって区切られ、シーンのコンセプトに応じて変化を見せる。

▶上演時間：30分 ▶出演者数：ダンサー 5名、一般市民5～10名 ▶同行スタッフ：制作1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名、照明仕込み複数名、大道具・小道具複数名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：ホール 14.5m×13.2m程度(初演時。ホールのサイズは

適宜対応。) (2)リノリウム：黒 (3)必要機材、舞台セット：ムービング6台。大黒幕(上下)。バトン～舞台床面までの長さがある黒袖幕6枚。高梯子1台。姿見鏡1台。椅子1脚。箱馬(黒)2個。階段(黒)1つ。紙吹雪。業務用扇風機(紙吹雪用)。▶その他：一般市民に必要なリハーサル回数は最低5回

市民参加作品

①『ミルク』
「積み重ねるもの」をテーマに、出演者との対話形式で進められていく作品。出演者の身体の特徴、性格、過去等をインタビューで明らかにしていき、最後に出演者自身の踊りを鑑賞する。

公募ワークショップ

公募ワークショップ参加者と一緒にゲーム形式でウォームアップを行なっていき、動きを一緒に作る。多様な振付家と協働してきた経験から具体的な例を提示したり、途中で座学も挟みつつ、それぞれが作りやすい方法と一緒に探してオリジナルの動きを作り、最後に発表する。それぞれの動きの作り方の模索と他者の動きの鑑賞をセットにしたプログラム。

▶上演時間：35分 ▶出演者数：ダンサー 1名、影ナレ1名 ▶同行スタッフ：制作1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名、照明仕込み1名、アシストいれば1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：特に希望なし(2)リノリウム：有。黒希望。(3)必要機材、舞台セット：マイク2個

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ
『日常動作やモノマネから始まるダンス』
日常の中でのストーリーや、実際に見たり触れたりしている物を題材に、ダンスに繋がる楽しさを伝えます。(小・中・高校で実施)
②地域サークルでのアウトリーチ
『ゆったりストレッチ講座』
ヨガやフラなど老人のサークル活動の中で、新たな体ほぐしの方法を提案しながら、ダンスの新たな魅力を提案します。(高齢者に実施)
③教育大学でのアウトリーチ
『アウトリーチを通したダンスの触れ合い方』

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

①『笑う額縁』
[ダンスを絵画・ダンスジャンルを額縁]に置き換え、枠組みを打破しようと勇むエネルギーな作品。
▶上演時間：30～50分 ▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者) ▶同行スタッフ：照明1名(応相談)
▶現地スタッフ：音響、舞台監督各1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：8mX8m程度(2)リノリウム：黒(他の色でも可)(3)必要機材、舞台セット：マイク・劇場舞台 備品
②『UMU・うむ』
[生む・有無・豊む]3つのテーマを内包し、多様

な身体性と映像演出で描くソロ作品。

▶上演時間：30～60分(伸縮可) ▶出演者：登録アーティスト1名 ▶同行スタッフ：映像オペレーター1名 ▶現地スタッフ：照明、音響、舞台監督各1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：6m×6m 程度以上(2)リノリウム：黒 (3)必要機材、舞台セット：ボリゾント幕(スクリーン幕)使用 ▶その他：「笑う額縁」と同時上演可

市民参加作品

①『まほう』(宮古市民文化会館Bプログラム2022年初演)
レパートリー作品に参加者が一体となって出演。本

来10名で構成する作品の様々なシーンを参加者の特性に合わせ担ってもらう。

▶上演時間：60～75分 ▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者2名) ▶市民参加公演の形態：市民参加公演(クリエーションワークショップ参加者との協働作品) ▶クリエーションワークショップの参加(出演) 人数回数：10名程度・3～5回程度 ▶同行スタッフ：映像オペレーター 1名 ▶現地スタッフ：照明仕込み、音響、舞台監督各1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：8m×8m程度(2)リノリウム：黒(他の色でも可)(3)必要機材、舞台セット：マイク

北村 成美

Shigemi KITAMURA

通称、なにわのコレオグラファーしげやん。「生きる喜びと痛みを謳歌するたくましいダンス」をモットーに国内外でソロダンス作品を上演するほか、日本各地で市民参加による大型コミュニティダンス作品を発表。小・中・高校・特別支援学校・福祉施設はもちろん、ショッピングモール、ご家庭の居間、廃屋、電車、海、山、いつでもどこでもどなたとも踊ることをライフワークとし、滋賀では障がいのある人となない人が共に舞台をつくる「湖南ダンスカンパニー」にてディレクターを歴任。劇団やダンスカンパニーへの振付、音楽家や美術家との共同製作、CM振付や映像作品など数多く取り組む。

ホームページ <http://www.shigeyan.com/>
連絡先(担当) 北村成美
E - m a i l shige@shigeyan.com
在 住 地 滋賀県草津市
出 身 地 大阪府大阪市



Photo:Nobuo Onishi

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

〈2000年～現在〉ソロ活動開始。ひとりレビュー作品「i.d.」を発表し、年間30ステージ上演を達成。1週間1人で踊り続ける「ダンスマラソン」やご家庭の居間で踊る「ダンスアットホーム」などの自主企画を開始。国内外のフェスティバルやツアーに参加。夏びわ子(滋賀)、海ぶどうナツ子(沖縄)などのご当地水着アイドルシリーズ、歌謡曲インプロ集団「しげメイツ」がバックダンサーをつとめるカラオケダンス大会を開催。
〈2004年～現在〉滋賀県湖南県域にて知的障がいのある人となない人が共に舞台をつくる「湖南ダンスカンパニー」ディレクターを歴任。
〈2006年～現在〉岐阜県多治見市文化会館、鹿児島県徳之島町文化会館にてダンス活性化事業を実施。広島県はつかいち文化ホールさくらびあ、山口県クリエイティブ・スペース赤れんが、兵庫県西宮市甲東ホール、大阪府箕面市立メイプルホール、大阪府八尾市文化会館プリズムホールにてダンス活動支援事業を実施。
〈2009年～現在〉「別府現代芸術フェスティバル混浴温泉世界」での振付出演を機に、毎年滞在製作を重ね、別府八湯温泉祭りにわか隊長、地獄の妖精ゴールデンしげアフロとして活動。

〈2009年～現在〉子どものための作品「くるみ割り(風)人形と二十日(ぐらい)ねずみの大運動会☆キヤー!」を、びわ湖ホール(2009年)、岡山県現代舞踊連盟(2012年)、パフォーマンスキッズトーキョー(2013年)、高崎市NPO法人レエノア(2014年)にて上演。
〈2013年〉滋賀県草津市にて50日間の街頭ワークショップを経て市民178人が出演した「おどりあるきあそぶ・草津ダンス街道」主催。八戸・南郷アートプロジェクト「Dance×Jazz vol.2」映画つくろう!ハトダンス大作戦」振付、出演。北九州芸術劇場ダンスダイヴウィーク「夕暮れダンス」シリーズ「赤シャツダンサーズ」の活動開始。
〈2016年〉Mugi Dance Project (アジア4カ国のアーティストによる共同製作)、びわ湖ホール「BON★ダンス大会」、「三陸国際芸術祭」にて振付・出演。「踊りに行くぜII vol.7」仙台公演にて「黒鷄・kokkei-」発表。
〈2017年～現在〉湖南ダンスカンパニー「ジャパン×ナントプロジェクト2017」に招聘され初の海外公演。以降、「ジャポニズム2018」(パリ日本文化会館)、音と身体で綴る叙情詩〜湖(うみ)〈滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール〉など国内外で活動。

〈2020年〉自肅生活100日間連続ダンス動画配信「しげやんと踊ろう!!」実施。
岡山芸術創造劇場ブレ事業「わが町ミュージカル」振付担当。
〈2021〉おおいた障がい者芸術文化支援センター創作ワークショップin OPAM「宇宙まで届け!生きるチカラ、私のダンス」振付、出演。
〈2022〉くにあちオペラ「あの町は今日もお祭り」(原作:多和田葉子)、六甲ミーツアート2022「ROKKOSAN BON-ODORI」、岡山芸術創造劇場開館1年前カウントダウン「劇場へ行こう!」振付、出演。
〈2023年〉六甲ガーデンミュージアムTVCM振付、出演。岡山芸術創造劇場プレオープン記念公演「ハレノワ賛歌」、開館記念「100人ダンス」演出、振付、出演。
〈2024年〉八尾プリズムホール「夢幻の舞、郷郷のうた」演出、振付、出演。

○受賞歴

平成15年度大阪舞台芸術新人賞
平成22年度滋賀県文化奨励賞

◎実施条件(共通)

▶参加人数：5～100名までOK! (最適人数は20名です。) ▶アシスタント：1名希望します。 ▶必要機材：CD、iPodが再生できる機材。小中学校の場合はワイヤレスマイクが必要です。 ▶対象：年齢・性別・障がいの有無を問わず、どなたでも。 ▶場所：ご家庭の居間からグラウンドまで、どこでも。 ▶その他条件：感染予防対策をダンス開始のお清めの儀式としてショーアップする振付や、オンラインならではの演出での作品づくりなど、現場のみなさまとご相談しながら、難問をも新しい表現に変えていけるクリエイションをしたいと思います。

の同行も可能です。

▶ソロの場合の共演者の有無：「i.d.」を上演する場合は、共演者(影絵ダンサー)1名の同行を希望します。
▶上演環境：本舞台での上演の場合は、通常の照明・音響設備とリノリウムが必要です。劇場外パフォーマンスでは、敷地内でご相談に応じます。ご要望により、屋外やロビーでの本公演も可能です。
※ワークショップや公演のタイトルは、あくまでも一例です。事業ごとに、主催者さんや地元のみなさまのニーズをお伺いして、ご相談の上、決めさせていただきますので、何でもご相談下さい。

楠原 竜也

Tatsuya KUSUHARA

玉川大学文学部芸術学科卒業。在学中にロンドン・ラバンセンターに留学。東京学芸大学大学院教育学研究科総合教育開発専攻修士課程修了。『多くの方にHAPPYを届ける』をテーマに作品を創作。国内だけでなく、ニューヨークを始め海外でも公演を行なう。テレーサ・ルドヴィコ(イタリア)演出『にんぎょひめ』『旅とあいつとお姫さま』等に出演し、俳優としても活動する。また、幼稚園・保育園・小中高等学校、児童養護施設等へのアウトリーチや、親子、幼児から一般の方への公募ワークショップも積極的に取り組み、表現活動と教育活動を同時に実現することを目指している。玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科准教授。

連絡先(担当) 楠原竜也
E - m a i l ape_eip_ape@hotmail.com

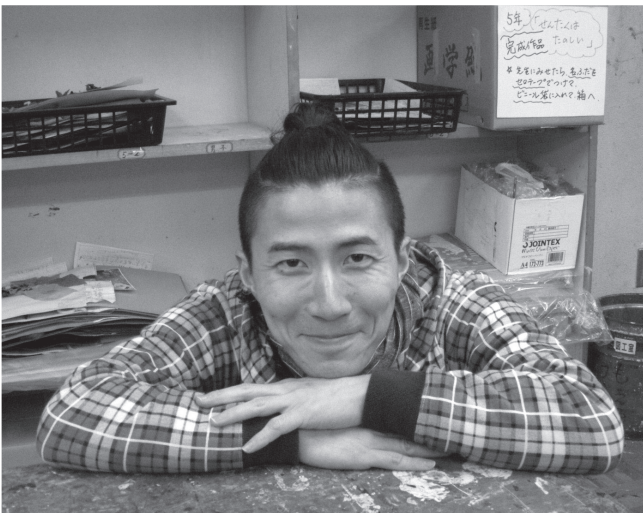


Photo:NPO法人 芸術家と子どもたち

Ⅰ活動歴Ⅰ

〈2002年〉APE結成
〈2006年〉APE『One day, I woke up …』『Check in/out?』(サンチアゴ(チリ)・ニューヨーク・釜山)世田谷美術館開館記念事業APE『APERilfool?エイプリルフールな美術館』ソロ『ME, MYSELF AND I(ソウル・東京/リムリック/アイルランド)多治見・広島)』
〈2007年〉東京シティ・バレエ団 振付作品『かじったかじつかじる』APE『様、C-』
〈2008年〉APE『み』
〈2010年〉財団法人地域創造 公共ホール現代ダンス活性化事業調布市せんがわ劇場/日田市バトリア日田
〈2012年〉財団法人地域創造 公共ホール現代ダンス活性化支援事業えずこホール/日田市ダンスプログラムVol.3『千年あかりWandering』/オペラシアターこんにゃく座 オペラ『森は生きている』振付
〈2013年〉文学座アトリエの会「未来を忘れる」ステージング
〈2014年〉劇団昴 サ・サード・ステージ『BLUE』振付/劇団
かかし座「Hand Shadows ANIMARE+Plus」ステージング
〈2015年〉劇団かかし座「Wonder Shadow」振付

〈2015～16年〉ACC 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団『おしいれのぼうけん』『ジャングル大帝』振付監修
〈2016年～2021年〉テレーサ・ルドヴィコ演出『ピクキオ』振付アドバイザー
〈2022年～〉テレーサ・ルドヴィコ演出『小さな王子さま』振付アドバイザー

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

〈2006年〉XII Festival Internacional Teatro a Mil (サンチアゴ) Busan International Beach Dance Festival (釜山)/世田谷美術館 中学・高校生
〈2006年～〉世田谷パブリックシアター 小学生・一般
〈2007年〉国立新美術館 小学生 / 2009年横浜開港150周年記念事業 青少年
〈2007年～〉NPO法人芸術家と子どもたち 小学校・特別支援学級・幼稚園・保育園
〈2008年～〉横浜市芸術文化教育プログラム推進事業 小学校
〈2008年～2020年〉法政大学キャリアデザイン学部兼任講師
〈2009年～〉東京文化発信プロジェクト パフォーマンスキッズ・トーキョー

〈2010年～〉NPO法人子ども劇場東京都協議会 思春期世代コミュニケーションワークショップ
〈2011年～〉文化庁 次代を担う子どもの文化芸術体験事業/文部科学省児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業
〈2012～13年〉テレビ朝日福祉文化事業団主催 児童養護施設中高生対象WSおよび舞台発表
〈2012～16年〉女子美術大学芸術学部非常勤講師
〈2013年～2022年〉玉川大学芸術学部非常勤講師
〈2014年～2020年、24年～〉国立音楽大学音楽学部非常勤講師
〈2017年～2020年〉東京家政大学短期大学部非常勤講師
〈2017～18年〉文化庁 戦略的芸術文化創造推進事業 「体験ワンダーランド」
〈2019年〉公益財団法人東京都歴史文化財団連携事業 学校と文化施設をつなぐ「ティーチャーズプログラム2019」
〈2021年～2022年〉山村学園短期大学専任講師
〈2023年～〉玉川大学芸術学部准教授

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

身体をめいっぱい使って動いたり他者と触れ合ったりすることで、知らないうちに打ち解けていきながら、自分自身の表現や相手とのコミュニケーションを発見・体験してもらいます。

①「からだで表現あそび」(保育園・幼稚園)

▶対象年齢：3歳くらいから
▶参加適正人数：30名程度まで

②『ダンス・コミュニケーション』

☆小・中・高等学校・特別支援学校
▶参加適正人数：1クラス(30名程度)が理想ですが、

2、3クラス合同も対応いたします。

☆教員や教員を目指す大学生向け
▶参加適正人数：30名程度まで
☆福祉施設
▶参加適正人数：30名程度まで

公募ワークショップ

①「からだで表現あそび」

☆子どもワークショップ
▶対象年齢：5歳くらいから小学生
▶参加適正人数：30名程度まで
☆親子ワークショップ
▶対象年齢：親子(2歳から大人)

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

①『み』
次世代を生きる子どもたちへ
「サバンナに生きる動物たちのように、必死にぶっ倒れるまで、命を、人生を全うして生きてほしい」
▶上演時間：約25分 ▶出演者数：楠原+2名

②『One day, I woke up…』

朝起きて出勤し、帰宅。就寝。毎日の中で誰もが経験したことのあるシーンを集め、風刺を混ぜながら創作したコラージュ作品
▶上演時間：約20分 ▶出演者：楠原+5～7名

市民参加作品

①〇〇 Wandering」 ※〇〇には劇場や地域の名称等をヒントにみなさんと考案します。
劇場のホール以外も使用し、観客が地図と自分の勘を頼りに館内外を自由に巡って鑑賞する体験型パフォーマンス。いつでもどこにどのように出くわすかはあなた次第・・・さまよっているのはいったいどっちなのか?さあ、心のおもむくままにさまよってください・・・
▶上演時間：25～40分 ▶出演者数：楠原+2名
▶クリエイション・出演参加者数：10～20名

◎実施条件(共通)

▶同行スタッフ・現地スタッフ：舞台監督1名、照明1名、音響1名、仕込み要員2名 ※1名は同行いたしますが、基本的には現地スタッフとの共同作業を希望いたします。
▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：6m×6m以上、市民参加作品は劇場特有のスペースを利用 ※場所の条件により柔軟に対応可能 (2)床：リノリウム、市民参加作品は規定なし (3)必要機材、舞台セット：通常の音響と照明設備程度

鈴木ユキオ Yukio SUZUKI

「YUKIO SUZUKI projects」代表／振付家・ダンサー。世界50都市を超える地域で活動を展開し、しなやかに繊細に、且つ空間からはみだすような強靱な身体・ダンスは、多くの観客を魅了している。また、プロのダンサーや、子供達、障害のある方への振付作品の提供、ミュージックビデオやモデル活動、さまざまな方を対象にしたワークショップを各地で実施し、舞踏を基礎にした独自のメソッドを用いて、新しい「ダンス」の可能性を追究している。

所属カンパニー 鈴木ユキオプロジェクト
ホームページ <http://www.suzu3.com/>
E-mail kingyo.company@gmail.com



Photo:bozzo

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴
〈2000年〉自身のカンパニーを創立
〈2005年〉横浜トリエンナーレ参加
〈2009年〉トヨタコレオグラフィアワード受賞者公演（金沢21世紀美術館・シアータラム）
〈2013年〉お茶の水女子大学・舞踊教育学コースにて非常勤講師を務め、委嘱作品を発表
〈2014年〉障害のある人となない人で構成されるダンスカンパニーにて共同芸術監督を務め、作品を発表
〈2015年〉チェコのダンサーへの振付作品にてチェコツアー実施（TANEC PRAHA主催）／音楽家（山川冬樹・Wayne Horvitzなど）との共同作品を発表／ACCグランティとしてニューヨークに5ヶ月滞在
〈2018年〉新日本フィルハーモニーとの共演「すみだサマーコンサート2018」市民参加公演を振付・出演

○受賞歴
〈2003年〉STSスポット「ラボアワード」受賞
〈2004年〉「東京コンペ#1」入選
〈2005年〉トヨタコレオグラフィアワード2005「オーディエンス賞」受賞
〈2007年〉京都芸術センター舞台芸術賞ノミネート
〈2008年〉トヨタコレオグラフィアワード2008「次代を担う振付家賞（グランプリ）」受賞
〈2011年〉「週刊オン★ステージ新聞」新人ベスト1振付家
〈2012年〉バリオ市立劇場「Danse Elargie 2012」にて10組のフィナリストにノミネート

〈2019～21年〉ダンストラックトーキョーのキュレーターを務める
〈2022年〉追手門学院高校 表現コミュニケーションコース 卒業公演の振付・演出

Ⅱワークショップ歴Ⅱ

〈2005年〉「舞踏から始まる、自分流 身体訓練講座」（対象：一般 主催：セッションハウス）
〈2011年〉愛知芸術文化センターWS（対象：経験者・一般）
〈2013年〉劇的！ウィンター「ダンスじゃないダンス！？」（対象：子供 主催：福岡市芸術文化振興財団）
〈2014年〉ダンス指導者のための教材「ダンスリーフ」作成のための模擬WS（対象：小学生）
〈2014年〉障害のある方のためのWS（対象：視覚障害者・身体障害者・知的障害者など）
〈2015年〉パフォーマンスキッズトーキョー「だからきみのからだ」（三鷹市公会堂）（対象：小学生）＊WS後、劇場作品を発表
〈2015年〉ニューヨークjapan society・WS（対象：子供・一般）
〈2023年〉児童自立支援施設でのWS
〈2024年〉都内小学校特別支援学級でのWS+学芸会演出

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

小・中・高校で実施。ゲームや、イメージを持ちながら動くことなど、簡単なルールを使って、楽しみながら、身体を動かし、ダンスになる瞬間をつかみます。「これってダンス！？」と思いながらも、のびのびと身体を動かす気持ちよさと、これまで感じたことのない身体の中を意識し感じることができるプログラム。

②教員へのアウトリーチ

教員を対象に、「ダンス」という固定概念にとらわれず、遊ぶように、自分の身体を感じ、新しい可能

性を探るプログラムを共有します。

③福祉施設でのアウトリーチ

簡単なイメージを持ちながら、自分の身体を動かすことで、ありのままの自分を受け入れ、これまで経験したことのない自由なダンスの世界を楽しめます。

公募ワークショップ

①一般の方を対象にしたワークショップ

どなたでも気軽に「カラダ」「ダンス」を楽しめるプログラム。カラダの内側を感じることで、カラダの外側・空間を意識することを通して、楽しみながら、自分だけのダンスと一緒に探します。

②経験者ワークショップ

ダンス・身体表現の経験者を対象に、今ここにしかないダンスを探すプログラム。「型」があるから「型」を破ることができるというように、それぞれのバックグラウンドを踏まえた上で、そこからどれだけ遠くに行けるかをトライするヒントになるクラスを行います。

③子供ワークショップ

子供ならではの自由な発想を生かしながら、今までみたことのない「ダンス」に挑戦します。親子での参加も可能。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

①『春の祭典』

ストラヴィンスキー作曲【春の祭典】で踊るデュオ作品。社会情勢やダンスの歴史を感じながら、現代を生々しく生きる命のたくましさを感じさせる作品。魂と身体を揺さぶる圧巻のダンスは、多くの観客を魅了している。

▶上演時間：約60分 ▶出演者数：2名
▶同行スタッフ：照明 ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：8m×8m以上あれば望ましいが、応相談

(2)床：応相談

(3)必要機材、舞台セット：映像プロジェクター、ファールボックス

▶その他：ギャラリーなど、あらゆる空間での上演が可能な作品です。

市民参加作品

①『オリジナル作品（タイトル未定）』

WSを通して生まれた、オリジナルの動き（ダンス）を丁寧に紡いで、作品につなげましょう。それは、ここで、いま、わたしたちにしかできない、ありのままの「ダンス」になります。
例として、地域の歴史からインスピレーションを受

けた作品や、地域出身のアーティストや文芸作品の世界をダンスのテーマに盛り込んだ作品、鈴木を始めとしてカンパニーダンサーも市民と共に出演する作品を制作している。

▶上演時間：30～50分 ▶出演者数：1～4名
▶クリエイションワークショップの参加（出演）人数・回数：10～25名程度・5～10回程度 ▶同行スタッフ：演出助手・音響・照明のいずれか ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：応相談
(2)床：リノリウム
(3)必要機材、舞台セット：応相談

田畑真希 Maki TABATA

タバマ企画主宰。3歳からクラシックバレエを始める。更なる表現を迫るため桐朋学園短期大学演劇科に入学。様々なジャンルの身体表現を学ぶ。滑稽なまでにガムシャラに、ユーモアを散りばめながら丁寧に時間を紡ぐ作風には定評があり、国内外で活動。7カ国18都市にて作品を上演し好評を得る。近年は、インクルーシブダンスWSや作品創作、様々な世代を対象としたWSを展開し、性別、年齢、国籍、障がいの有無などの差異を超えて、誰もが楽しみながら出来る身体表現の促進を目指す。



Photo:松本和幸

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴
〈2007年〉タバマ企画結成
〈2009年〉Melkweg（オランダ）公演、MASDANZA フェスティバル（スペイン）参加
〈2012年〉ダンストリエンナーレトーキョー JAPAN FOCUSに参加
〈2014年〉南郷アートプロジェクト「DANCE×JAZZ」
〈2015年〉東京芸術劇場 アーツアカデミー 研修生企画「OFF CLASSICS」現代音楽（中川賢一）とのコラボレーション
〈2016年〉南郷アートプロジェクト「映画つくろう！3」振付、出演
〈2015～16年〉「子どものまち・いしのまき」参加
〈2017年〉「舞台の上の美術館II」振付@オーバードホール
〈2017年〉タバマ企画10周年公演「コンダクター」@東京芸術劇場シアターイースト
〈2019年〉「ハコニワ」@サントミューゼ
〈2019年〉セントラル愛知交響楽団×半田市「オーケストラでダ

ンス」振付、出演
〈2019年〉「現代音楽×ダンスのTRANCE」（ピアノ・中川賢一、ダンス・田畑真希）@豊中市立文化芸術センター
〈2021年〉「或る椅子の、つぶやき」ダンス映像作品短編集（島根県民会館インクルーシブシアタープロジェクト）振付、演出
〈2014年～毎年継続中）富山市にてWS、市民参加作品公演（富山市民プラザ主催）
〈2017年～毎年継続中）島根県民会館にて見えない、見えづらい方々とのWSやダンス作品制作・・・など

○受賞歴
〈2009年〉横浜ダンスコレクションR2009「未来にはばたく横浜賞」「MASDANZA賞」
〈2009年〉MASDANZA（スペイン）コンペティションにて、グループ部門2位
〈2010年〉トヨタコレオグラフィアワードファイナリスト

Ⅱワークショップ歴Ⅱ

〈2010年〉E S P L A N A D E（シンガポール）主催 関東大学連合WS（大学生向け）
〈2011年〉Theaterhaus Berlin Mitte（ドイツ・ベルリン）主催WS
〈2013年〉スクール・オブ・ダンスプロジェクト主催「ダンス教育ラボ」
〈2012年～）東京文化発信事業「パフォーマンスキッズ トーキョー」、特別支援学級などへのWS多数経験。
〈2013年～）日本演出者協会主催「演劇大学」3カ所
〈2014年～）富山市民プラザ主催「富山市民プラザダンス部」子供～大人
〈2015年～）山形県酒田市「S A K A マキダンスーズ」子供～大人
〈2016年～）島根県松江市「視覚障がい者の為のWS」視覚障がい者、聴覚者の老若男女
・・・他、高齢者、幼稚園、中学校、大学、豊学校、児童養護施設など、多数経験。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

小・中・高校・大学で実施。ゲーム感覚で身体を使って遊びながら他者とのコミュニケーションをはかります。発想を豊かにし自分達だけのダンスを創ります。

②幼稚園、保育園でのアウトリーチ

楽しい音楽や、楽器に合わせて思う存分身体を動かし自由に踊ります。

③高齢者施設や特別支援学校など福祉施設でのアウトリーチ

無理のない範囲で日々の生活に必要なストレッチや軽い筋トレを取り入れながら楽しい音楽や懐かしい音楽で楽しく踊ります。

④会社や企業などでのアウトリーチ

一緒に身体を動かしながら普段と違うコミュニケーションをはかり、普段と一味違う発想や個性を発見しながら楽しくダンスを創ります。
▶アシスタント：1名
▶参加適正人数：30名位まで
▶1日の実施可能回数：2コマ ※1コマ90分
▶必要機材：iPod等を接続できる音響プレーヤー、場所によってはマイク

公募ワークショップ

どのようなWSスタイルも可能です。
子どもから大人までどなたでも。年齢や性別、ダンス経験、障がいの有無などに関わらず楽しく身体を使って遊びながら自分だけのダンスを見つけます。対象や人数、開催場所（野外などでも可）など、相談しながら地域の特性に合わせて柔軟に対応い

たします。例えば、

①「ダンスで多文化・多言語交流！」

子どもから大人まで日本に住む様々な国のルーツを持つ方々と、身体を使って自由に楽しく遊びながらコミュニケーションを図ります。どんな母語を持つ方にも対応出来るよう、やさしい日本語で進行しながらお互いを認め合う第一歩となる様な時間を目指します。

②「見えない人と見える人のためのダンス」

視覚障がいがある方と、見える人とのダンスWS。お手引きの仕方から始まり、しっかり信頼関係を築きながら安心安全に楽しく踊る時間です。

など、今、誰とどんな風に繋がりたいかをホールの方々と探りながらプログラムを作ります。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

①「待つ間が花」

どうせ「待つ」なら賑やかに・・・「待つ」という積極的な行為をパワフルな身体でカラフルに彩る作品。▶上演時間：60分▶出演者数：3名▶現地スタッフ：応相談▶上演環境(1)会場の広さ・形状：5間×5間程度（応相談）(2)床：リノリウム

②「カーニバル」

劇場を飛び出し、野外や街中、劇場ロビー等に出没し、迫力のある生演奏の音楽と、ユーモアを散りばめたダンスがエネルギーを放ち、情感溢れる時間が空間を満たします。（市民参加も可）▶上演時間：30分▶出演者数：3名（ダンサー2名、ミュージシャン1名）

市民参加作品

①『タイトル未定』新作

市民の方々のクリエイションにより、出演する市民の方々の個性や地域の特性を活かした作品。
▶上演時間：60分程度▶参加人数：20名程度まで（応相談）▶クリエイションWS：6回程度（応相談）※地域や参加者のご都合を話し合いながら柔軟に対応いたします。

田村 一行 Ikko TAMURA

日本大学芸術学部卒。98年大駱駝艦入艦、唐赤兎に師事。以降大駱駝艦全作品に出演。02年『雑踏のリベルタン』を発表。同作品により第34回舞踊批評家協会新人賞受賞。08年、文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランスへ留学。22年『舞踏 天狗藝術論』を発表。同作品により令和4年度（第73回）芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞受賞。地域の文化や風土を題材とした作品の創作にも意欲的に挑み、独自の作品を発表し続けている。また、子供から高齢者まで幅広い対象者への舞踏ワークショップ・アウトリーチを各地で展開し、好評を得ている。11年度から22年度まで（一財）地域創造「公共ホール現代ダンス活性化事業」登録アーティストとして活動。

所属カンパニー 大駱駝艦（だいらくだかん）
ホームページ <http://www.dairakudakan.com>
連絡先(担当) 大駱駝艦・キャメルアーツ株式会社
住 所 〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町2-1-18コスモ吉祥寺北町B1
電 話 0422-21-4982
F A X 0422-21-4983
E - m a i l temptenshiki@dairakudakan.com
出 身 地 東京都多摩市



Photo:小林直博（鶴と亀）

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴
〈2020年〉『リュウグノツカイ』（市民参加作品）兵庫
『ノキシタノマロウド』兵庫
南郷アートプロジェクト『しまもりさいじき』（ダンス映画）青森
東アジア文化都市「詩、踊る」『深きより』福岡
『舞踏 長洲風土記 ヒメゴトキンギョ』熊本
PKT『何もない空間』（青陵中学校特別支援学級）東京
〈2021年〉『舞踏 土佐清水風土記 ジョン万流離譚』高知
『舞踏 但馬風土記 赫ノ章 日槍拾遺譚』（市民参加作品）兵庫
『舞踏 但馬風土記 蒼ノ章 異界の末裔』（市民参加作品）兵庫
『私家版 浪漫歷程』東京
『舞踏 豊橋妖怪百物語』（市民参加作品）愛知
〈2022年〉『宮古民間記』岩手
『舞踏 但馬風土記 幽暗ノ章 水に浮いたひょうたん』（市民参加作品）兵庫
〈2022年〉大駱駝艦・天賦典式公式YouTubeチャンネル

『1258秒星に願いを』（配信）
『泉大津風土記 穴師樹影譚』（市民参加作品）大阪
大駱駝艦壺中天公演『舞踏 天狗藝術論』東京
『舞踏 酒田風土記 幽玄の論理』（市民参加作品）山形
〈2023年〉『舞踏 但馬風土記 但馬夜話蒐集録』（市民参加作品）兵庫
〈2024年〉『舞踏 但馬風土記 城寄雲湯縁起』（市民参加作品）兵庫
PKT『いつもと同じ場所 いつもと違う風景』（大坂上中学校特別支援学級）東京
大駱駝艦壺中天公演『舞踏 天狗藝術論』高知

○受賞歴
〈2003年〉第34回舞踊批評家協会新人賞
〈2023年〉令和4年度（第73回）芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞

Ⅰワークショップ歴（団活以外）Ⅰ

〈2020年〉都市総合文化ホール（保育園～Zoom、宮崎県立芸術劇場 等）
日本大学芸術学部

〈2021年〉明治大学、北九州芸術劇場（留学生・大学生）
〈2022年〉豊岡芸術文化観光専門職大学
北九州YMCA学院×北九州市立大学FVA×北九州芸術劇場
世田谷パブリックシアター ダンス食堂
〈2023年〉豊岡芸術文化観光専門職大学
国立台北芸術大学
天流道場（空手選手）
関西大学
全日本児童舞踊協会
文化活動者派遣事業（豊田市）
〈2024年〉北九州芸術劇場×北九州YMCA学院×小倉中央市民センター
豊岡芸術文化観光専門職大学
国立台北芸術大学

※〈2020年～〉座・高円寺ダンスアワードⅡ アソシエイト・アーティスト

公募ワークショップ

踊りとはどのような時にどのように生まれているのか。そしてどのようなモノにどのように動かされるか。普段と違う発想で、自分や周囲の世界を見つめてみます。思考停止・身振りの採集・鎗態・宙体・各種歩行・緊張と脱力…。大駱駝艦のメソッドは様々なジャンルの芸術・文化・生活に通底し、境界を越えて新しい価値観を見出すきっかけにすることができます。無意識の世界に触れ踊りになる以前の行為と接することは、無限なる表現世界へと続く新たな一歩となるでしょう。

※様々なワークショップ形態にも対応いたします。

採集し作品を構築します。
▶上演時間：60～80分 ▶出演者数：3名（田村一行＋アシスタント） ▶参加人数・回数：10名程度・5回程度（その他に通し稽古・ゲネプロ等にも参加）▶同行スタッフ：演出助手・舞台監督のいずれか ▶現地スタッフ：舞台監督・音響・照明各1名 ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：特に希望なし (2) 床：リノリウム希望 ▶その他：出演者は白塗りをします。楽屋等を養生します。

中村 蓉 Yo NAKAMURA

早稲田大学在学中にコンテンポラリーダンスを始める。ルーマニア・シビウ国際演劇祭、東アジア文化都市式典、国際芸術祭あいち2022などで作品を上演。これまでに、サンリオピューロランドのショー『Nakayoku Connect』やドイツ・マインフランクエン劇場製作『ANATEVKA（屋根の上のヴァイオリン弾き）』などの振付を担当。東京二期会ニューウェーブ・オペラ劇場『セルセ』『デイダミア』では演出・振付を担当するなど分野を超えて幅広く活動している。小説、戯曲、地域資源などを手がかりに、多彩な身体表現を生み出している。

ホームページ <https://yo-nnn.wixsite.com/yo-nakamura>
連絡先(担当) 中村蓉
※ダン活支援に関するお問い合わせは、上記HP内CONTACTよりお願いいたします
出 身 地 新潟県長岡市

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴
〈2014年〉イギリス・ウェールズNational Theatre Walesレジデンス企画にて映像作家Jorge Lizaldeとのプロジェクト"Cymru and I"を開始。2015年新潟県長岡市でも実施。
〈2017年〉青森県八戸市南郷文化ホール南郷アートプロジェクト「DANCE×JAZZ」にて地元のビッグバンドと共に「オールナイト南郷！」を上演。
〈2018年〉浦安音楽ホールにて市民参加作品「プランニュー浦安！～心と体の夢の国～」を上演。浦安にまつわる楽曲も作曲家数田翔一氏と創作。
〈2019年〉岩手県宮古市にて縄文文化を身体で学ぶ『縄文かもしれない体操』シリーズを製作。
〈2019年〉長野県上田市シティプロモーション動画『上田物語～中

村蓉と巡る、映画ロケ地とうえだの大自然』を市民の皆さんと創作
〈2020年〉都内民家よりオンライン公演『ジゼル特別30分版』を配信。
〈2022年〉国際芸術祭「あいち2022」にて『ジゼル』上演。
〈2023年〉北九州芸術文化振興財団スタッフが踊る『財ダンス』振付とオリジナルソングの歌詞を担当。

○受賞歴
〈2012年〉ダンスコンテストNEXTREAM21審査員特別賞
〈2012年〉第1回セッションベスト賞
〈2013年〉横浜ダンスコレクションEX審査員賞シビウ国際演劇祭賞
〈2014年〉トーキョー×ソウルデュオダンスフェスティバル人気賞
〈2016年〉第5回エルスール財団コンテンポラリーダンス部門新人賞

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

○学校でのアウトリーチ
ロダン「考える人」やゴッホ「ひまわり」またはバナナやリンゴなど、有名な美術作品から身近な物まで、じっくり観察して全身で「なり切る」！「変身する」！体や気持ちは変幻自在であることを伝えます。アウトリーチの最後には、これまで行ったエクササイズを取り入れた振付を、現在流行っている歌や生徒さん達が知っている曲に合わせて踊り尽くします。これらの体験を通して、ダンスが身近にあること、ダンスは世界の切り取り方の一つなんだということをお伝えします。

○幼稚園、保育園でのアウトリーチ
施設の特徴や周辺エリアを綿密にリサーチしてテーマソング（リサーチをもとに歌詞を創作）とオ

リジナルダンス創作し、職員の皆さまと踊ります。施設内で踊り、ミュージックビデオの製作もチャレンジします。実施例：岩手県宮古市【崎山貝塚縄文の森ミュージアムで踊る！】縄文かもしれない体操～不思議な職員篇～

あらゆる対象のアウトリーチに、その場所の個性を活かして対応したいと考えています。

公募ワークショップ

○「歌謡曲スイッチ」
ちあきなおみ「喝采」や八代亜紀「雨の慕情」など歌謡曲の歌詞に登場する人物になり切って踊ります。歌詞が振付を思い出すヒントになるのでダンス経験がない方でも取り組みやすいワークショップです。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

○「花の名前」
向田邦子の著作短編『花の名前』の朗読に合わせ、身体と言葉の関係を遊び尽くす作品です。
▶上演時間：60分 ▶出演者数：ダンサー 2名、歌手1名、演奏1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名 ▶必要機材：ピアノ1台（無い場合も対応を考えられます。）

○「ジゼル」
バレエの演目『ジゼル』を題材に創作。ヴァージニ

ア・ウルフの言葉を用いながらジゼルの心情を読み解く作品です。
▶上演時間：60分 ▶出演者数：1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名 ▶必要機材：プロジェクター

市民参加作品

○「オリジナル作品」
参加者の方々に「この街で一番大切な場所」と「そこでの思い出」を伺います。その答えや、上演する土地の文化（歴史・建物・出身の作家が書いた作品）



Photo:金子愛帆

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

〈2018年〉ドイツフランクフルト市立シューレアムリード高校1-3年生約20名に実施。主催：横浜アーツフェスティバル実行委員会、後援：フランクフルト市
〈2022年〉神奈川県青少年ダンス講習会にて中学校ダンス部70名対象に実施。主催：神奈川県
〈2022年〉北九州芸術劇場にて財団職員対象に実施。主催：北九州芸術文化振興財団
〈2023年〉都内小学3年～中学3年生13名と10日間で『愛なんだ2023』を創作し、なかのZERO小ホールにて発表。主催：芸術家と子どもたち など

○「ご当地スターにちなんだダンス」
その土地出身の歌手の楽曲や特徴をワークショップに取り入れます。
島根県での実施例：渡哲也が出演する宝酒造CM「松竹梅」のリズムに合わせて踊る。Official髭男dism「Pretender」「Subtitle」で踊る。

これらのワークショップ内容を、対象者のダンス経験や年齢、目的に合わせて組み合わせて進行いたします。

長与江里奈 Erina NAGAYO

舞台芸術集団「山猫団」主宰・演出家。「伊藤キム+輝く未来」「まことクラヴ」ダンサーとして国内・国外の劇場、ライブハウス、商店街、美術館、廃墟などありとあらゆる場所でパフォーマンスをしてきた経験を生かし、ジャンルに縛られない活動を展開。ダンスを通して誰もがお互いの個性と自由を認められるコミュニティを作ることを目標に、日本各地で公演活動とワークショップを行う。愛鳥家。

所属カンパニー 山猫団
ホームページ www.ynd.tokyo
連絡先(担当) 長与江里奈
在 住 地 東京都武蔵野市
出 身 地 東京都武蔵野市

Ⅰ活動歴Ⅰ

〈2013年〉「山猫団」結成。
〈2014年〉小学生向け芸術鑑賞会『のいちのぼうけん』石川／『ファンタスティック金沢編』石川／『ノスタルジック岡山編』岡山
〈2015年〉市民参加型公演「岡の上のサーカス」神奈川
〈2016年〉「岡の上のサーカス2」神奈奈川
〈2018年〉「岡の上のサーカス3」神奈川／市民参加型公演「新開地カピモノ大興行」兵庫※この公演をきっかけに市民ダンサー集団「新開地舞踊歌劇団」結成。
〈2019年〉「第二回 新開地カピモノ大興行」兵庫
〈2020年〉市民参加型公演「12月20日」福岡
〈2021年〉「第三回 新開地カピモノ大興行」／『第四回 新開地カピモノ大興行』兵庫
〈2022年〉「それでも踊る」愛知／『第五回 新開地カピモノ大興

行」兵庫

〈2023年〉市民参加型公演『1月29日』神奈川／『踊りの為に』山形／子ども向け市民参加型公演『バズレ！』東京／「山猫団、あらわる」鹿児島／連続WS+市民参加型公演「ダンスを渡す〜長与江里奈の場合」兵庫

ⅠワークショップⅠ

〈2015年〉「山猫音楽会スパイシ国のクリスマス」金沢県内児童館
〈2016年〉「みんなの芸術文化体験事業」大分県内児童養護施設ほか
〈2017年〉「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業」東京／親子向けWS「白熱ダンス教室！」静岡
〈2018年〉「東京芸術祭2018野外劇三文オベラ関連WS」／「世田谷パブリックシアター演劇部中学生の部」東京
〈2019年〉「子どものための文化体験事業」「子ども芸術体験ワーク

ショップ」東京／スタッフ研修「アンデルセン公演子ども美術館」千葉
〈2020年〉高校演劇部向けWS「Scale Laboratory」静岡／「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」／「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」東京
〈2021年〉「2020国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル」東京
〈2015年〜〉「パフォーマンス・キッズ・トーキョー」東京
〈2016年〜〉「山猫式文化教室」（一般向け定期WS）神奈川／「文化芸術による子供の育成事業」東京・神奈川・大分・沖縄
〈2017年〜〉「豊島区次世代文化の担い手育成事業」東京
〈2019年〜〉「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」神奈川

保育園・小学校・中学校・高校・特別支援学級でのワークショップ
歴多数。

可能なワークショップ等のスタイル

どんなワークショップでも基本的な目的は同じです。
1.ダンスと自分自身に対する思い込みを優しく壊す
2. 体を通して他の人とコミュニケーションをとる
3.そこで出てきた素直な動きや反応、感情を肯定する

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

小学校・中学校・高校（特別支援学級を含む）で実施。自己紹介ダンスを見せて、これがダンス！？と驚き楽しんでもらうところから始まります。動きや声を真似する簡単なワークから始まり、最終的には自

分のダンスを発見してもらいます。

②ダンスや演劇などの部活やサークル

表現に関わる中高生・大学生対象。学校で行う内容に加えて、言葉を使わないコミュニケーションワークを重視。主語が「私」ではない表現を知ってもらうことで、新しい視点の獲得を目指します。

③会社・役所など社会人向け

歩く・止まるなど、普段運動をしない人でも無理なくできる動きから始め、手のひらを合わせる、体

重をかけるなどのペアワークをします。直接触れ合いながらコミュニケーションを取ることで心理的な壁を取り除き、より円滑な人間関係を見出すことを目指します。

公募ワークショップ

公募ワークショップの内容や対象者は、各ホールの担当者さんと話し合い、そのホールの特性や課題に合わせて提案します。山猫団のメンバーを加えることで、音楽寄り、美術寄りの内容も可能。英語でのワークショップもできます。

市民参加作品

①『〇月〇日』

ある一日の過ごし方には無限の選択肢がある中で、はじめて出会った人たちがこの日共に舞台に立つことを選ぶという意味で、本番の日付をそのままタイトルにします。既存のシーンに加え、参加者を見て可能な限り多様なシーンを組み合わせで上演します。ホール職員の出演も可能です。
▶上演環境：（1）会場の広さ：プロセニアムの舞台が望ましい。間口6間×奥行4間以上（2）床：可能ならリノリウム（3）必要機材：ピアノ（グランドピアノが望ましいがアップライトでも可能）、箱馬（参加者の人数×2個）、その他は創作の過程で決定

この事業で可能な公演スタイル

レポートリー作品

①「それでも踊る」

何もない舞台に私服を着た出演者が登場してコンテンツラリーダンスの説明するところから始まり、徐々に照明、音響、美術、音楽、衣装が足されていって舞台が完成します。コロナ禍の緊急事態直言下で急遽作られたKAVCとの協働作品で、劇場やダンスに馴染みのない観客に向けた上演に適した作品。
▶上演時間：約70分 ▶出演者数：3名（ダンサー2名、音楽家1名）▶同行スタッフ：美術家 ▶現地スタッフ：舞台監督：1名、照明：1名、音響：1名、演出部（ボランティア可）：3～6名 ▶上演環境：（1）会場：間口5間×奥行5間以上。（2）床：可能ならリノリウム（3）必要機材：グランドピアノ、ピンマイク、垂木5～7本、脚立、ヘルメット（劇場で用意）／吊り物4種、積み木（持ち込み・配送）

②「山猫団、あらわる」

架空のサーカス団「山猫団」がボンコツサーカスを行うお話。実際には存在しない「山猫団」について語っているうちに、妄想の中のキャラクターが現実にあられ、そのままサーカス団の演目がはじまる。ダンス・歌・芝居・美術・音楽がふんだんに盛り込まれた作品を通して、想像力さえあれば何でもできるというメッセージを伝えます。
▶上演時間：約80分 ▶出演者数：3名（ダンサー2名、音楽家1名）▶同行スタッフ：照明家または美術家 ▶現地スタッフ：舞台監督：1名、照明：1～2名、音響：1名、演出部：1名 ▶上演環境：（1）会場：応相談。場所に合わせて上演可能（屋内に限る）（2）必要機材：ピアノ、ピンマイク3本、プロジェクター、名産品（劇場で用意）／スクリーン（持ち込み）

東野祥子 Yoko HIGASHINO

ANTIBODIES Collective振付家・ダンサー。10歳からダンスをはじめ。類稀なる身体性を駆使し、社会的なメッセージを掲げた先鋭的な舞台作品を多く発表。国内外の劇場やフェスティバルでの公演は66都市を超える。'00～'14年「Dance Company BABY-Q」を主宰。その後京都に拠点を移し、'15年には「ANTIBODIES Collective」を結成。多ジャンルなアーティストとともに大掛かりな舞台作品制作やパフォーマンス、インスタレーションなどを全国並びに海外でも多数実践している。またダンサー育成のWSや学校へのアウトリーチなど、地域の活性化に根ざした活動にも定評がある。ソロワークとしてもミュージシャンや映像作家などとコラボレーションを展開する。受賞歴多数。全日本ダンストラック協会芸術監督・キュレーター。

所属カンパニー ANTIBODIES Collective
ホームページ www.antibo.org
連絡先(担当) 東野祥子
住 所 〒606-0085 京都市左京区上高野隣好町2-5
電 話 075-201-9729
E-mail info@antibo.org
在 住 地 京都府京都市
出 身 地 奈良県桜井市

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴

〈2000年〉「Dance Company BABY-Q」を立ち上げる。
〈2005～14年〉国内の劇場やオルタナティブスペース、Festival、海外での招聘公演にて総合舞台芸術作品を多数発表する。
〈2012年～現在〉DANCE TRUCK PROJECTを立ち上げる。
〈2015年〉「ANTIBODIES Collective」を京都にて立ち上げ、横浜、京都、大分などで作品を発表。
〈2016年〉「A界隈」→東京、「惑星共鳴装置」→東京、京都
「MATAR」→イタリア
〈2017年〉「残響」→京都、東京
「STABAT MATAR」→オランダ
〈2018年〉「エントロピーの楽園」→横浜、犬島
〈2019年〉瀬戸内国際芸術祭「エントロピーの楽園―第2章―」→犬島
「カセット100/TPAM」→横浜
〈2020年〉「CropsSurreal」→デンマーク、東京、京都
〈2021年〉「あらゆる人のための、誰のためでもない世界」→京都、兵庫、東京

〈2022年～〉「LIMINAL」兵庫、東京など、劇場や野外、島、美術館、工場などにて大掛かりな舞台公演を行っている。

○受賞歴

〈2004年〉TOYOTAコレオグラフィアワードにて「ALARM」を発表。「次代を担う振付家」賞を受賞
〈2005年〉横浜ダンスコンペティションにて「ZERO HOUR」を発表。群舞部門「未来に羽ばたく横浜」賞を受賞
〈2010年〉舞踊批評家協会新人賞
〈2022年〉令和4年度文化庁芸術祭「新人賞」受賞

ⅠワークショップⅠ

〈2002～15年〉「BABY-Q DANCE WS」
対象：一般 主催：BABY-Q Dacne Lab.
〈2006年〉「100時間WS&公演」
対象：一般 主催：伊丹市・AI-HALL
〈2006年〉「キノコ踊り」
対象：高齢者 主催：越後妻有トリエンナーレ

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校 de DANCEワークショップ

からだをほぐし、他者とのコミュニケーションで身体と心をのびのび解放し、ダンスをはじめていきます。想像力豊かに、からだで絵をかいいたり、イメージを形にしたり、見えないボールをキャッチボールをしたり、言葉から動きを見つけてみたり。みんなで一緒にダンスの楽しさ、表現の自由さを見つけていきます。

②ワクワクダンスワークショップ

「高齢者」「親子」「教師」「介護士」など、それぞれ

の「わく」内の対象に適したプログラムを組み、集中的にワークショップを行うことが可能です。ダンスで身体を感じ、それぞれの個性を引き出す創造性豊かなワークショップを実施します。

③野外でDADAダンス

室内に閉じこもりがちな現代の生活スタイルから抜け出し、参加者を野外に連れ出し、まずは深呼吸、身体を使って遊びながらダンスをしていきます。原っぱや公園、野外にあるオブジェなどを使い、身体で異空間を創作していきます。

この事業で可能な公演スタイル

レポートリー作品

①「LIMINAL」

2022年に発表したカンパニー作品を現地の会場や規模に合わせてリクリエーションし、再演する。
▶上演時間：70分
▶出演者数：4名（登録アーティスト+音楽家+ダンサー2名）
▶同行スタッフ：美術家1名
▶現地スタッフ：照明1名
▶上演環境：劇場のサイズや機構に応じます。

市民参加作品

①「新作」

地域の特性、地域の参加者のキャラクターや技量に応じて新しい舞台芸術作品を創作します。構造はその劇場に合わせて舞台美術やシーンを構築し、カンパニーメンバーと地域の一般参加者が一体となって創作していく先鋭的な舞台作品。
▶上演時間：60分
▶出演者数：3名（登録アーティスト+音楽+共演者）
▶クリエーションワークショップの参加(出演)人数・



〈2006年、2010年～現在〉「表現プログラム」
対象：小学生 主催：（財）横浜市文化振興財団
〈2008年～現在〉「これって何ダンスですか？」
対象：一般（石川/福岡/島根/長野/兵庫/岐阜などの公共ホール）公共ホール現代ダンス活性化事業
〈2009年より数回〉「ASIAS / パフォーマンスキッズトーキョー」
対象：小学生 主催：芸術家と子どもたち
〈2011年〉「灼熱オドリタイム」 WS&公演
対象：子ども 主催：多治見市文化会館ほか多数
〈2015年～現在〉東野祥子ダンスワークショップを継続的に行う。
〈2016年〉イタリアにてパーキンソン病の方々にダンスWS「DanceWell」を美術館で実施。
〈2019年〉イタリアにてパーキンソン病の方に向けたダンスWS講師の資格取得
〈2020年～現在〉ダウン症の子供たちと、パティ walkや水玉ダンスFestivalなどでのワークや、自主企画としてイキイキダンスワークショップを定期的に行う。

①～⑥などその土地や人柄に応じたワークショップを開催します。

公募ワークショップ

①『ダンスって自由でおもしろい！』

ワークショップ初心者の方からダンサーを目指す方まで参加できるWS。からだのリラックスした状態を意識し、ダンスの基礎から応用、即興での動き方、人を動かしたり動かされたり、言葉で動きを見つけたり、自分の感覚が研ぎ澄まされていきます。最後には自分で作った簡単な作品も出せます。

回数：5～25名程度・2時間以上4回程度
▶同行スタッフ：振付アシスタント・映像作家・美術作家そのうちいずれか
▶現地スタッフ：舞台監督1名、照明1名。状況に応じます。
▶上演環境：（1）会場の広さ・形状：会場に応じます。（2）床：リノリウム（黒もしくはグレー）（3）必要機材：プロジェクター・音響設備など
▶その他：ホールの中庭やホワイエ、客席なども舞台空間とし、観客が移動して観て廻ることも可能です。

藤田 善宏

Yoshihiro FUJITA

振付家・演出家・ダンサー・グッズデザイナー。ダンスカンパニー CAT-A-TAC (キャットアタック) 主宰。コンドルズメンバー。文化庁芸術祭舞踊部門新人賞受賞。福井国体開会式典演技振付総合監修。群馬大学非常勤講師。身体表現と道具を駆使した台詞のない物語、柔軟な発想を生かした異ジャンルや伝統芸能などのコラボが得意。三世代間で楽しめるダンス劇や児童演劇・幼児教育教材の監修、障がい者対象WSなど多様性を重視した活動にも力をいれる。小栗旬主演舞台、TEAM NACS、NODA・M・A・P、山田洋次監督演出舞台、Eテレ他、振演出演ステージング多数。また青山学院大学の教授達と協働でワークショップ研究事業にも取り組む。ユニークなアイデアでジャンル関係なく様々な人たちと繋がり、新たな芸術表現を創造している。愛猫家、プロレス・仏像愛好家、メガネ・アンティーク収集家。

所属カンパニー CAT-A-TAC / コンドルズ
ホームページ <http://www.cat-a-tac.jp/>
連絡先(担当) CAT-A-TAC山岡まゆみ
住 所 〒176-0001 東京都練馬区練馬 1-20-8 日建練馬ビル2F
E-mail CAT-A-TAC
在 住 地 info@cat-a-tac.jp
出 身 地 東京都
福井県

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴
〈1996年〜〉コンドルズ創設メンバーとして活動中。以降コンドルズ全作品出演、世界20カ国以上で公演を行う
〈2014年〜〉ダンスカンパニー「CAT-A-TAC(キャットアタック)」を旗揚げ、個人でもジャンルレスに活動を開始
※以下、明記なしは全て作・演出・振付・出演。

- NHK「サラリーマンNEO」内サラリーマン体操、出演
- 福井国体公式ダンス「はびねずダンス」振付
- 果実「おとしモノ」【東京(神楽坂・日比谷)/横浜/インド】
- グローブ座主催「中の人」振付・出演(主演:加藤シゲアキ、演出:河原雅彦)
- ホリプロ主催「カッコーの巣の上で」ステージング(主演:小栗旬)

- 市民参加型野外パフォーマンス「仏像×ダンス」【鳥根/福井】／「あにゃ踊り」【東京神楽坂/徳島】
- 市民参加型子ども公演「パフォーマンス・プロジェクト」@越谷サンシティホール(毎年開催)
- 伝統芸能共同制作、石見神楽×ダンス「IWATO」/「KUROZUKA」/「SHOKI」
- Eテレ「すたあと」オープニング振付
- エイベックス・エンターテインメント主催「Retrial:実験室」振付
- TEAM NACS第17回公演「マスターピース〜傑作を君に〜」ステージング
- 関西テレビ主催「室温〜夜の音楽〜」ステージング
- CAT-A-TAC「王様はなぜロバの耳?」/「CAT-A-TAC SHOW」/「ふじたよしひろのオノマトベの国」他
- 受賞歴



Photo:阿部章仁

CAT-A-TAC所属ユニット・ニヴァンテ「ライトな兄弟」作・演出・振付・出演にて、第72回文化庁芸術祭舞踊部門新人賞受賞

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

- 異業種コラボダンスワークショップ企画「コラボな〜ら」
- 彩の国さいたま芸術劇場主催「MEET THE DANCE」
- チャコット主催「発想力を伸ばすためのダンスクラス」
- 埼玉県主催「障害者アートフェスティバル」

他、未就学児童、小・中・高・大学、特別支援学校、一般、初心者、ダンス&演劇経験者、障がいのある方、外国の方向けなど多数あり

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ&公募WS共通

地域の特性を活かし、ご希望の内容にマッチしたプログラムを組みます。地元の課題や目標などをご担当者様からお聞きし、対話(オンライン対応可)を重ねながら漠然とした要望を明確なビジョンとして具現化するお手伝いを行います。企画制作運営のバックアップ支援も必要であればお手伝いします。市民参加型の舞台やイベントプロデュースの経験も多数あるので、ダンスを活かした地元の新しい名物イベントなどを生み出す事も可能です。室内、野外問わず、より市民の皆様が参加しやすい環境づくりを一緒に考えましょう。様々な壁(「未経験」「障がい」「年齢」「言語」「ジャンル」など)は、事前準備とちょっとした発想転換で乗り越えられます。好奇心の芽を大切に育み、公共ホールと地域住民の絆作りのキッカケに、藤田流の誰でもウ

エルカムなコミュニケーションダンスを取り入れてみませんか?

アウトリーチ

学校(幼稚園〜大学生)/福祉施設(特別支援学校、療育施設、老人ホームほか)/企業

ダンスワークショップ

①「からだと道具で踊って遊ぼう!」

ダンスを踊るのが照れくさいという初心者の方向けに、道具を使うことにより気持ちをほぐします。

②「アソビバワーク〜対話で作る「●●」とダンスの新しい遊び〜」

対象:●●は、福祉、教育、地域の特性や課題ジャンルなど(他、なんでも応相談)

一方的に教えるのではなく、対話により現場のリアルを汲み取り、共にプログラムを作り上げて課題解決に取り組む新しい形のワークショップです。

③「コミュニケーションダンスワークショップ」

対象:一般。(教職を目指す大学生、教職員、ホール職員、企業なども。)

誰でもできる簡単なゲームを交えて、身体表現を通してコミュニケーション術を探っていく実践型のワークです。

その他、多数。ご相談ください。条件は、基本劇場環境に対応します。

で参加者の特性を活かした演出をします。地元の楽団や学校(部活、サークル)、地域の伝統芸能団体とのコラボも可能。一緒にディスカッションして協働の楽しさと成功体験を残す事も目標にワークも行います。
作品例) 美術×ダンス「あー!とミュージアム」、「想像力を育むプロジェクト」他

その他、多数。条件は、基本劇場環境に対応します。

マニシア MANIZIA

ダンスアーティスト・ダンスムーブメントセラピスト・ダンサー。長期におけるNYを拠点とした活動後、プロダンサーたちと障がいのある人々とのダンスグループ、ワレワレワークスを結成。難病の子ども、パーキンソン病の方、DV被害者、不登校生、少年院のティーンを対象としたWSや作品のクリエーションなどに挑戦しながら、あらゆる場所にダンスの種を蒔き続けている。医療や福祉、教育におけるダンスのみならず、様々な分野で、ダンスの可能性を追及することにパッションを抱いている。

ホームページ <https://www.manizia.com>
E-mail wale_waleworks13@yahoo.co.jp
在 住 地 福岡県福岡市
出 身 地 大分県日田市

Ⅰ活動歴Ⅰ

海外での活動
「Origami Dance」NY(2003)、「Origami Dance」ギリシャ(2005)、「WATER」ルッカ(2009)、「MU」パリ(2013年)、dancin' OXFORD DANCE FESTIVALに招聘(2013年)、PEOPLE DANCING ウェルズに招聘(2014)「The Thinker」シチリア(2015)、日韓交流「ダ、デン、ダダンスプロジェクト」(2015)、「When I draw my last breath」スペイン(2019年)

コミュニティでの活動
「47memories」福岡市民会館(2013)、沖縄キジムナーフェスタ「コザの息」(2012)「石のうた」(2013)、三陸国際芸術祭「時の輪〜 Passing through our body」(2014)「光の中へ、うさぎがはねる時〜 When Rabbits bounce into the Light」(2016)「ひゅりひゅらり風は舞う」(2017)、福岡市民会館にて難病の子どもたちと共に踊る「コココのダンス」開催開始2016年一度開催継続中、

パーキンソン病患者を対象としたダンス2016年開始(公演及びWS継続中)、九州国際ダンスコンペティションあしながおじさん賞受賞(2017)、「空に溶けゆく言葉のかけら」沖縄市民小劇場あしびなー・那覇市ひやみかちマチグワー館(2018)、仙台市民文化事業団主催事業「せんだいダンス」2018年より開催継続中、国際交流基金アジアセンター主催WS(2019年)、福岡県もち文化センター主催PEOPLE ART PERFORMANCEコミュニティダンス公演2019年より年一度開催継続中、福岡少年院にてWS(2020)「虐待について考える」ダンスアンドディスカッション(2021)、堺市文化振興財団ダン活Aプロ(2021)

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

〈2005、2006年〉福岡市私立幼稚園連盟主催(教諭対象)
〈2000年〉ECArTEギリシャ
〈2009年〉ECArTEロンドン
〈2011年〉福岡市立西部療育センター

〈2012年〉静岡文化会館主催(母子と父子対象)
〈2013年〉ECArTEイギリス
〈2017年〉福岡女子大学主催(親子対象)
〈2018年〉子ども文化コミュニティ主催(障がい児の親子対象)、国立夜須高原青少年自然の家主催(視覚障がいの子どもたち対象)、紅葉幼稚園(親子対象)
〈2020〉マレーシア(子ども対象) ミャンマー(教育者対象) オンラインWS、福岡少年院
〈2021年〉マレーシア(子ども)と福岡(フリースクール生) オンラインWS、(公財)堺市文化振興財団主催(多世代対象)
〈2022年〉東広島芸術文化ホールくらら主催(不登校生、こども園、小学校、多世代対象)、中等少年院人吉農芸学院

●被災地でのWS
〈2011年〜2013年〉石巻市、大船渡市、気仙沼市

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①親子のワークショップ

ママ、パパ、ファミリーを対象。触れ合いながら遊びや歌をダンスに変化させていき、育児の疲れやマンネリを吹き飛ばすオリジナルダンスを参加者と共に創っていく。絵画やリズム創作を取り入れて総合舞台芸術としてのダンスを体験してもらう。劇場建築全体をアート空間として感じるためのサイトスペシフィックなワークショップも可能である。

②幼児、ティーン、多世代のワークショップ

身体能力の違うもの同士が集まり、言葉やドローイングから得るイマジネーションを膨らませて、身体が自由におしゃべりできるグループ間の関係を作っていく、それぞれの表現が発揮できる瞬間や全ての参加者が可能となる動きを発見していくながら、どの人が欠けても成り立たない世界でたったひとつのダンスを創っていく。

◎実施条件(共通)

- ▶アシスタント:参加人数によっては必要
- ▶参加適正人数:10〜30名
- ▶1日の実施可能回数、時間:要望にお応えできません。
- ▶必要機材:iPodなどを接続できる音響システム
※上記すべてを劇場空間で公開ワークショップにすることも可能

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

①「MU」

②「When I draw my last breath〜私が最後の息をする時」

③Initial Cry〜産声

「生きること」を作品を通して観客と共に考えます。2013年にパリで、上演後にディスカッションをするPerformance&Discussionを提案しました。作品鑑賞から思い出された感情や経験と向き合い、参加者全員で言語表現してみます。ダンス作品を深く感じてもらう約90分の活動。
▶上演時間:30分
▶出演者数:

- ①2名(登録アーティスト+共演者1名)
- ②5名(登録アーティスト+共演者4名)

③1名(登録アーティスト)

- ▶現地スタッフ:舞台監督1名、音響1名、照明1名
- ▶上演環境:
(1)会場の広さ・形状:6m×6m〜10m×10m程度(応相談)
(2)リノリウム:黒もしくはグレー
- (3)舞台セット:①のみ椅子4脚

市民参加作品

その地域の「特性」や「ニーズ」を活かして参加者との協働制作を目指します。▶上演時間:30〜60分▶出演者数:TPOにより1名とアシスタント、もしくは音楽家▶市民参加公演の形態:参加者と新しい作品を創ることやレパートリー作品をリメイクすることも



森下真樹

Maki MORISHITA

幼少期に転校先の友達作りで開発された遊びがダンスのルーツ。これまでに10か国30都市以上で作品を上演。様々な分野のアーティストとコラボし活動の場を広げる。近年よりベートーヴェンの楽曲に取り組む。自身のソロ「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」(振付：MIKIKO、森山未來、石川直樹、笠井勲)や、森下スタンドによる全力で歌い上げるかのような祝祭感溢れる群舞「踊れ、第九!」を展開。100人100様をモットーにワークショップや作品づくりを行う。周囲を一気に巻き込み独特な「間」からくる予測不能、奇想天外ワールドが特徴。2023年サバティカルでエベレスト街道を歩く旅を実現。

ホームページ <http://maki-m.net/>
E-mail dance@maki-m.net
在 住 地 東京都
出 身 地 出生地 大分、本籍 熊本、育ち 松山、千葉、現在東京都在住

I 活動歴・受賞歴 I

○活動歴
(2016年～2023年)
・市民参加型「オーケストラで踊ろう『運命』」にて振付演出 @ 可見市文化創造センター
・満島ひかり (女優) × 玉井タ海 (音楽) × 森下真樹 (ダンス) パフォーマンス @ 清水寺
・大植真太郎/森下真樹 (ダンス) × 田中馨 (音楽) 「どこをどうぶつる」発表 @ 北九州芸術劇場ほか動物園
・"Tokyo Dance"にて招聘作品「東京コシツ」フランス語ver. 上演 @ パリ日本文化会館
・さいたまゴルド・アーツ・クラブでのノゾエ征爾演出作品にて平均年齢73歳の約750名を振付
・阿波踊り×コンテナボラーダンスのコラボ作品にて振付演出 @ あわぎんホール
・現代美術家 東芽とのコラボ作品「映像芝居『錯からでた実』」全米4都市ツアー
・伊藤キム × 森下真樹「マキム!」発表 @ 東京芸術劇場
・南郷アートプロジェクトを10年に渡り参加、伝統芸能や郷土芸能や地元の消防団とのコラボ作品を発表
・道後アート2023 オープニング演出出演

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ・公募ワークショップ共通

子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、ココロもカラダも開放し元気になるワークショップが可能。対象者、人数、時間、回数など着地点を相談しながらプランを立てる。

これまでの例：

①『森下真樹うずうずダンスワークショップ』
～うずうず発散!カラダを使って遊ぶ感覚でいつのまにかダンス～
〈対象〉うずうずしている人 (ダンス経験不問)

この事業で可能な公演スタイル

レポートリー作品・市民参加作品共通

ソロやデュオ作品にワークショップ参加者とのシーンを織り込んだ公演や、いくつかの作品を劇場ツアー形式で展開させることで空間を活かし、観客とのコミュニケーションが図れるような公演などをウリとする。劇場のあらゆる空間に積極的に関わり、フレキシブルに対応が可能。

①『これって、ダンスなの?!』

これって、ダンスなの?!と題し、森下の代表作ソロ『デビュタント』や『コシツ』やデュオ作品、ワークショップ参加者とのシーンを盛り込み、笑あり、涙あり、全身体験していただけるようなエンターテインメント的

・六本木アートナイト2023にてまちと美術館のプログラム「紡舞プロジェクト～身体を使って想いを伝える」を振付演出
・森下真樹 (ダンス) × 石川直樹 (写真) みちのちのダンススケープ3年間プロジェクトの集大成「みちのちの10 SCENES」を発表 @ 茅野市民館

その他これまでに、もりおか周遊舞台芸術祭、奥能登国際芸術祭、越後妻有大地の芸術祭、別府現代芸術フェスティバルなどに参加。

〈ライフワーク〉

☆「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」
・日本フィルハーモニー交響楽団と共演 @ 東京芸術劇場コンサートホール 2017年
・ピアノ 今西泰彦氏と共演 @ スパイラルホール 2018年
・岐阜県美術館にて映像作品制作、映像配信 2019年
・ピアノ 碓井俊樹氏と共演 @ 城崎国際アートセンター 2020年
・フルオーケストラ共演 @ 岩手県民会館 2020年

☆「ベートーヴェン交響曲第9番全楽章を踊る」
・スタジオHIKARI初演 2019年



Photo: 石川直樹

・オーケストラ生演奏と共演 @ あわぎんホール 2021年
・日本フィルハーモニー交響楽団ライブビューイングコンサート × ライブパフォーマンス @ 宮古市文化会館 2021年

○受賞歴

〈2014年〉第8回日本ダンスフォーラム賞受賞

II ワークショップ歴 II

「○○(地名や劇場名)☆デビュタント」(森下真樹うずうずダンスワークショップ)「森下真樹とことんダンスワークショップ」「ことばを踊る、ことばを踊る」などと題しこれまでに30都市以上で開催。東京都文化発信プロジェクト「パフォーマンスキッズ・トーキョー」では子どもたちと作品をつくり、小学校体育館やホールなどで発表。その他、高齢者施設、病院、特別支援学校、児童養護施設、美術館などでもワークショップ経験多数。ダン活(支援)ではこれまでに、南相馬市ゆめはっと、キラリ☆ふじみ、松山市民会館、小美玉市小川文化センター、白鷹町文化交流センターあゆーむ、はつかいち文化ホールさくらびあ、浜田市 石央文化ホール、茅野市民館、文化フォーラム春日井、八戸市南郷文化ホールなど10ヶ所実施。

赤丸急上昇

Akamaru kyu-jyo-syo

(赤松美智代 + 丸山陽子)

「笑いは力」そう信じる二人が醸し出す、全力大笑い空間。楽しさは永遠の癒し、感動が子どもを育てる、感動が大人を自由にする。赤丸急上昇のダンスは、ある時はゲラゲラとあっけらかんとニヤニヤしながら元気になれる、ある時はお面の不思議なダンスで、いつの間にかホロリと泣けてくる。これまでに国内外30都市以上で上演してきた作品は、毎回常に新しい演出やプログラムを行い、人と関わるパフォーマンスを展開している。

所属カンパニー 赤丸急上昇
ホームページ <https://akamaru-matsuyama.jimdofree.com/>
連絡先(担当) 赤松美智代
E-mail michimichi@moga-jp.com
在 住 地 愛媛県松山市 (赤松、丸山)
出 身 地 愛媛県宇和島市 (赤松)、愛媛県大洲市 (丸山)

I 活動歴 I

〈2005年〉「赤丸急上昇」結成
JCDN「踊りに行くぜ!!」で全国6都市にて公演。
〈2007年〉JCDN「踊りに行くぜ!! 2007アジア巡回プロジェクト」(Indonesia/Solo・Jakarta)
〈2008年〉在広州日本国総領事館、Guangdong Modern Dance Company、国際交流基金主催「踊りに行くぜ!! in 中国」(中国/北京・広州)
〈2009年〉明治安田生命社会貢献プログラム『みんなのダンスパフォーマンスFUKUBUKRO』車いすダンサーに振付・出演
〈2011年〉DANSPLACE PROJECT (アメリカ/NY)
〈2015年〉別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」・札幌コンクリーニョセレクション・神戸ダンスボックス「コンテナボラーダンス@西日本版」

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①小中高校生へのアウトリーチ「カラダでわっはっは!」

学校の状況や年代、課題に合わせてプログラムは変幻自在。まずは、思いっきり無我夢中で遊び、いつの間にかそれが踊りになる。笑えることがキーワード、感動して泣けたら最高。

②教員へのアウトリーチ

「燃えよ!あっぱれ先生応援団」
学校の先生向けアウトリーチ。ダンスが面白い!創作することが面白い!と思える、想像を創造に変える時間を提案します。先生自身に楽しんでもらい、それがやがて先生の行う授業に反映してもらえたら幸せ♡

この事業で可能な公演スタイル

レポートリー作品

①『お面を使ったダンス作品』

これらのダンスは、どこか懐かしい、お面のオカンと、オトンのダンス。

『日々是好日』ふってもてっても日々是好日。笑いあり 涙ありあなたの心にとけてゆく。▶上演時間 25分 ▶出演者数:2名(登録アーティスト2名)

『太陽と月』The principles of Yin (陰) and Yang(陽)。▶上演時間:50分 ▶出演者数:2名～4名(登録アーティスト2名+共演者2名)

②『Rise vs Fall』

人生山あり谷ありRise and Fall ▶上演時間:25分 ▶

〈2016年〉三陸国際芸術祭(岩手県大船戸市) 出演
〈2017年〉愛顔つなくえひめ国体・えひめ大会国体総会開会式 青森県八戸市「酔っ払いに愛を/オンリーユシアター」出演
〈2019年〉三陸国際芸術祭(岩手県大船渡市)出演
愛媛県文化振興財団芸術文化事業「赤丸急上昇のダンスの世界」(愛媛県西予市)
〈2022年〉三陸国際芸術祭(A.I.R.)
〈2023年〉JCDN・(公財)全国公立文化施設協会主催「Choreographers」出演

●ダン活実施箇所：山形県酒田市・千葉県野田市・沖縄県那覇市・茨城県ひたちなか市・高知県土佐清水市・埼玉県入間市

③福祉施設でのアウトリーチ

『色とりどりのおまつりダンス』

ミラクルダンス現る!その人にしかできないダンスが、生まれる可愛い瞬間。

公募ワークショップ

①『笑いは力だプロジェクト』

ワークショップ中、笑いが絶えず時間があっという間に過ぎた/初めて会った人たちののに、終わったらめっちゃめっちゃ仲良くなって/知らない間に感動して涙が出ていた・・・ワークショップを受けた人からいただいた感想。笑いの力で蘇る、人の気持ちが蘇る。笑えるウォーミングアップで大笑いしな

II ワークショップ歴 II

松山を軸に全国各地の教育機関へのワークショップ (幼稚園・小中高校・大学・教員対象)、海外ではIndonesia/Jakartaにて大学生、劇団員対象ワークショップ、また明治安田生命社会貢献プログラム/エイブルアートオンステージ参加事業・車いすダンス作品振付ワークショップや、美術館でのワークショップ、2020年～(公財)愛媛県文化振興財団事業「小中学生のためのダンスワークショップ」、2023年文化庁(NPO法人)JCDNコーディネイト)令和5年度文化芸術による子供育成総合事業・コミュニケーション能力向上事業等々、様々な地域で「今生きている」を実感できるワークショップを心がけている。

がら身体を動かし、心を開き、最後には渾身のダンスを踊る場所に変わっていきます。

②『お面ワークショップ』

仮面効果を使って、自分の本能を引き出して遊ぼう!という試み・・・仮面をかぶると、理性のカバーがゆるみ、違う誰かになれる。でも本当はその違う誰かは、本能的な自分。お面をつけて様々な遊ぶ、お面が教えてくれるあなたのダンス。

▶参加適正人数:20～40名程度 ▶アシスタントの有無:無 ▶1日の実施可能回数・時間:2コマ※1コマ90分 ▶必要機材等:音響機器 ▶場所:どこでも大丈夫

③『1年3組vs1年5組によるRise vs Fall(仮)』

ペンを100本使って、赤vs丸で踊る赤丸急上昇の作品「Rise vs Fall」をクラス対抗作品にアレンジ。この作品は、面白くて子どもたちが無我夢中になり燃えます! ▶上演時間:15～60分 ▶出演者数(出演する市民は除く):登録アーティスト2名 ▶クリエーション・出演参加者数:何人でも大丈夫 ▶上演環境:ホールの状況に合わせて作ります。

笠井瑞丈 × 上村なおか Mitsutake KASAI × Naoka UEMURA

《笠井瑞丈 × 上村なおか》

笠井瑞丈 × 上村なおかのプロジェクトは一貫して、人と人とのダンスによる交流・交感を目的としている。’01年に初共演をした後、’02年にグループを設立。公演活動だけではなく様々な場所で様々な世代を対象に積極的にワークショップを行い、現代における人間の多様な個性・身体に触れ続けている。人との出会いに触発される作品づくりをモットーとしている。

《笠井 瑞丈》

笠井 畝に舞踏を、山崎広太にダンスを師事。’98年より自作のソロダンスを開始。様々なスタイルのダンスのエッセンスを取り入れながら独自の世界観を持つ作品を発表している。近年はソロだけでなく作品振付や客演でも注目を集めている。平成20年度文化庁新進芸術家海外留学研修員として、’09年ニューヨークで1年間研修。’16年テロ・サリネン・カンパニーにゲスト出演。’17年ソロ「花粉革命」を踊る。

《上村 なおか》

幼少よりバレエを学ぶ。木佐貫邦子にダンスを、笠井 畝にダンスとオイリュトミーを師事。’95年から自作ソロダンスを開始。身体の発見と冒険をキーワードに劇場以外の場所での公演や他ジャンルのアーティストとのコラボレーション、ワークショップも数多く行う。’02年度文化庁新進芸術家国内研修制度研修員。桜美林大学芸術文化学群、バリアフリーの街なかダンスクラスなどで講師を務める。



Photo: 蓮井幹生

連絡先(担当) 上村なおか

ホームページ <https://www.kasaiuemura.com/>

住 所 〒185-0023 東京都国分寺市

E - m a i l kasai_uemura@yahoo.co.jp

在 住 地 東京都国分寺市

出 身 地 東京都国分寺市(笠井) 石川県金沢市(上村)

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴

〈2001年11月〉デュオ作品を発表開始
〈2013年2月〉高橋悠治演奏によるデュオダンス「海とクジラ」(横浜赤レンガ倉庫 1号館 3階ホール/横浜)
〈2014年12月〉「R+P」(アサヒ・アートスクエア/東京)
〈2015年1月〉「廃墟の世界」(セッションハウス/東京)
〈2016年3月〉上村ソロ「solo」(セッションハウス/東京)
〈2017年1月〉グループ作品「雪の囃」(セッションハウス/東京)
〈2018年3月〉グループ作品「奇跡の星」(d-倉庫/東京)

〈2018年10月〉デュオ作品「2×3」(いずみホール/東京)
〈2022年12月〉「死と英雄」(セッションハウス/東京)
〈2023年2月〉「転がる石には苔は生えぬ」(ギャラリー Roll/東京)

○受賞歴

〈2004年4月〉第36回舞踊批評家協会新人賞(上村)
〈2010年2月〉横浜ソロ×デュオ・コンペティション審査員特別賞(笠井)
〈2017年3月〉日本ダンスフォーラム賞(笠井)

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

1) 幼稚園や保育園、小学校、中学校、高校でのアウトリーチ(担当教師とのコラボレーションや発表を行うものもあり)
2) 特別支援学校、特別支援学級、障がい者施設でのワークショップ
3) ダンスや演劇を専門的に目指す人のためのワークショップ
4) 普段あまりダンスと縁のない人・身体を動かす機会がない人のためのワークショップ
5) 親子で参加できるワークショップ
6) 地域の場や人の特性と身体を結びつけたワークショップ
7) オンラインでのワークショップ(大人、親子)

◎実施条件

▶参加適正人数：5～40名 ▶アシスタントの有無：有 ▶1日の実施可能回数・時間：1日2回 ※1回につき1～3時間 ▶必要機材等：音響機材 ▶場所：会議室や体育館など。屋内・屋外いずれも可

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ・公募ワークショップ 共通

私たちのワークショップでは、ひとりひとりがひとつずつ持っている「自分のカラダ」を再発見することを目指します。その「カラダ」は動きだけにとどまらず、微細な身体感覚に耳をすますことで、認識されていくでしょ

う。個を深めること、他者と関わること、その二つを同じように大切にします。自分のカラダ、他者のカラダ、両方に出会うことでカラダの可能性を探ります。対象は、幼児から大人まで、障がいやダンス経験の有無に関わらず全ての方。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

●『花粉革命』
▶上演時間：約60分
▶出演者：1名(登録アーティスト・笠井瑞丈)
▶同行スタッフ：1名(衣装着付け担当・1名)
▶現地スタッフ：照明1名、音響1名、舞台スタッフ1名
▶上演環境：会場の広さは問わない。降らしものの仕掛け対応希望。(なければ相談)

●『Life』

▶上演時間：約60分、20分のバージョンもあり。
▶出演者：1名(登録アーティスト・上村なおか)
▶同行スタッフ：現地スタッフで対応可能

▶現地スタッフ：照明1名、音響1名
▶上演環境：あらゆる環境に対応、屋内屋外を問わない。

●『浸色』ソロ×ソロ×デュオ形式の公演

▶上演時間：約60分
▶出演者：2名(登録アーティスト)
▶同行スタッフ：現地スタッフで対応可能
▶現地スタッフ：照明1名、音響1名
▶上演環境：あらゆる環境に対応

市民参加作品

応募者によってその都度新作を作ります。その場・その時にしかない出会いを基に、それぞれのカラダがダンスになっていく体験を作品化します。
▶作品名：その時毎に新しく決定
▶上演時間：40分～60分
▶出演者数(出演する市民は除く)：2名(登録アーティスト)
▶クリエーション・出演参加者数：その時の状況に応じる
▶同行スタッフ・現地スタッフ：演出助手のみ同行、他は現地スタッフ可
▶上演環境：①会場の広さ・形状：規定なし ②床、リノリウムの有無・色：規定なし③必要機材、舞台セット：規定なし

勝部ちこ + 鹿島聖子

(コンタクト・インプロビゼーショングループ CIco)

Chico KATSUBE+Shoko KASHIMA

(Contact Improvisation Group CIco)



Photo: コンタクト・インプロビゼーショングループ CIco

Ⅰ活動歴Ⅰ

〈2000年5月〉コンタクト・インプロビゼーショングループ CIco 設立
〈2005年10月〉ユニット結成、イスラエル・CIフェスティバルに参加(イスラエル)
〈2005～07年〉地域創造ダンス活性化事業(名取市文化会館、倉敷市芸文館、会津若松市風雅堂)
〈2007年8月〉名取市文化会館10周年記念「なっさい」演出、出演(名取市文化会館)
〈2008～10年〉Contact Improvisation Festival Japan 主催(東京、金沢、神戸)
〈2011年1～3月〉ダン活支援事業(兵庫県和田山ジュビターホール)
〈2012年5月〉NHKドラマ「はつ恋」タイトルロールに出演/監修
〈2013年～〉国際コンタクト・インプロビゼーションダンスフェス

ティバリ・Dance Japan主催運営(鹿児島)
〈2013～14年〉地域創造ダンス活性化事業(近江八幡市文化会館、銚路市文化会館)
〈2014年5月〉TEDxKagoshimaにスピーカーとして登壇
〈2001～03、07～09、13年度〉セゾン文化財団助成の助成を受けて活動
〈2021年11月〉鹿児島県ユニークベニュー活用促進事業 霧島アートの森にてパフォーマンスなどを総合プロデュース
〈2022年9月〉ワークショップ参加者たちと「新たな日常の幕が開く～即興ダンスのたねあかし公演」を実施(鹿児島県伊佐市)

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

〈2007年〉「盲学校deアート」(群馬県立盲学校 盲学校生徒、群馬大学教育学部)
〈2008～11年〉子どものための文化体験プログラム(豊島区内

保育園、保育園児、豊島区/NPO法人芸術家と子どもたち)
〈2009～11年〉ワークショップデザイナー育成プログラム(社会人、青山学院大学/文部科学省社会人教育推進事業)
〈2011年〉東日本大震災復興支援事業(大熊町からの避難小学生対象 会津若松市小学校、JCDN)
〈2011年〉「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」(会津若松小学校、全校生徒対象、(財)福島県文化振興事業団)
〈2013年～〉乳幼児、小学生、親子、地域リーダー対象講習会、パフォーマンス開催(鹿児島市 かごしま子ども劇場)
〈2015年〉復興庁主催説明会において、避難者、支援者に向けての講習会開催(岡山県総社市)
青山学院大学大学院、お茶の水女子大学、慶応義塾大学、筑波大学大学院、立教大学などで非常勤講師。CIを開講(2012年度まで)
〈2020年～〉一般対象にコンタクト・インプロビゼーションを基本としたWS「大人の身体哲学ダンス」開講

可能なワークショップ等のスタイル

コンタクト・インプロビゼーション(CI)をベースに、心と身体を柔らかく自由にコミュニケーティブ/クリエイティブにするワークショップです。

アウトリーチ

●『からだはおもちゃばこ』
道具を使わず友達と身体で遊ぶ(幼児、小学生、親子対象)

公募ワークショップ

●『ダンス・インプロビゼーション』
おしゃべりな身体を準備したら、言葉を使わずに他者とコミュニケーション(＝ダンス!)。そこ

には、脳からではなく、身体が捉える叡智から心の繋がりを発見し、氣の交感で隅々まで生きる自分を見つけるでしょう。CIは、発想の転換、概念の転換。身体とそこから、社会や生き方を捉え、未来に向けて大切な事を他者との交流を基に考えていきます。そのマジックを磨いて行きましょう。

●『パフォーマンス・インプロビゼーション』
即興パフォーマンスはどのように作られるのか、の理論、哲学、実践。一人一人がその瞬間の演出／振付／実演／鑑賞を兼ねること、「100%の主張と100%の協調」を追求すること、等を学んで

いきます。

◎実施条件(共通)

▶アシスタントの有無：無し
▶参加適正人数：20～30名程度
▶1日の実施可能回数・時間：2コマ ※1コマ120分
▶必要機材：CD プレーヤー、iPhone 等の出力ミニプラグ
▶対象：どんな方でもOK。ご希望、事業目的に併せてともに検討し対応します。
▶その他：柔らかな木の床、またはリノリウムの床が理想。寒すぎない空間。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

●『Phase 47』
構成のある即興の作品。～【生命の可動域】を表現するとすれば、そのことは「即興」という表現方法が一番適しているのかもしれないと感じさせられた。その瞬間、生命の可動域を・・・「なんとなく見ました」ではなく、「まざまざと見せられた」気がしたからだ。～観客ノートより
▶上演時間：45分 ▶出演者数：3名(登録のダンサー 2名+ピアニスト) ※ワークショップ参加者の出演なし ▶必要機材：ピアノ

●『くるんころんくるんころん』
0～18ヶ月の乳幼児の親子対象に見せる作品 鑑賞から参加型にゆるやかに繋がる。
▶上演時間：45分 ▶出演者数：4名(登録のダンサー+音楽家) ※ワークショップ参加者の出演無し

市民参加作品

●『WAVE』
ワークショップ参加者と一緒に作っていく即興の作品。構成、演出を施すが、振付けはなく各自が動きを見出していく。
▶上演時間：20分 ▶出演者数：2名(登録ダンサー)

※ワークショップ参加者の出演有り(5～15名)

◎実施条件(共通)

▶同行スタッフ：その他(下記、現地スタッフが手薄な箇所を補いたい。) ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名、その他(写真、映像)各1名 ▶上演環境：①会場の広さ・形状：規定はなくフレキシブルに対応可能。劇場外の空間でも魅力的に捉えて考える ②床、リノリウムの有無・色：どちらでも可能 ③必要機材、舞台セット：なし ▶その他：照明、音響のスタッフは、即興に興味があり、ともに作品を作り上げてくれる姿勢の方がのぞましい。

坂本公成＋森裕子 Kosei SAKAMOTO＋Yuko MORI (Monochrome Circus)

京都を拠点に活動続けるダンスカンパニー Monochrome Circusを率いる二人。「身体をめぐる／身体との対話」をテーマに国内外で活動を展開。代表作にgrafとのコラボレーション『TROPE』や、『HAIGAFURU ～ Ash is falling』などがある。また『掌編ダンス集』と銘打つ大小様々の作品群をレパートリーとしている。その他、コミュニティダンス、サイトスペシフィックな作品など、幅広く手がける。コンタクト・インプロヴィゼーションや身体に関するワークショップを、ダンサーはもちろん、大人から子ども、教育や福祉に関わる幅広い人々を対象に数多く行っている。

所属カンパニー Monochrome Circus
ホームページ <http://www.monochromecircus.com/>
連絡先(担当) 森裕子
住 所 〒603-8312 京都市北区紫野中柏野町22番20 紫野スタジオ内 一般社団法人ダンスアンドエンヴァイロメント
在 住 地 京都市上京区
出 身 地 福岡県八女市(坂本) 滋賀県愛知郡(森)

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴
〈2008～09年〉『坂本公成掌編ダンス集 国内ツアー』@アトリエ劇研(京都)、@本行寺(岡山)、@別府市中央公民館、@茅野市民館(長野)
〈2008～10年〉『Monster Project』@アトリエ劇研(京都)、@CNDC(Angers)、@パリ日本文化会館(Paris)
〈2010年〉『オーケストラで踊ろう!!』@可見市文化創造センター、@大垣市民会館
〈2011～16年〉『TROPE』@VOICE GALLERY(京都)、@可見市文化創造センター、@P3artandenvironment(東京)
〈2015～21年〉『HAIGAFURU/Ash is falling』@京都芸術センター、@横浜赤レンガ倉庫
〈2017年〉『T/IT:不寛容について』@京都芸術センター
〈2019年〉『FLOOD』@京都芸術センター
〈2022年〉『京都自肅生活日記Don't worry!!!』、『TSUBUTE』@THEATRE E9 KYOTO

○受賞歴
〈1998年〉芸術祭典・京 造形部門「公募・京を創る」入選
〈2000年〉「京都市若手芸術家奨励制度」奨励者に選出される(助成金300万円)
〈2001年〉横浜ダンスコレクション Solo＊Duoコンペティション ファイナリスト
静岡振付コンクールファイナリスト
〈2002年〉アジアン・カルチュラル・カウンスル(ACC)の助成を受けてNY研修
〈2008年〉京都市芸術新人賞受賞

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

〈2000～22年〉京都国際ダンスワークショップフェスティバルにてコンタクト・インプロヴィゼーション、キッズ&アダルト、ビギナー・クラスなどを指導 主催:Dance &

Environment＋京都芸術センター

〈2006年〉「トヨタ・子どもとアーティストの出会いin愛知 @瀬戸市立掛川小学校」全校生徒(19名)とパフォーマンスを創作 主催:子どもとアーティストの出会い
〈2007～15年〉Contact Improvisation Meeting in Japan(CIMJ)にてコンタクトのベーシック・クラス、創作クラスを担当 主催:Dance & Environment
〈2009年〉『混浴温泉世界-ダンサーを探せ!!』地元の人と商店街でダンスを展開。主催:別府プロジェクト
『オーケストラで踊ろう!!』可見市・大垣市の6歳から80歳までの市民150名がオーケストラの生演奏で踊るという企画の演出・振付 主催:可見・大垣オーケストラで踊ろう事業実行委員会
〈2023年〉芸術文化観光専門職大学にコンタクト・インプロのWS。
その他、大学、役者向けのWS、子供向けのWSなど多数経験有り。



Photo: 菱川裕子

セレノグラフィカ Selenographica (隅地茉歩＋阿比留修一)

Selenography(月面地理学)+icaで(月究学派)の意。「身体と心に届くダンス」をモットーとして、関西を拠点に国内外、屋内外を問わず幅広く活動を展開するダンスカンパニー。緻密な身体操作から繰り出されるその不思議で愉快的なダンスは、多くの世代に受け入れられている。隅地茉歩は「踊るぬいぐるみ」、阿比留修一は「かかとの無い男」とあだ名され、公演やワークショップ含め、北海道から沖縄まで全国各地へ遠征の日々を送る。また、800を超える教育機関へのアウトリーチも行い、幼稚園や小学校では「まほさん、あびちゃん」として人気。

所属カンパニー セレノグラフィカ
ホームページ <http://www.selenographica.net>
連絡先(担当) 阿比留 修一(技術面は岩村原太)
E-mail info@selenographica.net

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

○活動歴
【主な上演歴】
〈1997年〉カンパニー結成『無伴奏の月』上演(京都市)
〈2006年〉TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005受賞者公演(東京都)
〈2006～08年〉『それをする』/『樹下の双魚』欧州、豪州、韓国ツアー(リヨン、パリ、ロンドン、パース、釜山)
〈2015年〉『ひびきあう～音と身体で感じるみずかみずよの世界』(北九州市)
〈2017年〉結成20周年記念作品『とこしえに』発表(上田市)
〈2019年〉「ダンス×音楽 実験の音楽空間～REFINE～音も身体も」(北九州市)
〈2021年〉結成24周年記念作品『無言歌～カラダとウタウ～』発表(北九州市)
〈2024年〉公共ホール創造ネットワークモデル事業「音楽とダン

スが出会う夢の旅～響きの先のあしたへ～」(和歌山県)
【継続中のプロジェクト】
〈2014年～〉『レインボードロップスプロジェクト』(北九州市)
〈2015年～〉『夜のことはプロジェクト』(京都市、伊丹市)
〈2020年～〉セレノグラフィカ「語る」ダンスプロジェクト
身体のことば～振付家の視点から(全国各地)
【ダン活、ダン活支援歴】
ダン活のべ12か所(奈良市、山県市、富田林市、坂井市、上川郡鷹栖町、笛吹市、名寄市、西宮市、鶴岡市、徳島市)
ダン活支援のべ14か所(坂井市、上川郡鷹栖町、茅野市、山県市、北広島市、春日井市、舞鶴市、東松山市、近江八幡市、清水市、西宮市)

○受賞歴
〈1996年〉阿比留修一平成8年度大阪府芸術劇場奨励新人に認定。
〈2005年〉隅地茉歩TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005「次代を担う振付家賞」(グランプリ)受賞。



Photo: 平野愛

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

○大阪府障がい者オープンカレッジ・ダンスコース講師(堺市/2006～11年)
○(一財)地域創造ステージラボ講師(宇都宮市/2012年、札幌市/2015年、上田市/2016年、高知市/2017年、横浜市/2018年、大津市/2018年、いわき市/2019年、大分市/2022年、川崎市/2023年)
○(一財)地域創造ステージラボコーディネーター(岡山市/2024年)
○パフォーマンスキッズ・トーキョー(東京都/2012年～継続中)
○キタQアーティストふれあいプログラム(北九州市/2012年～継続中)
○文化芸術による子供育成推進事業～コミュニケーション能力向上事業(全国各地/2012年～継続中)
○こちかぜキッズダンス(京都市/2014年～継続中)
○じぶんみがきダンス(京都市/2016年～継続中)
○障害者による文化芸術活動推進事業(東京都、さいたま市/2019年～2023年)
○少年院「東日本少年矯正医療・教育センター」WS(昭島市/2022年～継続中)

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

●幼稚園、保育所で
最初にセレノグラフィカのダンスを見てもらい、続いて3種のダンス遊びを体験、最後には皆で仲良く汗をかき、愉快地踊るプログラムです。
●小学校(特別支援学級を含む)、中学校で
こちらも始めにセレノグラフィカのダンスを見てもらってからスタート。ダンスに関心のある子も無い子も、ダンスが得意な子も苦手な子も、一緒に身体を動かして、その子ならではの楽しさを発見できるプログラムです。
●教員対象で
ダンスの授業やクラス運営にも応用の効く様々なボディワークを実践し、質疑応答の時間も設けて、先生たちのダンスに対する率直な声に応えていくプログラムです。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

●『無言歌～カラダとウタウ～』
結成 24周年に創作した記念作品。北九州芸術劇場小劇場で初演し、その後上田と上演を続けているセレノグラフィカの最新レパートリー。
今を感じさせるいくつかの小道具と二面舞台。二人の身体の動きがまるで複数の旋律のように響き合う、セレノグラフィカの身体表現のひとつの完成形。
▶上演時間: 80分

●福祉施設、高齢者施設で

まずは短くセレノグラフィカのダンスを披露し、その後ゆっくり目に負担の少ないメニューを選んで進行します。参加者のコンディションに繊細に対応し、踊ることの楽しさに触れていただくプログラムです。
▶参加適性人数: 20～40名程度(相談可)▶1日の実施可能回数・時間: 1コマ90分として1コマから(相談可)▶必要機材: Bluetoothスピーカー、ワイヤレスマイク等
公募ワークショップ

●ほぐしてみようよワークショップ

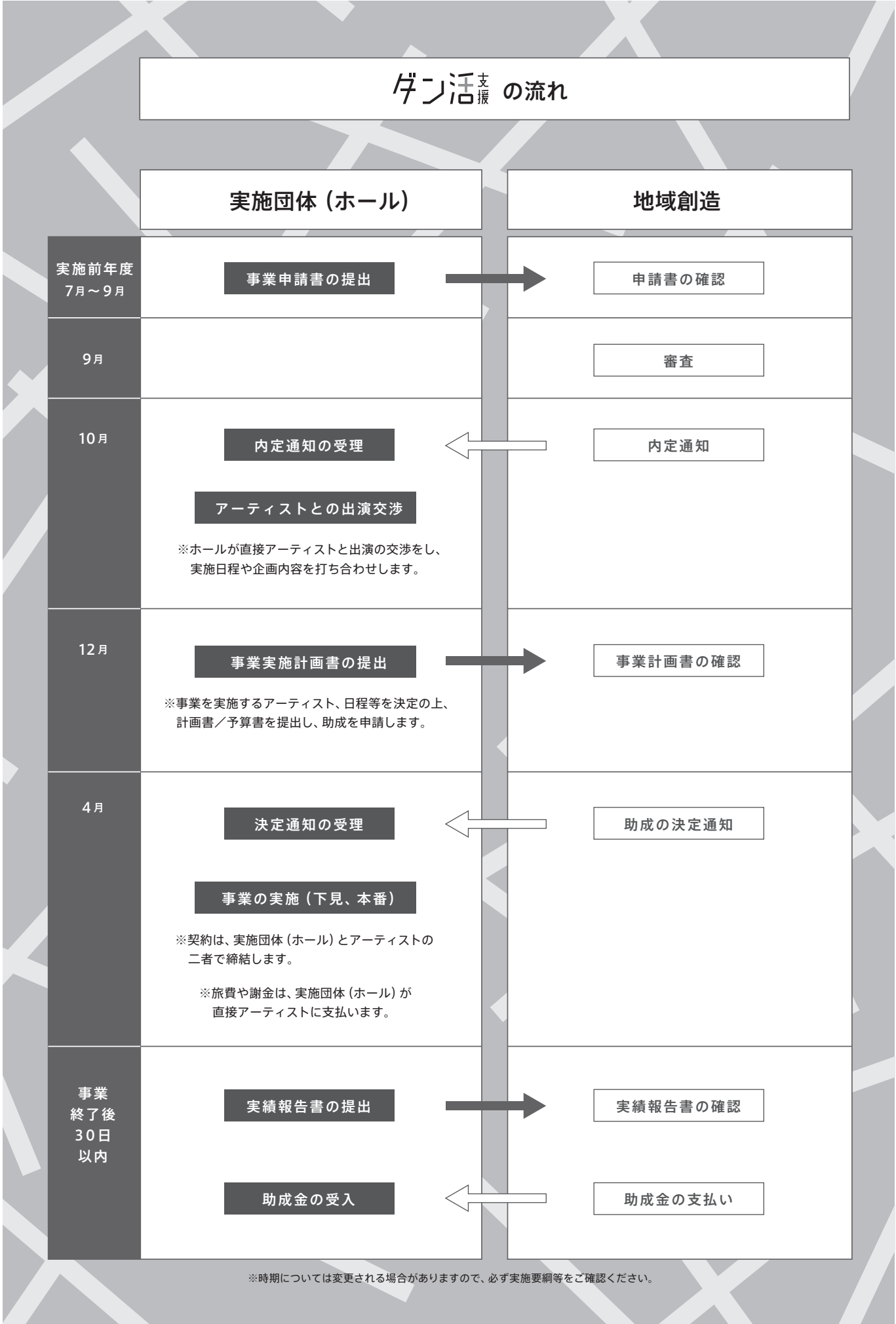
少し丁寧にストレッチの時間を取り、参加者が自分の身体の癖に気づいていく中で、身体感覚をじっくりと高めていけるワークショップです。

●踊ってみようよワークショップ

まずは歩くという身近なことから始め、一人で、ペアで、あるいはグループでというようにダンスの状態を変化させ、踊ることの様々な楽しさを実感することのできるワークショップです。
●創ってみようよワークショップ
クリエイションに重点をおいて創作のための手がかりをいくつか提示し、それを頼りに、ダンスを創ることの喜びを味わうことのできるワークショップです。成果を互いに発表し、意見交換も行います。
▶対象: 3歳以上、経験不問 ▶参加適性人数: 20名程度(相談可)▶1日の実施可能回数・時間: 1コマ120分として1コマから(相談可)▶必要機材: Bluetoothスピーカー、ワイヤレスマイク等

市民参加作品

ご参加の方々の世代や男女比、志向性などに応じて構成や演出を考え、その地域の特色ある身体性が豊かに反映される創作を行っています。これに伴い、作品タイトルもその都度オリジナルのものを付けています。(例:「遠い放課後」「おやつくらいおいしいダンスの話」「幸せについて、踊ってもいいよ」など) また、市民参加公演の形態は基本的にホールとの話し合いでベストの形を選択しています。参加(出演)人数・回数、上演環境などは応相談。その他、現地の演奏家や美術家などとのコラボレーションも可能です。



ダン活 公共ホール現代ダンス活性化事業
ダン活^{支援} 公共ホール現代ダンス活性化支援事業
令和7(2025)年度 登録アーティストプロフィール

発行：一般財団法人地域創造

〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11 オリックス赤坂2丁目ビル9階

Tel.03-5573-4075、4067 Fax.03-5573-4060

発行日：令和6(2024)年6月

Art Direction & Design : FLATROOM (www.flatroom.jp)